

木更津市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和2年3月
木更津市

目次

第1章	調査概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査の構成	1
3.	報告書の見方	1
第2章	調査結果	2
1.	調査対象者の基本的な属性について	2
2.	心身の状態、社会参加の状況について	9
3.	介護予防について	28
4.	生活支援、社会参加について	38
5.	住まいについて	52
6.	医療について	60
7.	介護、成年後見制度について	70
8.	今後の高齢者施策等について	82
第3章	状態像に関する分析	91
1.	分析にあたって	91
2.	分析結果の概要	93
3.	日常生活・社会参加の状況	105
第4章	分析・考察	108
1.	心身の機能に関わるリスクの状況	108
2.	介護予防の取り組み状況	110

参考資料 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票

第1章 調査概要

1. 調査目的

木更津市では、介護が必要とならない健康づくりや介護予防事業に力を入れるとともに、介護が必要となっても安心した生活が送ることができるよう、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」（第7期計画）に基づいて 施策を進めています。

この計画が令和2年度に終了することから、第8期計画の策定に向け、市内にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方に対して、保健福祉に関わる生活状況や、介護予防、地域社会とのつながり、市の高齢者施策等について何うことを目的として実施しました。

2. 調査の構成

調査の構成は以下のとおりです。

図表 1-1 本調査の構成

調 査 対 象 者	令和元年12月1日 現在、市内にお住まいの要介護認定を受けていない65歳以上の方
抽 出 方 法	住民基本台帳及び要介護認定者情報をもとに、無作為抽出
調 査 方 法	郵送法（郵送配布、郵送回収）
調 査 期 間	令和2年1月6日～令和2年1月20日
配 布 数	4,500 件
有効回収数（率）	2,682件（59.6%）

3. 報告書の見方

- ・ 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が 100.0 % にならない場合があります。
- ・ 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問は すべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- ・ 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- ・ 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント（小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。）と表記しています。
- ・ クロス集計の集計表では、全体の値より数値が大きい項目に網かけをしています。
- ・ クロス集計の表側項目については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」等、回答者数が少なく統計上有意でないと判断した項目などは除外しています。
- ・ クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。

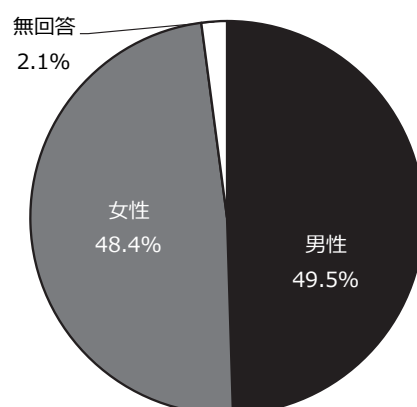
第2章 調査結果

1. 調査対象者の基本的な属性について

問1. あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ○)

「男性」が49.5%、「女性」が48.4%となっています。

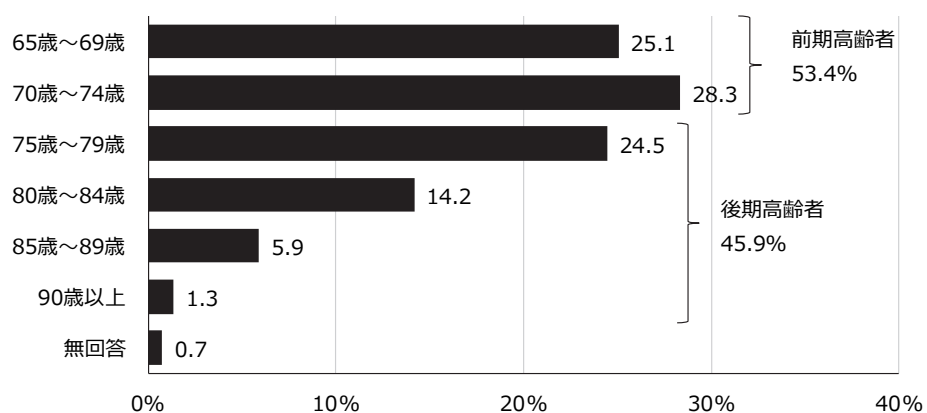
図表 2-1 性別 (n=2,682)



問2. あなたの令和2年1月1日現在の満年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

『前期高齢者』が53.4%、『後期高齢者』が45.9%となっています。

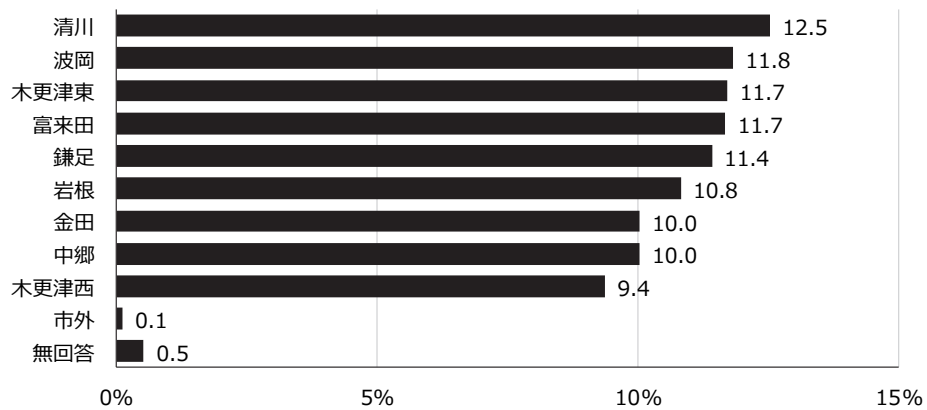
図表 2-2 満年齢 (n=2,682)



問3. あなたがお住まいの地域をお答えください。(ひとつだけ○)

「清川」が12.5%と最も多く、次いで「波岡」が11.8%、「木更津東」が11.7%となっています。

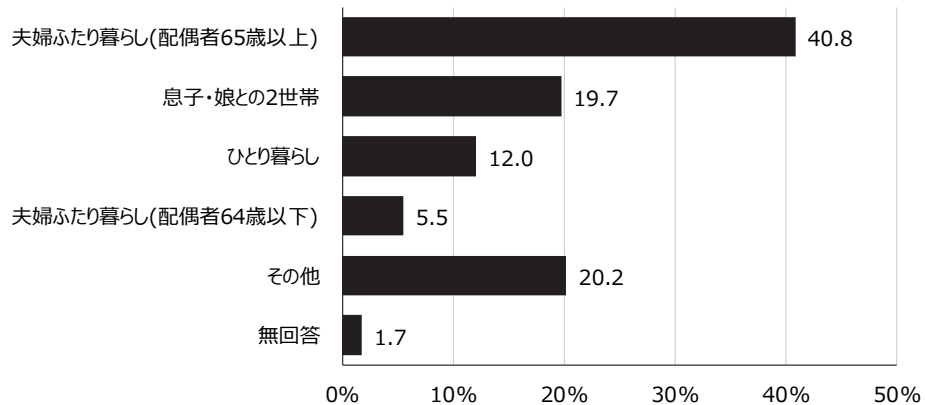
図表 2-3 居住地区 (n= 2,682)



問4. 家族構成をお教えてください。(ひとつだけ○)

「夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)」が40.8 %と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.7 %、「ひとり暮らし」が12.0 %となっています。

図表 2-4 家族構成 (n= 2,682)



居住地域別でみると、“木更津西”“木更津東”“波岡”“清川”“富来田”では「夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)」が全体より高くなっています。

図表 2-5 居住地域別の家族構成

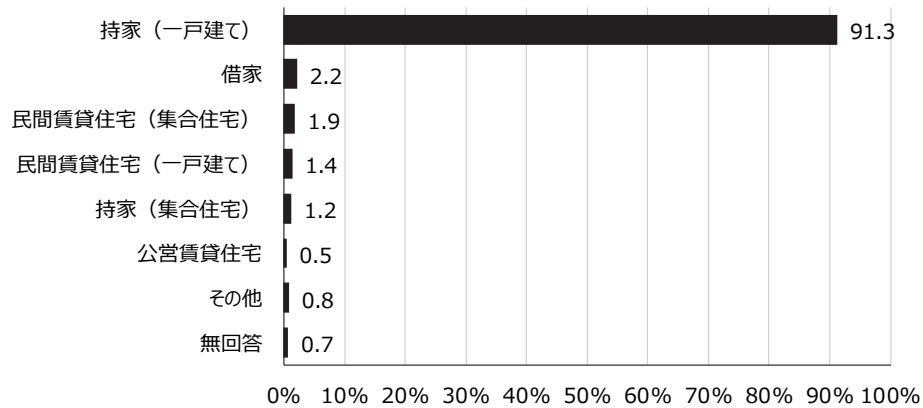
	合 計	ひ と り 暮 ら し	夫 婦 ふ た り 暮 ら し (配 偶 者 6 5 歳 以 上)	夫 婦 ふ た り 暮 ら し (配 偶 者 6 4 歳 以 下)	息 子 ・ 娘 と の 2 世 帯	そ の 他	無 回 答
全体	2,682	12.0	40.8	5.5	19.7	20.2	1.7 (%)
居住地域							
木更津西	251	19.1	43.8	6.4	12.4	17.5	0.8
木更津東	314	11.1	49.0	6.4	17.2	15.9	0.3
波岡	317	10.4	51.7	3.8	16.4	17.4	0.3
清川	336	14.6	43.2	6.5	16.7	17.3	1.8
岩根	290	13.4	38.6	4.5	20.7	20.0	2.8
鎌足	306	11.4	34.3	4.2	27.1	21.6	1.3
金田	269	8.2	29.7	6.3	29.7	24.5	1.5
中郷	269	9.3	33.1	5.2	21.6	28.3	2.6
富来田	313	10.5	42.5	6.1	17.6	21.7	1.6

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(ひとつだけ○)

「持家（一戸建て）」が91.3 %と最も多く、次いで「借家」が2.2 %、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が1.9 %となっています。

図表 2-6 住宅の形態 (n= 2, 682)



居住地域別でみると、「波岡」「清川」「鎌足」「金田」「中郷」「富来田」では「持家（一戸建て）」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、「夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)」「夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)」「息子・娘との2世帯」では「持家（一戸建て）」が全体より高くなっています。

図表 2-7 居住地域、家族構成別の住宅の形態

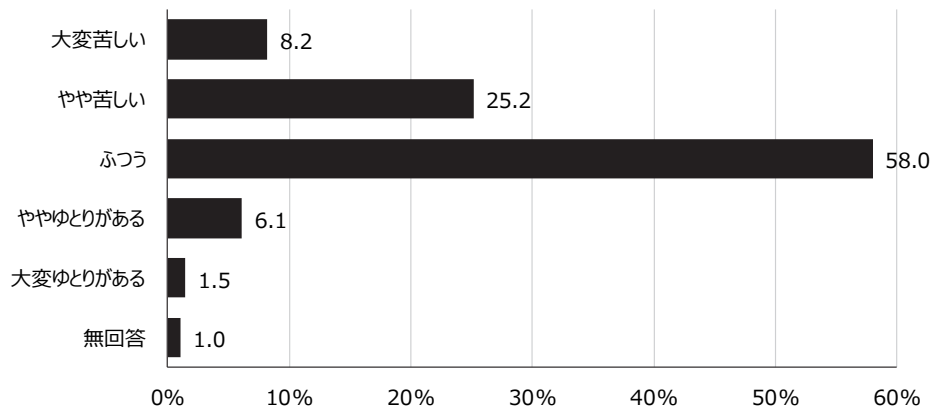
	合 計	(持 家 一 戸 建 て)	(持 家 集 合 住 宅)	公 営 賃 貸 住 宅	(民 間 賃 貸 住 宅 一 戸 建 て)	(民 間 賃 貸 住 宅 集 合 住 宅)	借 家	そ の 他	無 回 答	(%)
全体	2,682	91.3	1.2	0.5	1.4	1.9	2.2	0.8	0.7	
居住地域	木更津西	251	75.7	7.2	0.8	3.2	5.6	3.6	3.2	0.8
	木更津東	314	89.8	0.0	0.3	1.3	4.5	2.9	1.0	0.3
	波岡	317	95.0	0.6	0.0	0.6	1.3	1.9	0.6	0.0
	清川	336	91.4	0.9	0.3	1.8	4.2	0.6	0.6	0.3
	岩根	290	82.8	1.0	2.1	4.5	1.4	6.9	1.0	0.3
	鎌足	306	98.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.7
	金田	269	97.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.4	1.1
	中郷	269	95.5	1.1	0.0	0.4	0.0	1.5	0.7	0.7
	富来田	313	95.8	1.0	1.0	1.0	0.0	0.6	0.0	0.6
	ひとり暮らし	323	75.9	2.5	2.5	4.0	7.7	5.3	1.9	0.3
家族構成	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	94.0	0.9	0.4	1.0	1.1	2.2	0.5	0.0
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	92.5	1.4	0.0	1.4	1.4	2.0	1.4	0.0
	息子・娘との2世帯	529	94.5	1.3	0.2	0.9	0.9	0.8	0.6	0.8
	その他	542	93.7	1.1	0.0	0.7	1.1	1.5	1.1	0.7

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(ひとつだけ○)

「ふつう」が58.0 %と最も多く、次いで「やや苦しい」が25.2 %、「大変苦しい」が8.2 %となっています。

図表 2-8 経済状況 (n= 2,682)



家族構成別でみると、“息子・娘との2世帯”では「ふつう」が全体より高くなっています。

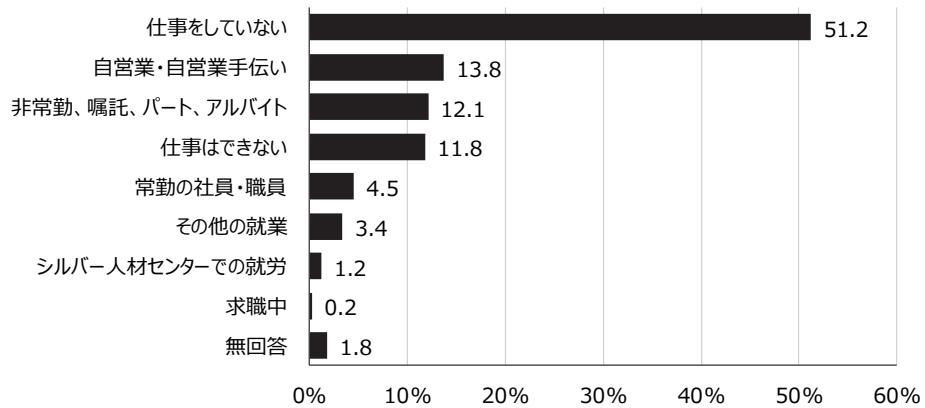
図表 2-9 家族構成別の経済状況

		合 計	大 変 苦 しい	や や 苦 しい	ふ つ う	あ る や ゆ と り が	あ る 大 変 ゆ と り が	無 回 答	
全体		2,682	8.2	25.2	58.0	6.1	1.5	1.0	(%)
家 族 構 成	ひとり暮らし	323	9.6	28.8	53.9	5.3	1.5	0.9	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	8.4	24.7	57.5	7.3	1.5	0.6	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	8.2	25.2	57.1	7.5	2.0	0.0	
	息子・娘との2世帯	529	6.6	23.6	61.6	5.1	2.1	0.9	
	その他	542	8.5	25.6	59.6	5.0	0.7	0.6	

問7. 就業状況をうかがいます。(ひとつだけ○)

「仕事をしていない」が51.2 %と最も多く、次いで「自営業・自営業手伝い」が13.8 %、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が12.1 %となっています。

図表 2-10 就業状況 (n= 2,682)



性別でみると、“女性”では「仕事をしていない」が全体より高くなっています。

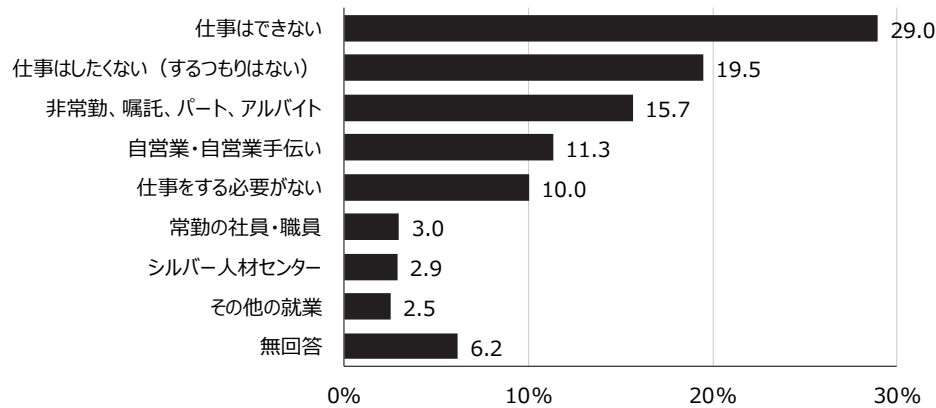
図表 2-11 性別の就業状況

	合計	常勤の社員・職員	パート、アルバイト	非常勤、嘱託、アルバイト	自営業・自営業手伝い	シルバー人材センターでの就労	その他の就業	求職中	仕事をしていない	仕事はできない	無回答
全体	2,682	4.5	12.1	13.8	1.2	3.4	0.2	51.2	11.8	1.8	(%)
性別 男性	1,328	6.9	13.0	16.1	1.8	3.8	0.3	47.3	10.3	0.5	
性別 女性	1,298	2.2	11.2	11.4	0.6	2.9	0.1	55.5	13.6	2.5	

問8. 今後就労をしたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

「仕事はできない」が29.0 %と最も多く、次いで「仕事はしたくない(するつもりはない)」が19.5 %、「非常勤、嘱託、パート、アルバイト」が15.7 %となっています。

図表 2-12 就労意向 (n= 2,682)



性別でみると、“女性”では「仕事はできない」が全体より高くなっています。

図表 2-13 性別の就労意向

	合計	常勤の社員・職員	パート、アルバイト	非常勤、嘱託、アルバイト	自営業・自営業手伝い	シルバー人材センター	その他の就業	仕事はしたくない(するつもりはない)	仕事をする必要がない	仕事はできない	無回答
全体	2,682	3.0	15.7	11.3	2.9	2.5	19.5	10.0	29.0	6.2	(%)
性別 男性	1,328	4.6	18.6	13.9	4.3	3.3	19.9	7.8	23.4	4.3	
女性	1,298	1.5	12.6	8.9	1.5	1.7	19.3	12.2	34.8	7.4	

2. 心身の状態、社会参加の状況について

以下の設問については、心身機能の状況を詳細に把握することを目的に「第3章 高齢者の状態像に関する分析」に別途分析した内容を掲載しています。

問9. からだを動かすことについて
 問10. 食べることについて
 問11. 毎日の生活について
 問14. 健康、介護の必要性について（ただし、主観的健康感、幸福度、治療中・後遺症のある疾患、介護・介助の必要性、介護・介助が必要になった主な原因、介護・介助をしてくれる方については本項に掲載）

本項では、「問12. 地域での活動について」「問13. あなたとまわりの人のたすけあいについて」「問14. 健康、介護の必要性について（一部の内容）」のみ、結果を掲載します。

問12. 地域での活動についてうかがいます。（指定があるもの以外は、ひとつだけ○）

① 会・グループ等への参加頻度

『参加している』割合は、「町内会・自治会」が30.1 %と最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が26.1 %、「収入のある仕事」が21.0 %となっています。

図表 2-14 会・グループ等への参加頻度

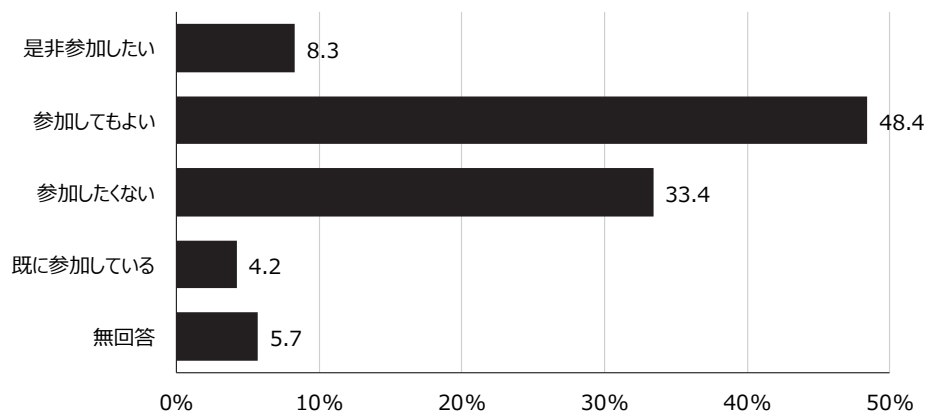
	回 答 者 数	週 4 回 以 上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	参 加 し て い る
ボランティアのグループ	2,682	0.6	1.0	1.3	4.2	5.7	62.9	24.3	12.8
スポーツ関係のグループやクラブ	2,682	2.5	5.8	3.9	3.2	3.2	58.3	23.1	18.6
趣味関係のグループ	2,682	1.5	4.1	4.7	10.9	5.0	52.7	21.2	26.1
学習・教養サークル	2,682	0.2	0.7	1.3	3.3	2.8	65.6	26.1	8.3
介護予防のための通いの場	2,682	0.4	0.8	2.0	1.2	0.6	69.2	25.8	5.0
老人（シニア）クラブ	2,682	0.4	0.4	0.2	2.2	1.6	69.5	25.7	4.8
町内会・自治会	2,682	0.3	0.7	0.7	6.6	21.8	47.5	22.4	30.1
収入のある仕事	2,682	10.7	5.1	0.7	1.8	2.8	55.4	23.5	21.0

※『参加している』は「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年に数回」の合計

- ② 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、参加者として参加してみたいか。

「参加してもよい」が48.4 %と最も多く、次いで「参加したくない」が33.4 %、「是非参加したい」が8.3 %となっています。

図表 2-15 グループ活動への参加者としての参加意向 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「参加してもよい」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「参加してもよい」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“清川”“岩根”“金田”“中郷”“富来田”では「参加してもよい」が全体より高くなっています。

図表 2-16 年齢、性、居住地域別のグループ活動への参加者としての参加意向

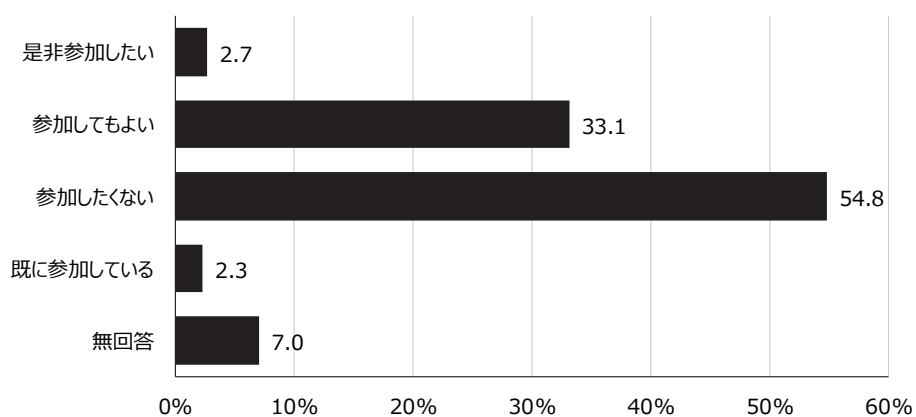
		合計	是非 参加 したい	参 加 し て も よ い	参 加 し た く な い	既 に 参 加 し て い る	無 回 答
全体		2,682	8.3	48.4	33.4	4.2	5.7
年齢	65歳～69歳	672	8.3	53.6	33.0	3.0	2.1
	70歳～74歳	760	8.8	54.3	28.9	4.1	3.8
	75歳～79歳	656	8.2	46.5	34.9	4.6	5.8
	80歳～84歳	380	9.2	40.5	36.8	5.0	8.4
	85歳以上	194	4.1	32.0	41.8	6.7	15.5
性別	男性	1,328	6.7	50.5	34.6	4.2	4.0
	女性	1,298	10.0	46.5	32.4	4.3	6.8
居住地域	木更津西	251	7.6	46.6	37.5	2.8	5.6
	木更津東	314	9.9	47.5	32.5	5.1	5.1
	波岡	317	9.1	46.1	31.5	6.9	6.3
	清川	336	9.8	49.1	31.3	3.9	6.0
	岩根	290	7.6	51.7	37.2	1.4	2.1
	鎌足	306	6.5	43.1	36.9	5.9	7.5
	金田	269	10.0	50.9	33.1	0.7	5.2
	中郷	269	8.2	52.4	28.6	4.8	5.9
	富来田	313	5.8	49.8	32.9	5.8	5.8

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

- ③ 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、企画・運営（お世話役）として参加してみたいか。

「参加したくない」が54.8 %と最も多く、次いで「参加してもよい」が33.1 %、「是非参加したい」が2.7 %となっています。

図表 2-17 グループ活動への企画・運営としての参加意向 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“75歳～79歳”“85歳以上”では「参加したくない」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「参加したくない」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“木更津西”“岩根”“富来田”では「参加したくない」が全体より高くなっています。

図表 2-18 年齢、性、居住地域別のグループ活動への企画・運営としての参加意向

	合計	是非 参加 したい	参 加 し て も よ い	参 加 し た く ない	既 に 参 加 し て い る	無 回 答
全体	2,682	2.7	33.1	54.8	2.3	7.0
年 齢						
65歳～69歳	672	3.6	36.0	55.2	1.9	3.3
70歳～74歳	760	2.6	35.5	54.5	2.5	4.9
75歳～79歳	656	2.0	34.1	54.9	2.7	6.3
80歳～84歳	380	3.2	28.4	54.7	2.4	11.3
85歳以上	194	1.5	20.1	56.7	1.5	20.1
性 別						
男性	1,328	2.6	35.8	54.7	2.3	4.6
女性	1,298	2.9	30.1	55.5	2.5	9.1
居 住 地 域						
木更津西	251	3.2	31.5	57.8	1.2	6.4
木更津東	314	2.9	33.4	53.8	2.9	7.0
波岡	317	1.9	34.1	54.6	3.8	5.7
清川	336	2.4	37.2	53.3	1.8	5.4
岩根	290	2.8	34.5	59.0	0.7	3.1
鎌足	306	3.3	28.4	54.6	3.9	9.8
金田	269	3.0	34.2	53.2	0.7	8.9
中郷	269	1.9	35.3	51.7	2.2	8.9
富来田	313	3.2	29.7	56.5	3.2	7.3

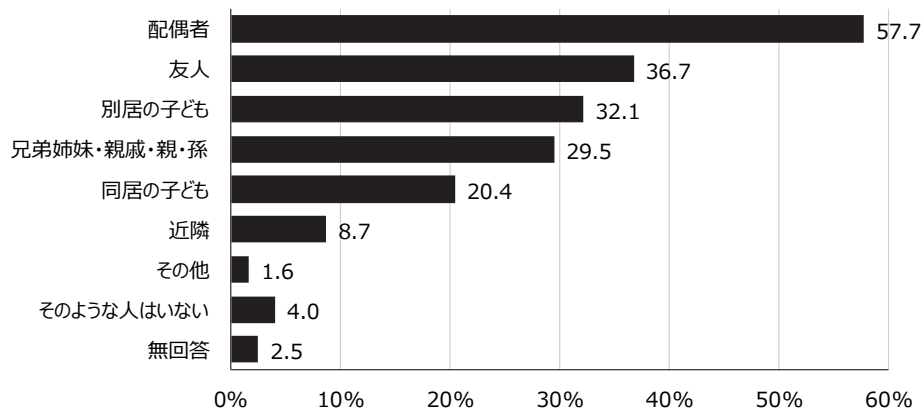
※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてうかがいます。

① 心配事や愚痴を聞いてくれる人

「配偶者」が57.7%と最も多く、次いで「友人」が36.7%、「別居の子ども」が32.1%となっています。

図表 2-19 心配事や愚痴を聞いてくれる人(n= 2,682)



年齢別でみると、「65歳～69歳」「70歳～74歳」では「配偶者」が全体より高くなっています。

性別でみると、「男性」では「配偶者」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、「夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)」「夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)」では「配偶者」が全体より高くなっています。

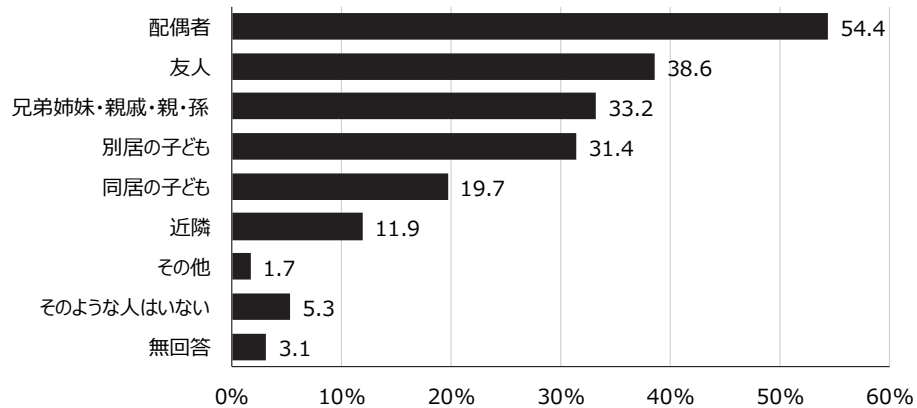
図表 2-20 年齢、性、家族構成別の心配事や愚痴を聞いてくれる人

	合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いないような人は	無回答
全体	2,682	57.7	20.4	32.1	29.5	8.7	36.7	1.6	4.0	2.5
年齢										
65歳～69歳	672	67.4	18.0	33.0	32.3	8.9	45.5	1.5	3.3	1.2
70歳～74歳	760	62.8	18.8	30.1	29.7	8.9	40.3	2.0	4.9	2.4
75歳～79歳	656	55.9	19.5	34.6	29.4	8.7	35.8	1.5	3.8	2.6
80歳～84歳	380	44.5	21.8	33.4	26.8	9.2	26.1	1.6	3.9	3.4
85歳以上	194	36.6	36.1	28.4	24.7	6.2	18.0	1.0	4.1	2.6
性別										
男性	1,328	71.1	15.7	24.1	21.6	6.3	25.5	1.2	6.4	2.6
女性	1,298	44.5	25.3	40.9	37.5	11.2	48.8	2.1	1.6	2.0
家族構成										
ひとり暮らし	323	1.9	1.9	42.4	38.4	10.2	45.5	3.7	9.0	2.5
夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	79.0	3.2	38.8	26.0	8.9	35.1	0.7	3.0	2.4
夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	81.6	5.4	23.1	20.4	4.1	29.3	3.4	5.4	1.4
息子・娘との2世帯	529	50.5	55.0	23.1	30.2	9.1	35.3	1.3	2.5	1.1
その他	542	50.4	36.2	24.9	33.4	8.5	39.1	1.8	4.1	3.0

② あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

「配偶者」が54.4 %と最も多く、次いで「友人」が38.6 %、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.2 %となっています。

図表 2-21 心配事や愚痴を聞いてあげる人(n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「配偶者」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「配偶者」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”では「配偶者」が全体より高くなっています。

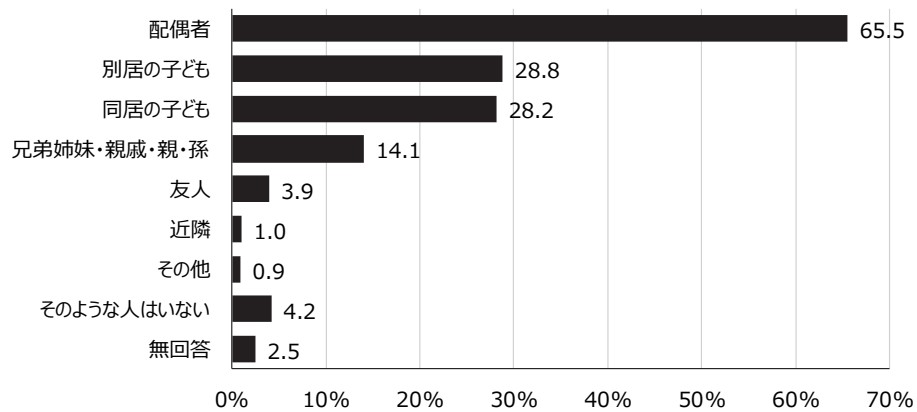
図表 2-22 年齢、性、家族構成別の心配事や愚痴を聞いてあげる人

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・	近隣	友人	その他	いないような人	無回答
全体		2,682	54.4	19.7	31.4	33.2	11.9	38.6	1.7	5.3	3.1
年齢	65歳～69歳	672	66.1	19.2	36.9	37.9	12.1	46.7	2.2	3.1	0.9
	70歳～74歳	760	56.6	19.2	30.5	34.3	12.5	43.7	2.0	4.9	2.9
	75歳～79歳	656	53.5	19.7	33.2	32.5	11.4	35.8	1.7	5.8	2.7
	80歳～84歳	380	40.8	19.5	24.7	29.7	13.7	30.3	0.8	6.3	4.5
	85歳以上	194	36.1	24.7	25.3	23.2	8.2	17.0	0.5	11.3	8.2
性別	男性	1,328	69.1	16.7	25.9	26.3	8.8	26.7	1.7	7.4	2.9
	女性	1,298	39.8	22.8	37.5	40.1	15.3	51.2	1.5	3.2	3.2
家族構成	ひとり暮らし	323	1.5	1.9	32.5	37.5	14.2	48.0	3.1	9.3	3.4
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	74.4	3.7	40.0	31.4	11.4	37.9	1.4	3.7	2.6
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	77.6	7.5	23.1	25.9	8.2	29.3	1.4	4.8	2.7
	息子・娘との2世帯	529	46.1	48.6	22.5	33.3	12.1	38.0	1.1	7.0	1.9
	その他	542	48.9	37.3	26.4	36.3	13.3	38.9	1.8	4.4	3.7

③ 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

「配偶者」が65.5 %と最も多く、次いで「別居の子ども」が28.8 %、「同居の子ども」が28.2 %となっています。

図表 2-23 看病や世話をしてくれる人(n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”“75歳～79歳”では「配偶者」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「配偶者」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”では「配偶者」が全体より高くなっています。

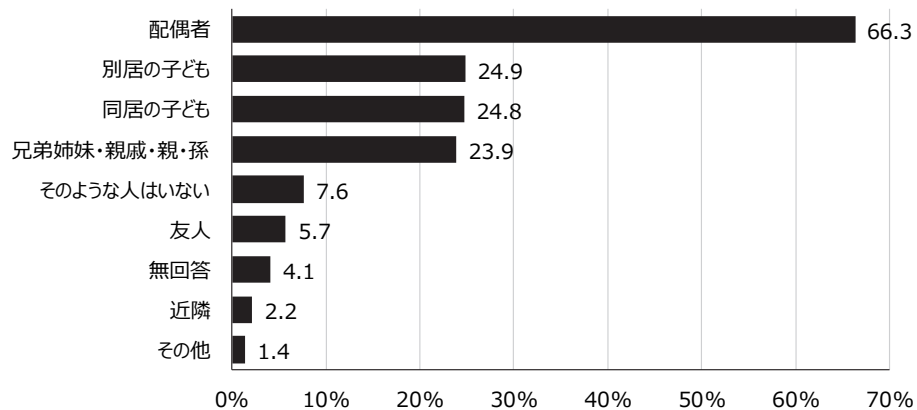
図表 2-24 年齢、性、家族構成別の看病や世話をしてくれる人

		合計	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない人	そのような人は	無回答
全体		2,682	65.5	28.2	28.8	14.1	1.0	3.9	0.9	4.2	2.5	(%)
年齢	65歳～69歳	672	77.5	23.4	25.9	13.5	0.6	3.3	0.1	4.0	1.5	
	70歳～74歳	760	70.1	26.1	28.7	15.1	0.4	3.8	0.8	5.4	2.2	
	75歳～79歳	656	65.7	27.4	31.9	14.5	1.2	5.3	1.8	3.5	2.1	
	80歳～84歳	380	49.7	32.6	31.6	12.4	2.6	3.2	0.3	3.7	3.7	
	85歳以上	194	36.6	48.5	24.7	14.4	1.0	3.6	1.0	3.6	3.1	
性別	男性	1,328	78.6	21.8	22.7	11.7	0.5	2.3	0.8	4.5	2.3	
	女性	1,298	52.5	34.7	35.2	16.3	1.5	5.5	0.8	3.9	2.5	
家族構成	ひとり暮らし	323	1.2	2.2	48.3	28.2	2.5	14.6	2.5	21.1	4.0	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	90.0	4.7	33.1	9.5	0.9	2.4	0.1	1.6	2.1	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	92.5	8.8	15.6	8.2	0.0	0.7	0.0	0.7	3.4	
	息子・娘との2世帯	529	54.6	74.1	20.8	12.7	0.4	2.5	0.2	1.9	0.9	
	その他	542	59.2	50.2	20.8	17.7	1.3	2.8	2.0	2.6	2.8	

④ 看病や世話をしてあげる人

「配偶者」が66.3 %と最も多く、次いで「別居の子ども」が24.9 %、「同居の子ども」が24.8 %となっています。

図表 2-25 看病や世話をしてあげる人(n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳” “70歳～74歳” “75歳～79歳” では「配偶者」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性” では「配偶者」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)” “夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)” では「配偶者」が全体より高くなっています。

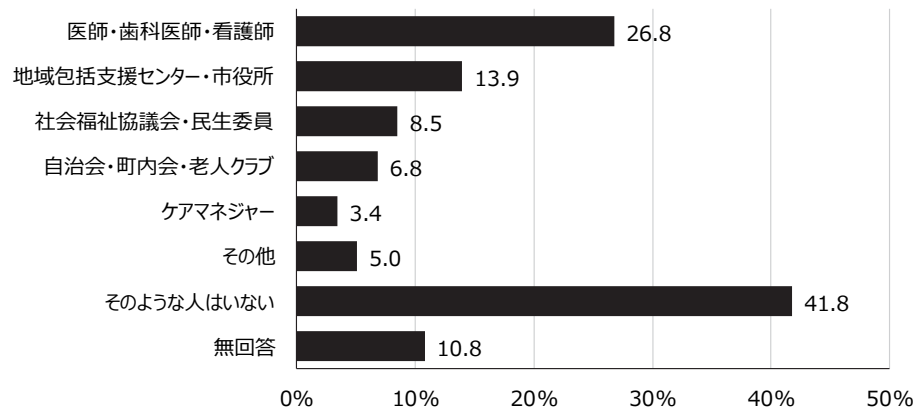
図表 2-26 年齢、性、家族構成別の看病や世話をしてあげる人

		合 計	配 偶 者	同 居 の 子 ど も	別 居 の 子 ど も	親 ・ 兄 弟 姉 妹 ・ 親 戚 ・	近 隣	友 人	そ の 他	い な い よ う な 人 は	無 回 答	
全体		2,682	66.3	24.8	24.9	23.9	2.2	5.7	1.4	7.6	4.1	(%)
年 齢	65歳～69歳	672	77.5	23.1	27.5	31.3	1.8	5.1	1.0	4.8	2.2	
	70歳～74歳	760	70.0	23.9	27.0	25.9	2.4	6.2	0.9	8.8	3.2	
	75歳～79歳	656	66.9	24.7	26.5	21.8	2.0	7.0	1.8	5.8	3.4	
	80歳～84歳	380	51.6	29.2	21.3	17.4	3.4	5.8	1.3	9.2	6.3	
	85歳以上	194	40.2	26.8	9.3	11.9	1.0	2.6	2.6	17.0	10.8	
性 別	男性	1,328	75.2	19.8	18.8	18.3	1.1	2.8	1.3	9.0	3.2	
	女性	1,298	57.4	30.0	31.1	29.7	3.2	8.9	1.4	6.2	4.9	
家 族 構 成	ひとり暮らし	323	1.5	3.1	29.1	30.3	4.3	18.9	2.5	29.7	7.4	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	90.2	4.1	30.3	18.8	2.1	4.7	0.8	2.7	2.5	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	90.5	6.8	19.0	17.7	1.4	0.7	0.0	2.7	2.7	
	息子・娘との2世帯	529	56.5	60.5	17.0	24.4	1.7	3.4	0.8	7.8	4.2	
	その他	542	61.3	47.8	21.4	31.4	1.7	3.7	3.0	5.4	5.0	

⑤ 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手

「そのような人はいない」が41.8%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.8%、「地域包括支援センター・市役所」が13.9%となっています。

図表 2-27 家族や友人・知人以外の相談相手 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「そのような人はいない」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「そのような人はいない」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“ひとり暮らし”“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”では「そのような人はいない」が全体より高くなっています。

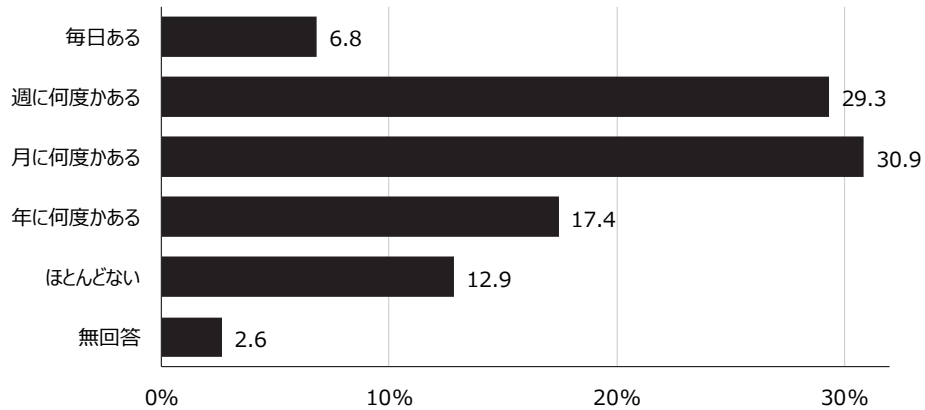
図表 2-28 年齢、性、家族構成別の家族や友人・知人以外の相談相手

		合 計	老 人 自 治 会 ク ラ ブ	民 生 委 員 会	社 会 福 祉 協 議 会	ケ ア マ ネ ジ ヤ ー	看 護 師 ・ 医 師 ・ 歯 科 医 師 ・ 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー ・ 市 役 所	そ の 他	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
全体		2,682	6.8	8.5	3.4	26.8	13.9	5.0	41.8	10.8
年 齢	65歳～69歳	672	5.4	4.9	4.6	26.6	13.7	5.5	49.9	5.2
	70歳～74歳	760	6.2	8.3	2.8	26.6	13.7	5.7	42.4	10.1
	75歳～79歳	656	8.8	8.4	2.6	27.0	13.1	4.9	39.8	11.9
	80歳～84歳	380	6.8	13.9	4.2	27.1	18.4	3.9	34.5	15.5
	85歳以上	194	7.2	11.3	2.6	27.8	10.3	4.1	33.5	16.5
性 別	男性	1,328	9.5	9.6	2.7	24.8	11.7	4.9	45.6	8.7
	女性	1,298	4.1	7.2	3.9	28.9	15.9	5.1	38.1	12.6
家 族 構 成	ひとり暮らし	323	6.2	9.0	2.2	23.5	13.9	7.7	43.0	9.6
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	6.8	7.9	3.0	27.8	14.6	4.1	42.4	10.0
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	11.6	7.5	4.1	22.4	8.8	2.7	49.7	8.8
	息子・娘との2世帯	529	6.4	8.5	2.3	29.9	11.9	5.7	40.3	9.6
	その他	542	6.5	9.4	5.7	26.2	15.5	5.7	40.6	11.8

⑥ 友人・知人と会う頻度

「月に何度かある」が30.9 %と最も多く、次いで「週に何度かある」が29.3 %、「年に何度かある」が17.4 %となっています。

図表 2-29 友人・知人と会う頻度 (n= 2,682)



年齢別でみると、“70歳～74歳”では「月に何度かある」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「月に何度かある」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”では「月に何度かある」が全体より高くなっています。

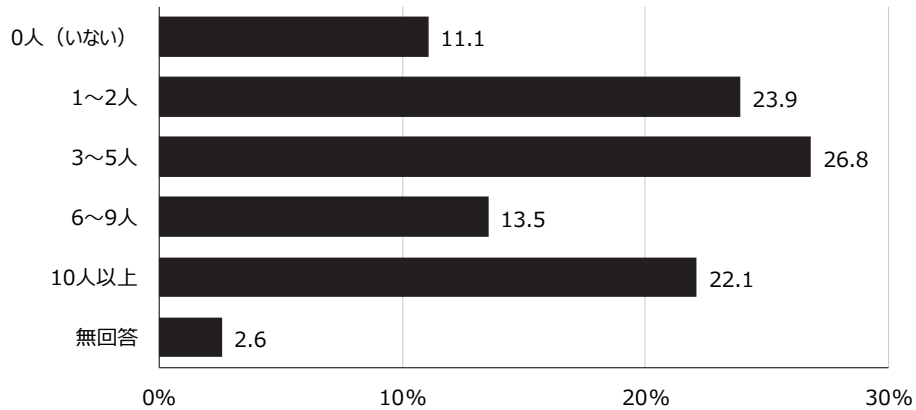
図表 2-30 年齢、性、家族構成別の友人・知人と会う頻度

	合 計	毎 日 あ る	週 に 何 度 か あ る	月 に 何 度 か あ る	年 に 何 度 か あ る	ほ と ん ど な い	無 回 答	
全体	2,682	6.8	29.3	30.9	17.4	12.9	2.6	(%)
年 齢	65歳～69歳	6.7	29.2	30.8	19.6	11.5	1.2	
	70歳～74歳	6.8	28.4	32.5	18.4	11.7	2.1	
	75歳～79歳	6.7	31.7	30.6	16.2	12.8	2.0	
	80歳～84歳	5.5	30.0	30.3	15.5	13.2	5.5	
	85歳以上	5.7	26.3	28.4	13.9	21.1	4.6	
性 別	男性	8.1	25.6	28.7	19.2	16.3	2.2	
	女性	5.4	33.7	33.2	15.5	9.4	2.9	
家 族 構 成	ひとり暮らし	6.5	35.0	28.2	15.8	11.1	3.4	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	5.8	27.1	32.3	18.7	13.2	2.7	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	10.2	29.3	29.9	17.0	11.6	2.0	
	息子・娘との2世帯	6.2	30.8	30.1	16.6	14.6	1.7	
	その他	8.1	29.3	31.4	17.2	12.2	1.8	

⑦ この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

「3～5人」が26.8 %と最も多く、次いで「1～2人」が23.9 %、「10人以上」が22.1 %となっています。

図表 2-31 1か月に会った友人・知人の人数 (n= 2,682)



年齢別でみると、“70歳～74歳” “75歳～79歳” “80歳～84歳” では「3～5人」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性” では「3～5人」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)” “息子・娘との2世帯” では「3～5人」が全体より高くなっています。

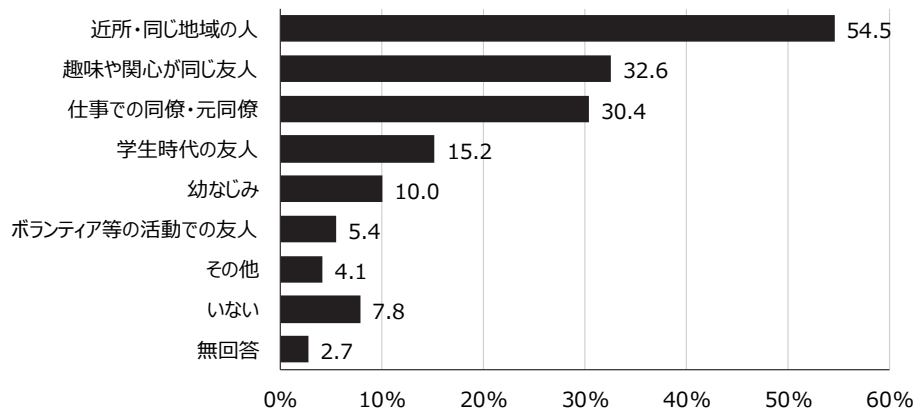
図表 2-32 年齢、性、家族構成別の1か月に会った友人・知人の人数

	合計	0人 (いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答	
全体	2,682	11.1	23.9	26.8	13.5	22.1	2.6	(%)
年齢	65歳～69歳	672	11.6	22.6	24.9	13.8	25.1	1.9
	70歳～74歳	760	10.1	24.1	26.8	14.5	22.6	1.8
	75歳～79歳	656	11.7	22.4	27.4	12.2	24.2	2.0
	80歳～84歳	380	8.2	25.5	30.3	13.9	18.2	3.9
	85歳以上	194	15.5	29.4	25.8	13.4	11.3	4.6
性別	男性	1,328	14.4	23.6	25.1	12.2	22.4	2.4
	女性	1,298	7.7	24.0	28.7	14.8	22.3	2.4
家族構成	ひとり暮らし	323	8.0	27.9	27.2	13.6	20.7	2.5
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	11.8	23.7	26.4	13.2	22.6	2.4
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	13.6	21.1	27.2	12.9	23.1	2.0
	息子・娘との2世帯	529	13.4	22.7	29.3	13.4	19.7	1.5
	その他	542	8.5	23.6	25.1	14.9	24.9	3.0

⑧ よく会う友人・知人との関係性

「近所・同じ地域の人」が54.5 %と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が32.6 %、「仕事での同僚・元同僚」が30.4 %となっています。

図表 2-33 よく会う友人・知人との関係性 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“75歳～79歳”“80歳～84歳”“85歳以上”では「近所・同じ地域の人」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「近所・同じ地域の人」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“息子・娘との2世帯”では「近所・同じ地域の人」が全体より高くなっています。

図表 2-34 年齢、性、家族構成別のよく会う友人・知人との関係性

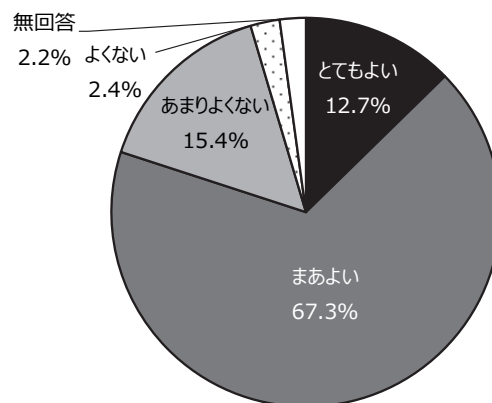
		合計	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	活動での友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		2,682	54.5	10.0	15.2	30.4	32.6	5.4	4.1	7.8	2.7	(%)
年齢	65歳～69歳	672	46.1	12.4	20.8	46.1	31.0	5.1	4.0	7.7	1.0	
	70歳～74歳	760	53.2	10.1	17.8	32.4	36.2	6.4	4.3	7.1	2.6	
	75歳～79歳	656	57.6	10.8	13.0	25.5	34.1	5.6	4.3	8.5	2.9	
	80歳～84歳	380	61.1	8.4	11.1	17.9	32.6	5.5	2.9	7.1	3.9	
	85歳以上	194	66.5	3.1	2.6	11.3	20.6	2.6	5.7	10.3	3.6	
性別	男性	1,328	49.7	9.2	13.6	33.1	30.3	5.7	3.1	11.1	2.6	
	女性	1,298	59.9	11.0	16.9	27.9	35.0	5.2	5.0	4.5	2.5	
家族構成	ひとり暮らし	323	51.4	8.4	13.3	28.5	33.4	6.2	7.4	8.7	2.2	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	52.5	8.9	16.2	31.6	35.2	6.1	3.6	7.9	3.3	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	41.5	6.8	17.7	42.9	33.3	7.5	2.0	8.8	0.7	
	息子・娘との2世帯	529	61.6	11.7	13.4	28.7	26.5	3.8	3.2	8.3	2.1	
	その他	542	57.7	12.4	16.1	27.9	33.4	5.0	5.0	6.6	2.2	

問14. 健康、介護の必要性についてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

① 主観的健康感

「まあよい」が67.3%と最も多く、次いで「あまりよくない」が15.4%、「とてもよい」が12.7%となっています。

図表 2-35 主観的健康感 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳” “70歳～74歳” “75歳～79歳” では「まあよい」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性” では「まあよい」が全体より高くなっています。

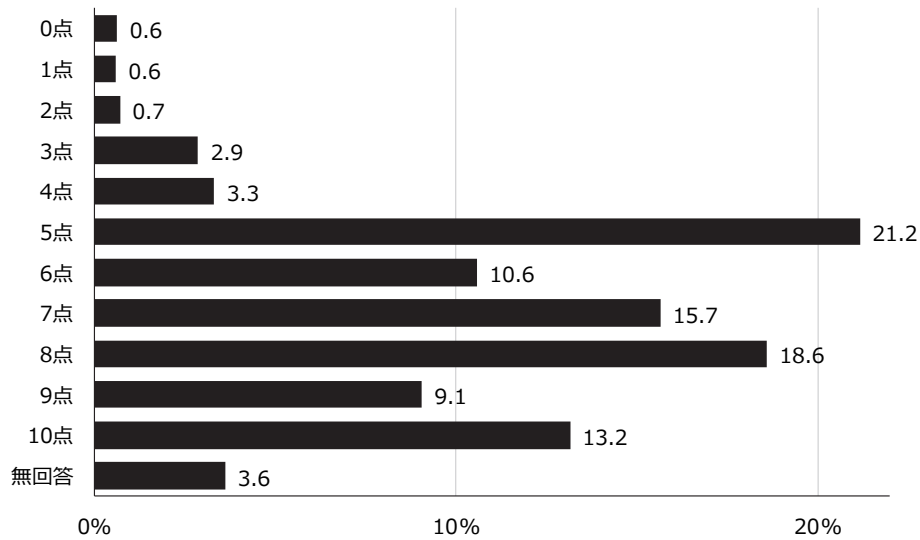
図表 2-36 年齢、性別の主観的健康感

		合計	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体		2,682	12.7	67.3	15.4	2.4	2.2	(%)
年齢	65歳～69歳	672	16.7	70.1	10.4	1.6	1.2	
	70歳～74歳	760	13.4	68.7	14.2	1.7	2.0	
	75歳～79歳	656	9.9	68.6	16.6	3.2	1.7	
	80歳～84歳	380	11.6	60.8	20.0	3.4	4.2	
	85歳以上	194	7.7	61.9	25.3	3.6	1.5	
性別	男性	1,328	11.9	66.9	16.8	2.6	1.9	
	女性	1,298	13.7	67.8	14.3	2.1	2.1	

② 幸福度

「5点」が21.2 %と最も多く、次いで「8点」が18.6 %、「7点」が15.7 %となっています。

図表 2-37 幸福度 (n= 2,682)



年齢別でみると、“75歳～79歳”“85歳以上”では「5点」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「5点」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“ひとり暮らし”では「5点」が全体より高くなっています。

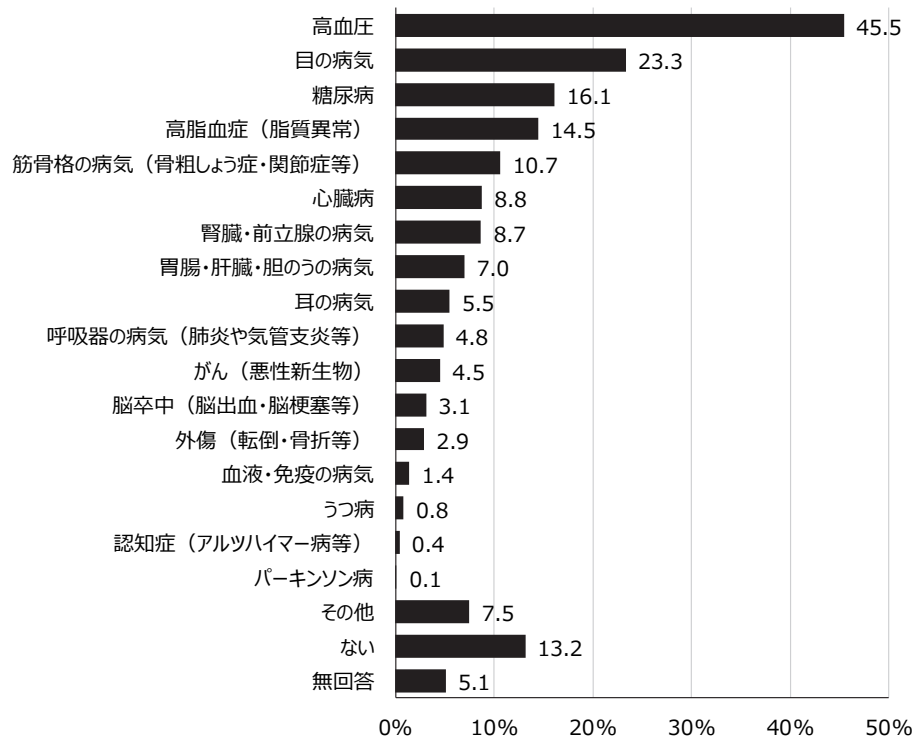
図表 2-38 年齢、性、家族構成別の幸福度

	合計	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	
全体	2,682	0.6	0.6	0.7	2.9	3.3	21.2	10.6	15.7	18.6	9.1	13.2	3.6	(%)
年齢	65歳～69歳	672	0.6	0.4	0.4	2.7	3.9	17.6	10.6	18.0	22.8	8.8	12.4	1.9
	70歳～74歳	760	0.7	0.5	0.9	3.2	3.0	19.9	10.5	17.5	18.6	9.1	13.6	2.6
	75歳～79歳	656	0.3	0.6	1.1	2.9	3.2	24.8	11.0	15.4	15.5	7.9	13.1	4.1
	80歳～84歳	380	1.1	0.5	0.5	2.9	3.7	20.8	12.4	11.3	17.1	10.0	14.2	5.5
	85歳以上	194	1.0	1.5	0.0	2.6	2.1	26.3	7.2	10.8	19.6	10.3	12.4	6.2
性別	男性	1,328	0.7	0.8	0.9	3.5	4.2	23.3	11.4	14.4	19.8	6.7	10.5	3.8
	女性	1,298	0.6	0.3	0.5	2.2	2.5	18.6	10.0	17.3	17.6	11.2	15.9	3.2
家族構成	ひとり暮らし	323	0.6	1.5	0.9	4.3	3.4	29.1	11.5	11.8	14.6	8.0	10.2	4.0
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	0.6	0.3	0.8	2.5	3.6	18.3	11.3	16.1	20.1	10.0	13.6	2.8
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	0.7	0.0	0.7	2.0	4.1	19.7	6.8	15.0	27.2	6.8	15.0	2.0
	息子・娘との2世帯	529	0.8	0.4	0.2	2.8	2.1	20.2	8.5	15.5	21.6	10.4	14.0	3.6
	その他	542	0.6	1.1	0.9	3.1	3.9	22.9	11.6	18.5	13.3	7.6	12.5	4.1

③ 現在治療中、または後遺症のある病気

「高血圧」が45.5%と最も多く、次いで「目の病気」が23.3%、「糖尿病」が16.1%となっています。

図表 2-39 現在治療中、または後遺症のある病気 (n= 2,682)



性別でみると、“男性”では「高血圧」が全体より高くなっています。

図表 2-40 性別の現在治療中、または後遺症のある病気

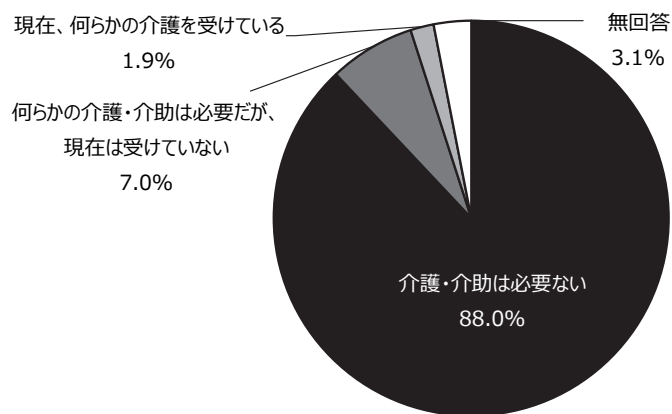
	合計	ない	高血圧	(脳卒中・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の病気・気管支炎等)	胆のう・肝臓の病気	腎臓・前立腺の病気	しよ骨格の病気 (骨粗しょう症等)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体	2,682	13.2	45.5	3.1	8.8	16.1	14.5	4.8	7.0	8.7	10.7	2.9	4.5	1.4	0.8	0.4	0.1	23.3	5.5	7.5	5.1
男性	1,328	13.2	48.5	4.4	11.7	20.4	11.7	5.5	6.9	15.9	4.1	1.5	5.0	1.5	0.8	0.5	0.2	21.4	6.0	6.4	3.9
女性	1,298	13.3	43.5	1.5	5.8	12.2	17.6	4.4	6.9	1.4	17.6	4.3	3.9	1.4	0.8	0.4	0.1	25.3	5.0	8.6	6.0

(%)

④ 普段の生活における介護・介助の必要性

「介護・介助は必要ない」が88.0 %と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.0 %、「現在、何らかの介護を受けている」が1.9 %となっています。

図表 2-41 普段の生活における介護・介助の必要性 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳” “70歳～74歳” “75歳～79歳” では「介護・介助は必要ない」が全体より高くなっています。

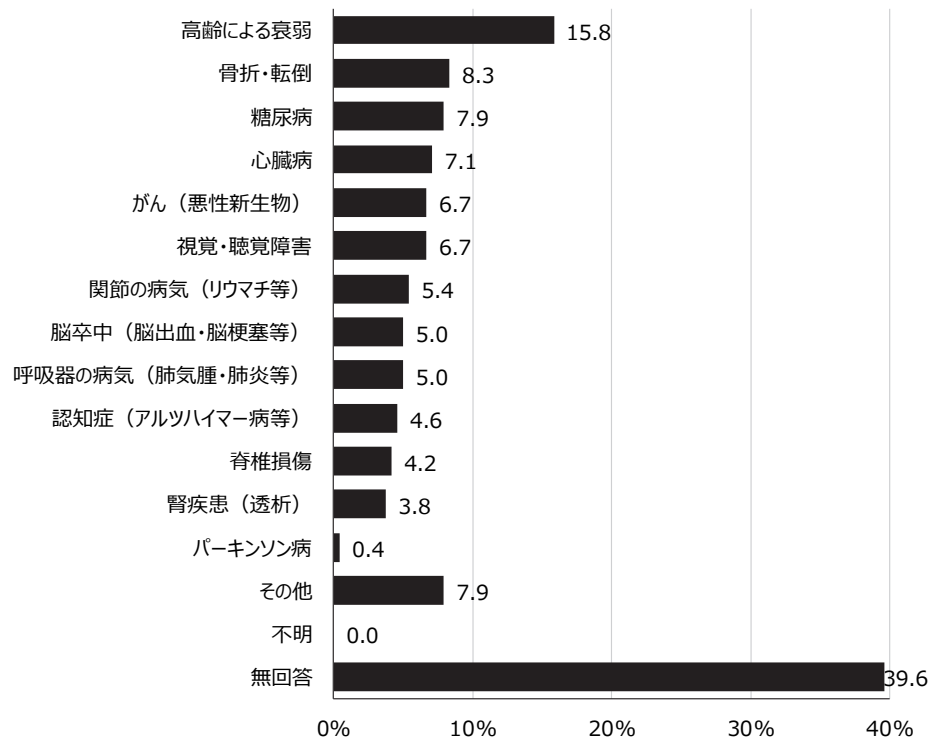
図表 2-42 年齢別の普段の生活における介護・介助の必要性

		合 計	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答
全体		2,682	88.0	7.0	1.9	3.1 (%)
年 齢	65歳～69歳	672	95.8	2.2	0.9	1.0
	70歳～74歳	760	91.6	4.9	1.7	1.8
	75歳～79歳	656	88.4	6.7	2.0	2.9
	80歳～84歳	380	77.6	14.5	1.6	6.3
	85歳以上	194	67.5	19.1	6.7	6.7

⑤ 介護・介助が必要になった主な原因

「高齢による衰弱」が15.8%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が8.3%、「糖尿病」が7.9%となっています。

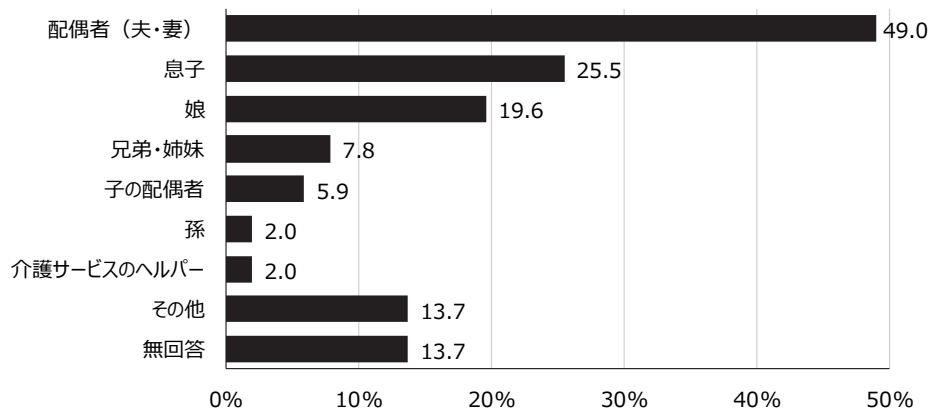
図表 2-43 介護・介助が必要になった主な原因 (n= 240)



⑥ 主にどなたの介護、介助を受けているか

「配偶者（夫・妻）」が49.0 %と最も多く、次いで「息子」が25.5 %、「娘」が19.6 %となっています。

図表 2-44 主にどなたの介護、介助を受けているか (n= 51)

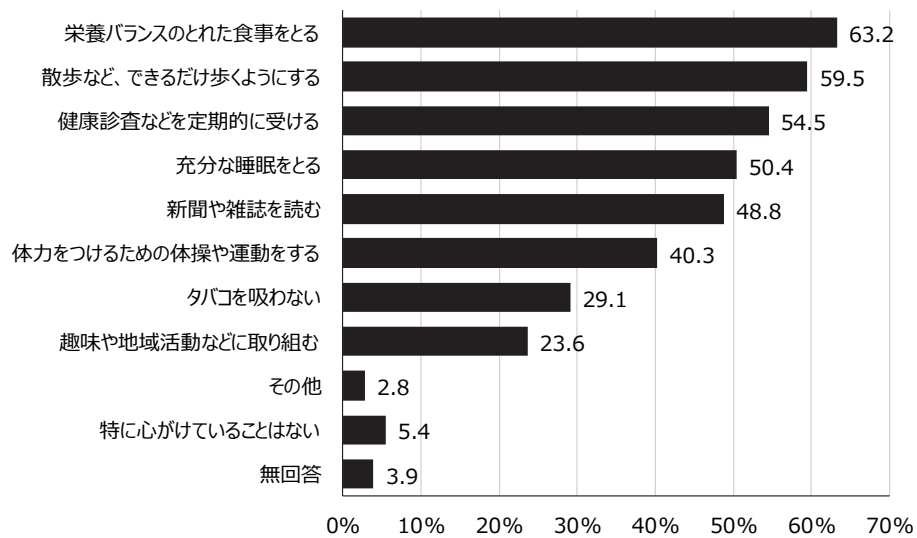


3. 介護予防について

問15. あなたは、将来、介護を必要としない健康な生活が送れるようにするために、心がけていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「栄養バランスのとれた食事をとる」が63.2%と最も多く、次いで「散歩など、できるだけ歩くようにする」が59.5%、「健康診査などを定期的に受ける」が54.5%となっています。

図表 2-45 介護予防のために心がけていること (n= 2,682)



性・年齢別でみると、“女性・65歳～69歳”“女性・70歳～74歳”“女性・75歳～79歳”
“女性・80歳～84歳”では「栄養バランスのとれた食事をする」が全体より高くなっています。

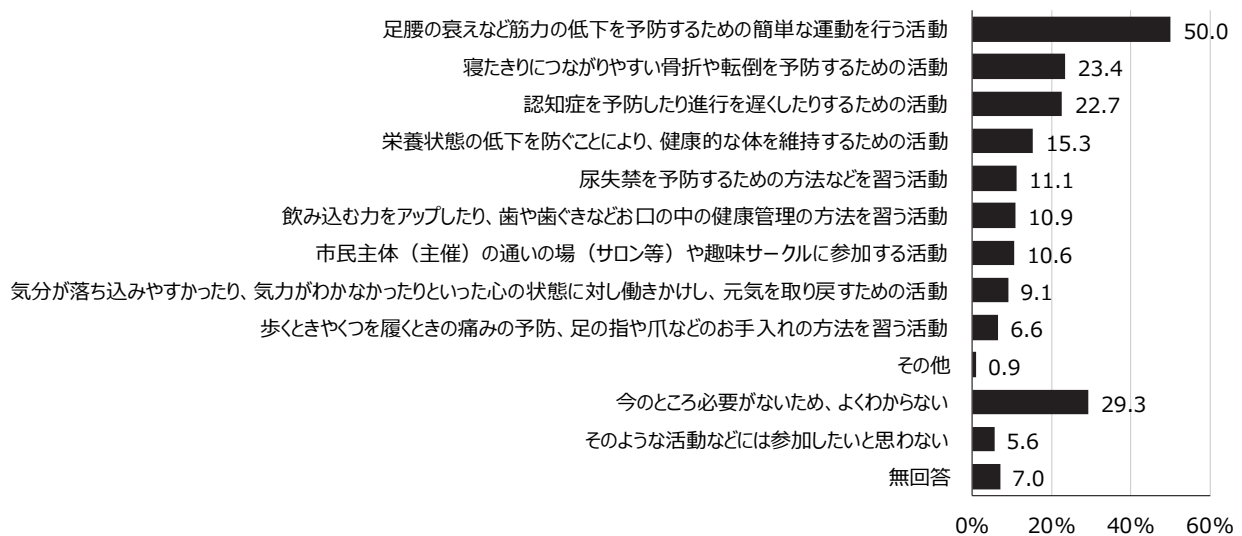
図表 2-46 性・年齢別の介護予防のために心がけていること

		合 計	と れ 養 バ ラ ン ス の 食 事 を と る	歩 く よ う に す る だ け	散 歩 や 運 動 を す る た め の	体 操 を つ け る た め の	定 期 的 に 受 け る	健 康 診 査 な ど を	充 分 な 睡 眠 を と る	タ バ コ を 吸 わ な い	新 聞 や 雑 誌 を 読 む	取 り 組 む 地 域 活 動 な ど に	趣 味 や 他	こ と は 心 が け て い る	特 に 心 が け て い る	無 回 答
全体		2,682	63.2	59.5	40.3	54.5	50.4	29.1	48.8	23.6	2.8	5.4	3.9	(%)		
男 性	男性計	1,328	57.5	59.3	37.9	52.6	49.8	34.2	46.6	23.5	2.4	6.9	4.1			
	65歳～69歳	360	55.8	56.4	41.7	55.0	45.8	31.1	37.5	23.9	1.4	10.3	1.9			
	70歳～74歳	358	59.2	58.4	34.1	49.2	51.1	30.2	46.9	20.9	3.9	5.9	3.9			
	75歳～79歳	330	58.5	60.0	40.3	54.5	52.1	39.7	51.5	28.2	2.1	6.7	4.8			
	80歳～84歳	182	56.0	67.6	35.7	52.2	53.8	39.6	51.6	21.4	2.2	2.7	4.9			
		96	57.3	55.2	34.4	51.0	44.8	32.3	54.2	19.8	2.1	7.3	9.4			
女 性	女性計	1,298	70.0	60.2	42.7	56.4	51.9	23.8	51.2	24.2	3.1	3.8	3.5			
	65歳～69歳	303	71.6	55.8	45.2	57.8	50.5	26.4	44.2	26.4	2.6	5.3	2.0			
	70歳～74歳	393	73.5	67.4	47.6	56.0	54.7	27.0	53.9	29.5	3.3	3.1	2.8			
	75歳～79歳	316	69.3	58.5	42.4	59.2	50.6	18.7	51.9	21.8	3.2	3.5	3.5			
	80歳～84歳	192	65.6	58.9	38.0	56.8	52.1	26.0	56.3	18.8	3.1	3.1	5.2			
		90	60.0	53.3	24.4	42.2	48.9	14.4	51.1	13.3	3.3	4.4	7.8			

問16. 介護予防に関して、今後も続けたい活動または新たに参加・利用したい活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う活動」が50.0 %と最も多く、次いで「今のところ必要がないため、よくわからない」が29.3 %、「寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための活動」が23.4 %となっています。

図表 2-47 介護予防のために今後も続けたい活動または新たに参加・利用したい活動
(n= 2, 682)



性・年齢別でみると、“男性・75歳～79歳”“男性・80歳～84歳”及び“女性・65歳～69歳”“女性・70歳～74歳”“女性・75歳～79歳”では「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う活動」が全体より高くなっています。

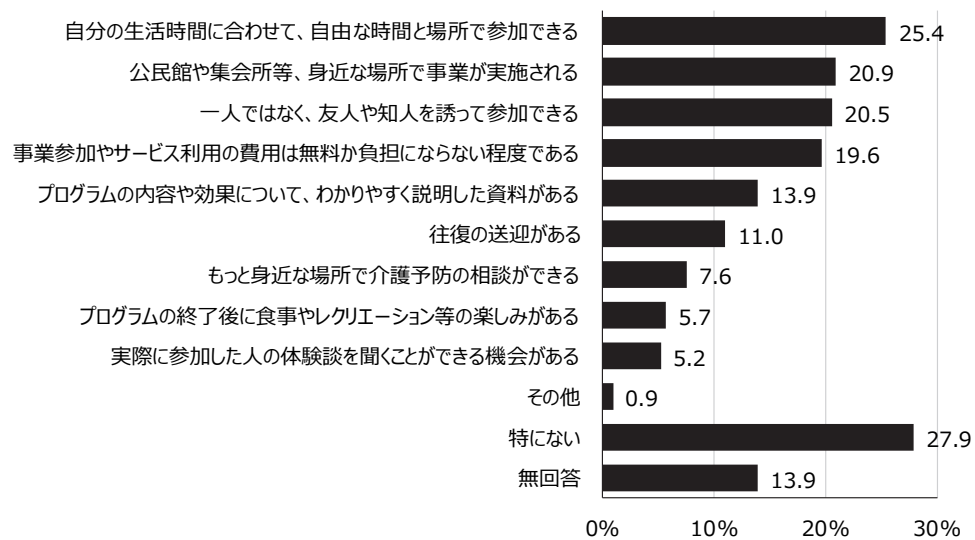
図表 2-48 性・年齢別の介護予防のために今後も続けたい活動
または新たに参加・利用したい活動

		合計	運動の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な活動	寝たきりにながりにやすい骨折や転倒を予防するための活動	認知症を予防したり進行を遅くしたりするための活動	状態に対し働きかけし、元氣を取り戻すための活動	気分が落ち込みやすかったり、氣力がわかなかつたりといった心の維持するための活動	栄養状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための活動	健康管理の方法を習う活動	飲み込む力をアップしたり、歯や歯ぐきなどお口の中の健康状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための活動	尿失禁を予防するための方法を習う活動	足の指や爪などのお手入れの方法を習う活動	歩くときやくつを履くときの痛みの予防、歩行の指や爪などのお手入れの方法を習う活動	市民主体（主催）の通いの場（サロン等）や趣味サークルに参加する活動	その他	今のところ必要がないため、よくわからない	そのような活動などには参加したいと思わない	無回答
全体			2,682	50.0	23.4	22.7	9.1	15.3	10.9	11.1	6.6	10.6	0.9	29.3	5.6	7.0	(%)	
男性	男性計	1,328	48.2	17.1	18.4	6.3	14.7	9.0	9.3	4.9	7.4	1.0	32.2	5.8	6.6			
	65歳～69歳	360	46.7	11.4	15.8	5.3	13.1	6.9	5.8	4.7	6.4	0.3	40.0	4.2	4.2			
	70歳～74歳	358	45.5	15.1	17.3	6.1	13.4	8.7	8.7	3.6	5.6	1.4	34.4	5.3	6.1			
	75歳～79歳	330	51.5	20.6	19.4	6.1	15.8	10.3	10.3	3.6	10.6	1.2	27.6	7.0	6.1			
	80歳～84歳	182	52.2	24.2	23.6	8.8	17.6	12.1	14.8	9.3	8.2	0.5	25.8	6.6	9.9			
	85歳以上	96	45.8	20.8	19.8	7.3	16.7	8.3	10.4	6.3	5.2	2.1	21.9	8.3	12.5			
女性	女性計	1,298	51.9	30.1	27.2	12.0	16.1	12.9	13.1	8.4	14.1	0.8	26.3	5.3	7.3			
	65歳～69歳	303	55.1	27.7	24.8	13.2	15.2	14.9	12.5	7.6	16.2	0.7	32.7	2.0	3.3			
	70歳～74歳	393	58.0	34.1	31.6	13.7	18.3	13.2	14.5	9.4	18.1	0.8	21.9	4.8	4.6			
	75歳～79歳	316	50.6	31.0	28.2	11.7	17.7	11.4	13.6	8.9	10.4	1.3	27.8	5.1	6.6			
	80歳～84歳	192	49.5	29.7	25.5	10.4	13.0	14.1	11.5	6.8	13.5	0.0	25.5	7.8	11.5			
	85歳以上	90	26.7	20.0	17.8	5.6	11.1	8.9	11.1	8.9	3.3	2.2	18.9	14.4	25.6			

問17. 問16で挙げた介護予防活動に、どのような条件があれば、参加者として参加したいと思いますか。（主なもの3つまで○）

「特にない」が27.9 %と最も多く、次いで「自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる」が25.4 %、「公民館や集会所等、身近な場所で事業が実施される」が20.9 %となっています。

図表 2-49 介護予防活動への参加者としての参加条件 (n= 2, 682)



性・年齢別でみると、“男性・65歳～69歳”“男性・70歳～74歳”“男性・75歳～79歳”
“男性・85歳以上”では「特にない」が全体より高くなっています。

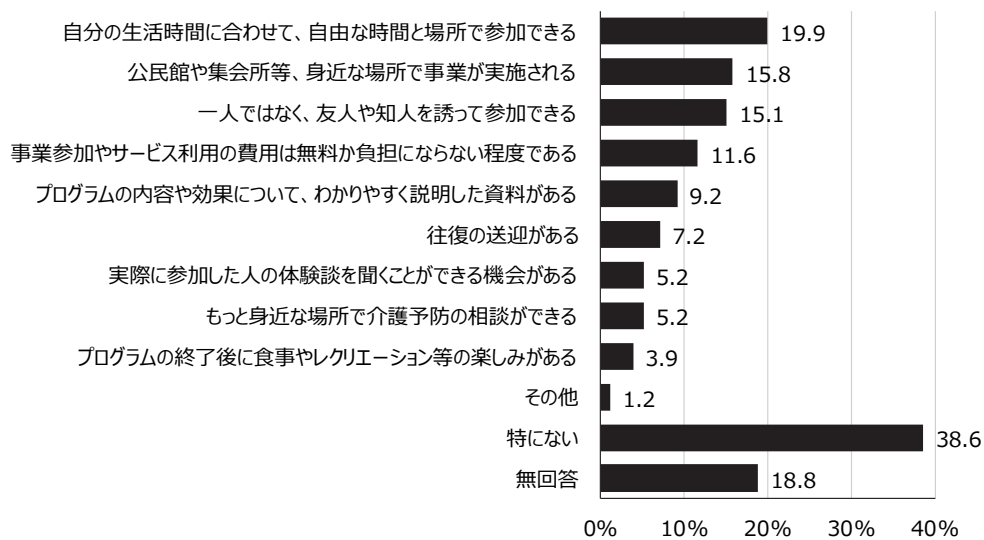
図表 2-50 性・年齢別の介護予防活動への参加者としての参加条件

	合計	参加できない	わかりやすく説明した資料がある	プログラムの内容や効果について、	実際に参加した人の体験談を	相談ができる場所での介護予防の	もつと身近な場所での介護予防の	事業が実施される身近な場所での	公民館や集会所等、身近な場所での	自分の生活時間と場所に合わせて、	往復の送迎がある	レクリエーションの終了後に食事や楽しみがある	無料か負担にならない程度の費用は	事業参加やサービス利用の費用は	その他	特にない	無回答
全体	2,682	20.5	13.9	5.2	7.6	20.9	25.4	11.0	5.7	19.6	0.9	27.9	13.9	(%)			
男性計	1,328	15.6	14.4	5.1	7.5	17.8	23.8	7.0	5.6	15.7	1.1	34.7	13.5				
65歳～69歳	360	15.6	16.4	4.2	7.2	16.9	30.0	3.3	5.3	19.2	1.1	38.6	8.3				
70歳～74歳	358	14.5	14.2	4.7	5.3	19.0	22.3	4.2	5.6	14.2	0.3	39.7	11.7				
75歳～79歳	330	15.8	14.2	4.5	8.2	17.3	20.9	9.4	5.8	17.3	2.1	31.5	14.5				
80歳～84歳	182	18.1	13.7	8.8	11.0	19.8	24.2	12.1	6.6	13.7	0.5	26.4	18.1				
85歳以上	96	14.6	9.4	5.2	8.3	15.6	15.6	13.5	5.2	7.3	1.0	28.1	26.0				
女性計	1,298	26.0	13.5	5.5	7.8	24.3	27.6	15.5	5.8	23.7	0.8	20.3	14.0				
65歳～69歳	303	26.1	17.8	6.3	7.6	26.1	35.6	7.3	5.0	28.4	0.7	24.8	6.3				
70歳～74歳	393	27.7	17.0	6.1	9.2	29.5	32.8	11.2	5.9	27.2	0.8	15.8	10.4				
75歳～79歳	316	25.6	10.4	5.4	6.0	24.1	25.0	19.9	5.1	22.2	1.6	20.3	15.5				
80歳～84歳	192	25.0	9.4	4.2	9.4	18.8	17.2	25.5	8.3	17.7	0.0	21.4	22.4				
85歳以上	90	22.2	3.3	3.3	5.6	8.9	10.0	25.6	5.6	12.2	1.1	24.4	30.0				

問18. 問16で挙げた介護予防活動に、どのような条件があれば、地域住民の有志での企画・運営（お世話役）として参加したいと思いますか。（主なもの3つまで○）

「特にない」が38.6%と最も多く、次いで「自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる」が19.9%、「公民館や集会所等、身近な場所で事業が実施される」が15.8%となっています。

図表 2-51 介護予防活動への企画・運営としての参加条件 (n= 2, 682)



性・年齢別でみると、“男性・65歳～69歳”“男性・70歳～74歳”“男性・75歳～79歳”及び“女性・65歳～69歳”“女性・85歳以上”では「特にない」が全体より高くなっています。

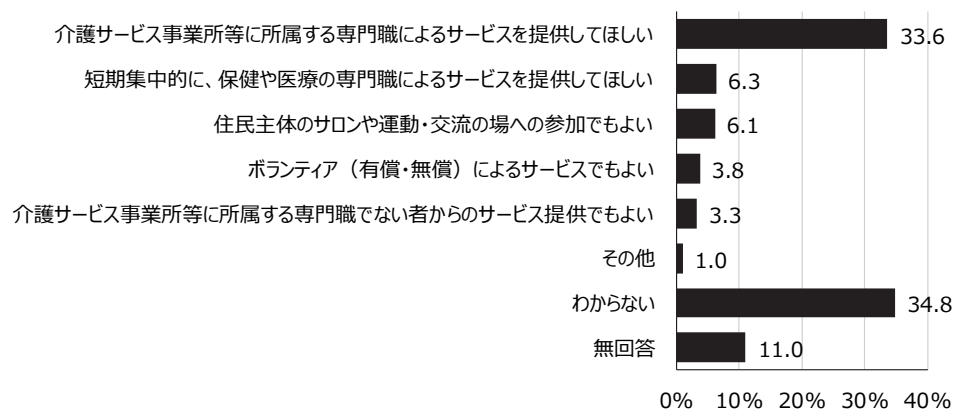
図表 2-52 年齢、性別の介護予防活動への企画・運営（お世話役）としての参加条件

		合計	誘って参加できる	わかりやすく説明した資料がある	プログラムの内容や効果について、	実際に参加した人の体験談を聞くことができる機会がある	相談ができる	もっと身近な場所での介護予防の	事業が実施される	公民館や集会所等、身近な場所	自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所に参加できる	往復の送迎がある	レクリエーション等の楽しみがある	無料か負担にならない程度の費用は	事業参加やサービス利用の費用は	その他	特にない	無回答
全体		2,682	15.1	9.2	5.2	5.2	15.8	19.9	7.2	3.9	11.6	1.2	38.6	18.8	(%)			
男性	男性計	1,328	12.6	10.2	5.1	4.4	16.0	18.4	4.7	4.5	10.3	1.0	43.8	16.3				
	65歳～69歳	360	11.9	11.7	5.3	4.4	16.7	22.8	3.9	4.4	12.5	0.8	47.8	11.1				
	70歳～74歳	358	11.2	9.2	4.2	2.5	14.0	19.0	2.2	4.7	8.7	0.8	48.0	13.4				
	75歳～79歳	330	14.2	10.6	4.5	5.8	17.0	16.4	5.2	4.2	13.0	1.8	40.3	17.3				
	80歳～84歳	182	13.7	8.8	6.0	6.6	18.1	15.4	9.9	4.4	8.2	0.5	36.8	23.1				
	85歳以上	96	12.5	9.4	8.3	3.1	13.5	13.5	5.2	5.2	3.1	0.0	38.5	30.2				
女性	女性計	1,298	17.8	8.4	5.3	6.2	15.8	21.6	9.9	3.3	12.8	1.4	33.2	21.0				
	65歳～69歳	303	15.8	9.9	5.6	7.9	17.5	26.1	5.3	3.0	17.2	1.7	41.3	10.9				
	70歳～74歳	393	19.8	12.0	5.9	5.6	19.3	28.8	6.6	4.3	14.8	1.3	29.8	17.8				
	75歳～79歳	316	19.9	7.0	5.4	4.4	13.6	19.0	11.4	3.8	9.2	0.6	31.0	25.0				
	80歳～84歳	192	16.7	5.2	5.2	8.9	13.5	12.5	20.3	2.6	11.5	2.1	28.6	28.1				
	85歳以上	90	10.0	0.0	2.2	3.3	7.8	5.6	13.3	0.0	5.6	2.2	40.0	36.7				

問19. あなたは今後、支援が必要な高齢者に対する介護サービスや生活支援サービスについては、どのような形で利用していきたいですか。（ひとつだけ○）

「わからない」が34.8 %と最も多く、次いで「介護サービス事業所等に所属する専門職によるサービスを提供してほしい」が33.6 %、「短期集中的に、保健や医療の専門職によるサービスを提供してほしい」が6.3 %となっています。

図表 2-53 介護サービスや生活支援サービスへの意向 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”では「わからない」が全体より高くなっています。
性別でみると、“男性”では「わからない」が全体より高くなっています。

図表 2-54 年齢、性、居住地域、家族構成別の
介護サービスや生活支援サービスへの意向

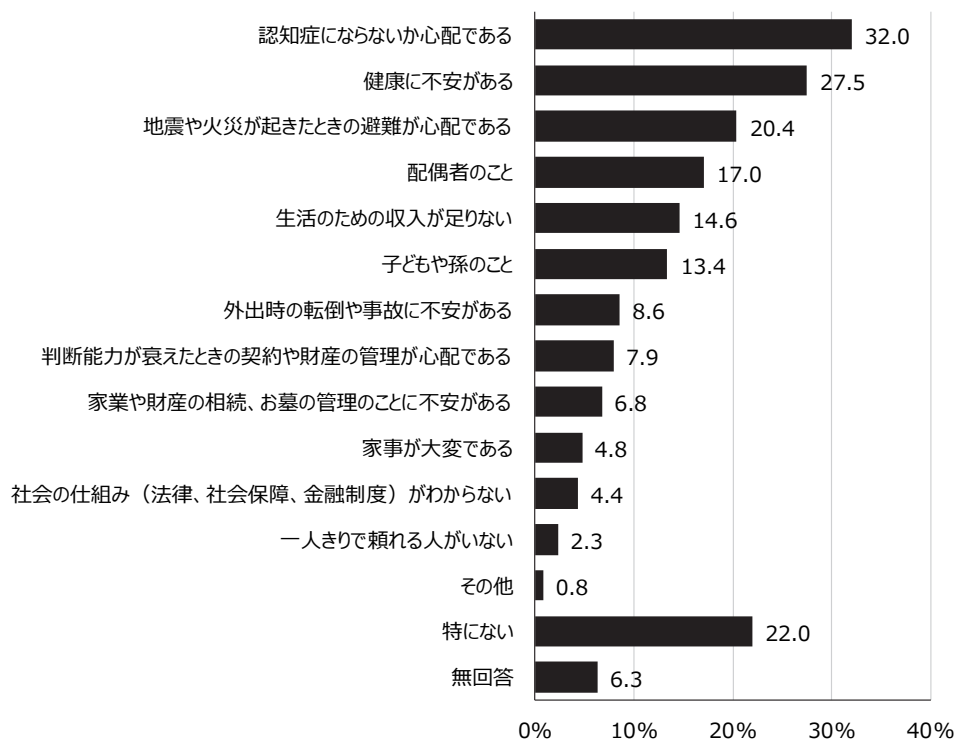
		合 計	専 門 職 に よ る サ ー ビ ス 等 に 所 属 し て ほ し い	介 護 サ ー ビ ス の サ ー ビ ス に 所 属 す る 専 門 職	介 護 サ ー ビ ス を 提 供 し て ほ し い	サ ー ビ ス 中 心 的 に 保 健 や 医 療 の 専 門 職 に よ る	ボ ラ ン テ ィ ア （ 有 償 ・ 無 償 ） に よ る	参 加 主 体 の サ ー ビ ス や 運 動 ・ 交 流 の 場 へ の	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全体		2,682	33.6	3.3	6.3	3.8	6.1	1.0	34.8	11.0	(%)
年 齢	65歳～69歳	672	39.1	2.5	5.4	3.4	5.4	0.6	38.7	4.9	
	70歳～74歳	760	33.3	3.4	7.1	4.2	7.4	1.1	34.5	9.1	
	75歳～79歳	656	31.4	4.1	6.4	3.8	7.3	1.8	32.6	12.5	
	80歳～84歳	380	31.1	4.2	6.8	3.4	5.3	0.8	32.1	16.3	
	85歳以上	194	29.9	1.5	6.2	3.6	2.1	0.5	34.5	21.6	
性 別	男性	1,328	31.4	3.7	5.9	3.5	5.6	1.6	38.9	9.3	
	女性	1,298	36.2	3.0	6.6	4.0	6.6	0.5	30.4	12.7	

4. 生活支援、社会参加について

問20. 日常生活での不安、悩み、心配ごとがありますか。それはどのようなことですか。
(主なものを3つまで○)

「認知症にならないか心配である」が32.0 %と最も多く、次いで「健康に不安がある」が27.5 %、「特にない」が22.0 %となっています。

図表 2-55 日常生活での不安、悩み、心配ごと (n= 2,682)



年齢別でみると、“75歳～79歳”“80歳～84歳”では「認知症にならないか心配である」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「認知症にならないか心配である」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“木更津東”“清川”“鎌足”“金田”“中郷”では「認知症にならないか心配である」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“ひとり暮らし”“息子・娘との2世帯”では「認知症にならないか心配である」が全体より高くなっています。

図表 2-56 年齢、性、居住地域、家族構成別の日常生活での不安、悩み、心配ごと

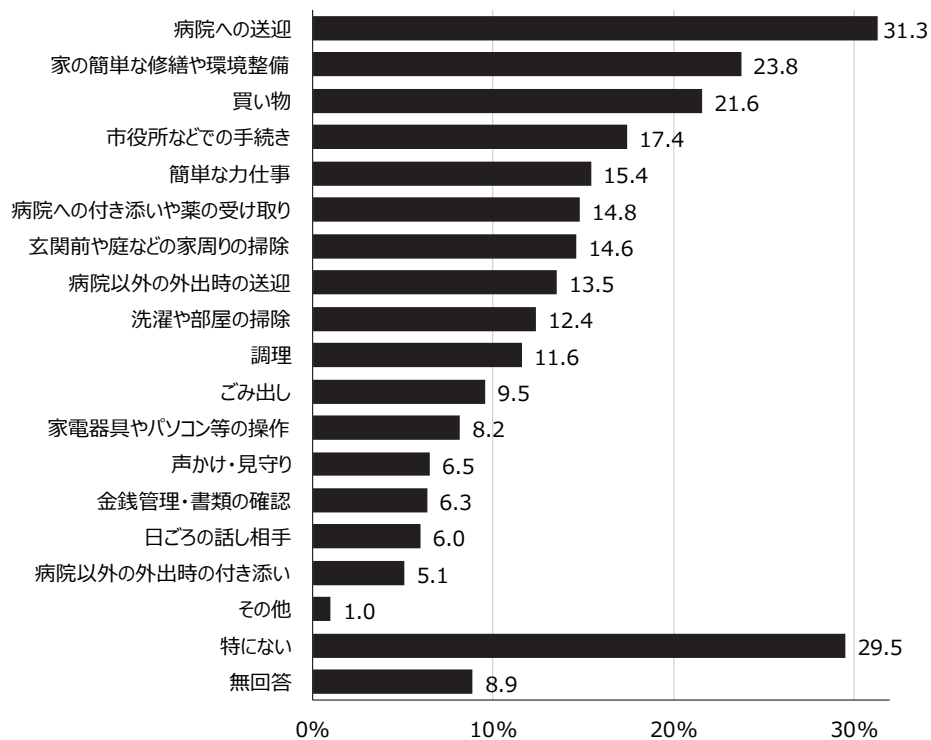
		合計	健康に不安がある	認知症にならないか心配である	一人きりで頼れる人がいない	生活のための収入が足りない	家事が大変である	外出時の転倒や事故に不安がある	避難や火災が起きたときの配である	家業や財産の相続、お墓の管理のことに不安がある	配偶者のこと	子どもや孫のこと	判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配である	障（金融制度）が法律、社会保険の仕組み（法律、社会保	その他	特にな	無回答
全体		2,682	27.5	32.0	2.3	14.6	4.8	8.6	20.4	6.8	17.0	13.4	7.9	4.4	0.8	22.0	6.3
年齢	65歳～69歳	672	25.4	30.8	2.7	15.3	3.7	3.7	19.5	7.9	16.5	17.9	8.3	4.2	0.6	28.0	2.8
	70歳～74歳	760	25.4	30.1	2.9	15.4	2.9	5.8	18.8	7.1	16.4	14.5	7.4	5.0	1.2	24.3	5.0
	75歳～79歳	656	28.5	34.9	1.8	16.9	5.5	9.0	20.3	6.4	20.1	11.4	8.1	4.7	0.6	19.5	5.9
	80歳～84歳	380	31.6	35.8	1.3	10.0	7.6	15.5	26.6	4.7	16.1	10.8	6.6	3.2	0.3	15.3	11.1
	85歳以上	194	32.5	27.3	2.6	10.3	7.7	21.1	18.0	7.7	13.9	6.2	9.8	4.1	2.1	13.9	13.4
性別	男性	1,328	28.5	26.4	2.9	17.1	4.2	6.6	15.1	8.4	19.4	14.2	8.8	3.8	0.8	24.6	5.9
	女性	1,298	27.0	38.2	1.8	11.9	5.3	10.7	25.7	5.0	15.0	12.7	7.0	4.9	0.8	19.1	6.2
居住地域	木更津西	251	25.9	30.7	5.2	14.3	6.0	8.0	25.9	6.0	14.3	10.8	8.8	4.0	1.6	25.1	6.0
	木更津東	314	25.8	33.8	2.2	12.1	5.1	8.0	18.2	6.1	18.5	12.4	8.0	4.8	1.0	24.5	5.4
	波岡	317	25.6	30.3	1.6	12.6	3.8	7.3	20.2	6.0	21.1	14.5	8.2	4.1	0.9	26.2	3.5
	清川	336	30.4	34.2	3.6	15.5	3.6	6.8	20.8	5.4	19.0	12.5	9.5	4.2	0.6	22.3	6.3
	岩根	290	24.8	28.3	2.1	16.2	3.8	10.3	22.1	7.6	14.8	13.4	7.6	4.1	0.3	21.4	5.9
	鎌足	306	26.1	36.3	1.0	13.7	6.2	10.1	13.7	7.2	15.4	12.4	10.1	5.2	0.7	21.2	6.5
	金田	269	31.2	33.1	1.1	18.6	5.2	8.9	23.0	7.8	13.4	15.6	4.8	3.7	0.4	19.0	8.6
	中郷	269	24.9	35.3	1.5	14.1	5.2	10.8	22.3	7.8	13.0	12.3	7.4	6.3	1.9	19.0	6.7
	富来田	313	33.2	26.5	2.6	14.7	4.5	8.0	18.8	8.0	22.4	16.6	6.4	3.2	0.3	18.2	7.7
家族構成	ひとり暮らし	323	27.6	35.0	14.6	16.7	7.1	10.5	26.3	8.0	1.5	7.4	11.5	5.0	1.5	18.0	6.5
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	27.7	30.9	0.4	13.5	4.0	7.3	20.5	7.1	24.8	9.4	9.1	4.7	0.7	23.0	7.1
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	26.5	23.1	0.0	10.2	2.7	4.1	13.6	9.5	19.7	15.6	8.8	2.0	0.0	30.6	5.4
	息子・娘との2世帯	529	29.5	35.3	0.2	14.9	4.7	11.3	18.1	4.5	14.6	16.3	4.7	4.0	0.9	20.8	5.5
	その他	542	26.9	32.8	1.7	16.4	5.5	8.3	20.7	6.6	12.5	22.0	6.3	4.4	0.7	21.2	4.4

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問21. あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと（または手助けしてほしいこと）は何かありますか。（あてはまるものすべてに○）

「病院への送迎」が31.3 %と最も多く、次いで「特にない」が29.5 %、「家の簡単な修繕や環境整備」が23.8 %となっています。

図表 2-57 普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと (n= 2, 682)



年齢別でみると、“75歳～79歳”“80歳～84歳”“85歳以上”では「病院への送迎」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「病院への送迎」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“波岡”“岩根”“鎌足”“富来田”では「病院への送迎」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“息子・娘との2世帯”では「病院への送迎」が全体より高くなっています。

図表 2-58 年齢、性、居住地、家族構成別の
普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと

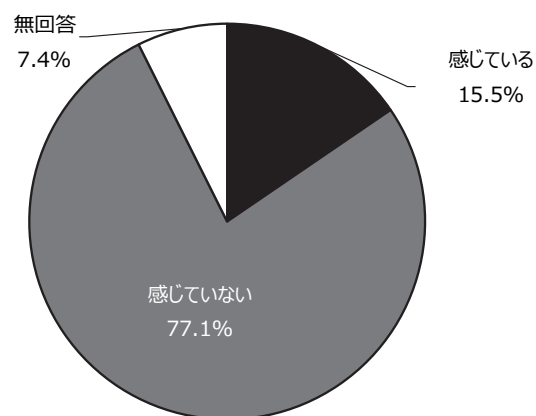
		合計	ごみ出し	買い物	調理	洗濯や部屋の掃除	玄関前や庭などの掃除法	簡単な力仕事	病院への送迎	薬の受け取り	病院への付き添いや送迎	病院以外の外出時の付き添い	病院以外の外出時の声かけ・見守り	日ごろの話し相手	金銭管理・書類の確認	市役所などでの手続き	等の操作やパソコン	家の簡単な修繕や環境整備	その他	特にない	無回答
全体		2,682	9.5	21.6	11.6	12.4	14.6	15.4	31.3	14.8	13.5	5.1	6.5	6.0	6.3	17.4	8.2	23.8	1.0	29.5	8.9
年齢	65歳～69歳	672	8.9	21.4	11.9	12.8	16.1	15.6	25.6	15.2	13.2	6.1	7.4	6.3	7.6	17.7	9.1	26.5	0.9	36.2	4.8
	70歳～74歳	760	8.3	18.7	10.1	10.7	14.5	16.8	27.8	12.2	10.4	4.1	7.0	5.7	5.9	15.9	8.4	25.0	1.1	34.5	7.8
	75歳～79歳	656	10.4	23.3	12.3	11.6	14.3	14.6	35.7	15.2	14.9	4.4	6.4	5.5	5.5	17.8	7.2	21.6	1.4	25.3	9.0
	80歳～84歳	380	12.6	25.0	14.2	16.1	15.0	16.1	36.6	16.3	15.0	4.5	6.3	7.1	6.1	18.9	8.4	23.9	0.0	21.8	13.2
	85歳以上	194	8.2	22.7	8.8	14.4	11.3	12.4	41.2	19.6	20.1	9.3	2.1	6.2	7.7	18.6	7.2	17.5	2.1	17.0	15.5
性別	男性	1,328	8.3	18.2	13.9	13.9	12.0	10.8	27.3	14.3	11.5	4.9	5.8	6.0	6.8	16.9	7.5	21.9	0.8	35.9	7.9
	女性	1,298	11.0	25.5	9.5	11.1	17.4	20.6	36.1	15.6	15.9	5.4	7.4	6.0	5.9	18.0	8.8	25.7	1.2	23.0	9.2
居住地	木更津西	251	10.8	27.1	12.4	13.1	12.4	12.7	28.3	13.5	10.4	5.2	9.2	5.2	5.6	16.3	6.4	23.9	2.8	30.7	10.0
	木更津東	314	10.8	20.1	12.1	11.5	14.6	17.2	30.6	12.7	14.0	3.2	8.3	6.4	6.4	14.3	8.3	22.6	0.6	32.5	9.6
	波岡	317	10.7	22.7	11.0	16.7	14.5	16.1	35.3	15.1	16.1	6.0	8.5	7.3	6.6	18.3	10.7	29.3	0.6	26.8	7.6
	清川	336	7.1	17.3	10.4	9.8	12.5	14.6	28.3	12.5	11.3	3.3	6.0	6.0	6.0	17.9	4.8	21.4	1.5	30.1	9.2
	岩根	290	6.9	19.3	10.7	9.7	11.7	18.3	32.8	18.3	12.1	4.5	5.5	3.4	6.6	18.6	7.2	23.1	0.7	30.7	6.2
	鎌足	306	10.8	23.5	14.4	14.1	14.7	17.0	35.0	17.6	17.3	7.5	5.2	6.9	9.5	16.7	10.1	22.5	1.3	25.5	9.2
	金田	269	6.3	14.1	8.6	11.2	11.9	13.4	27.9	12.3	8.2	4.1	5.2	6.3	5.2	19.0	5.6	20.4	0.4	32.0	13.0
	中郷	269	10.4	22.7	11.5	13.0	20.4	13.8	30.1	13.4	16.7	5.9	4.5	7.1	4.8	17.5	10.8	26.8	0.7	30.1	7.1
	富来田	313	12.1	28.1	13.1	12.1	18.8	15.7	33.5	17.6	15.0	6.1	5.8	5.1	6.1	17.9	9.3	24.0	0.6	28.1	7.7
家族構成	ひとり暮らし	323	11.5	24.5	11.8	15.5	20.4	22.0	26.6	13.9	11.8	5.0	11.1	7.1	6.2	14.6	7.1	30.3	0.6	21.4	10.2
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	10.4	24.2	12.6	12.7	14.7	15.4	34.5	15.6	15.5	4.9	7.4	6.1	6.8	19.1	9.6	26.4	0.9	28.1	9.3
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	3.4	10.9	8.8	5.4	5.4	10.2	19.0	9.5	10.2	2.7	4.8	4.8	5.4	14.3	4.1	16.3	1.4	49.0	6.1
	息子・娘との2世帯	529	7.9	17.4	8.5	11.3	10.0	14.9	32.1	15.9	14.0	5.3	4.3	5.5	6.0	16.6	7.2	16.1	0.8	32.9	7.9
	その他	542	10.3	22.1	13.5	12.7	18.5	14.4	30.4	14.4	11.6	5.7	4.6	5.5	6.3	17.7	8.3	24.5	1.7	29.0	7.4

※居住地「市外」は回答者数が少ないため省略

問22. あなたは日用品の買い物に不安や不便を感じていますか。(ひとつだけ○)

「感じている」が15.5 %、「感じていない」が77.1 %となっています。

図表 2-59 日用品の買い物における不安や不便の有無 (n= 2,682)



年齢別でみると、“75 歳～79 歳” “80 歳～84 歳” “85 歳以上” では「感じている」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性” では「感じている」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“木更津西” “波岡” “鎌足” “中郷” “富来田” では「感じている」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“ひとり暮らし” “息子・娘との2世帯” では「感じている」が全体より高くなっています。

図表 2-60 年齢、性、居住地域、家族構成別の日用品の買い物における不安や不便の有無

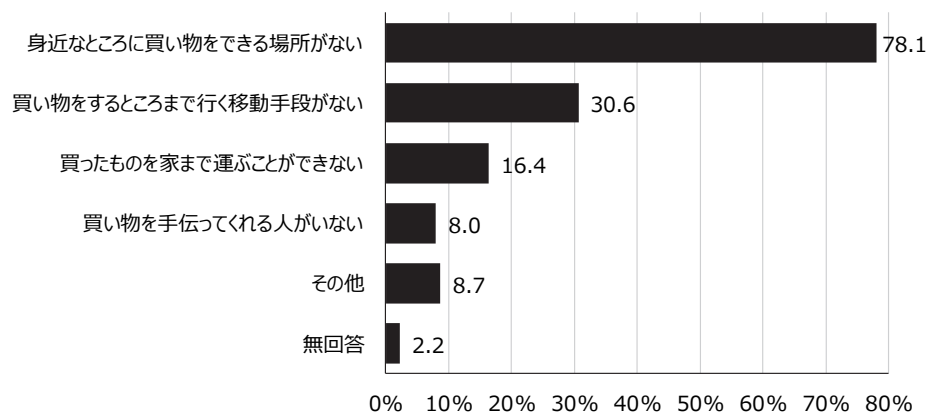
		合 計	感 じ て い る	感 じ て い な い	無 回 答
全体		2,682	15.5	77.1	7.4
年 齢	65歳～69歳	672	9.4	86.2	4.5
	70歳～74歳	760	10.9	83.2	5.9
	75歳～79歳	656	18.1	74.4	7.5
	80歳～84歳	380	24.5	65.8	9.7
	85歳以上	194	27.8	55.7	16.5
性 別	男性	1,328	11.7	81.3	7.0
	女性	1,298	19.3	73.4	7.2
居 住 地 域	木更津西	251	20.3	72.9	6.8
	木更津東	314	8.9	84.4	6.7
	波岡	317	18.3	76.7	5.0
	清川	336	7.4	84.8	7.7
	岩根	290	12.1	80.0	7.9
	鎌足	306	16.7	76.1	7.2
	金田	269	9.7	81.0	9.3
	中郷	269	17.1	75.5	7.4
	富来田	313	29.4	62.6	8.0
	ひとり暮らし	323	20.4	72.1	7.4
家 族 構 成	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	14.6	77.4	8.0
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	11.6	78.9	9.5
	息子・娘との2世帯	529	16.3	78.3	5.5
	その他	542	14.2	79.5	6.3

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問22-1. 問22で「感じている」に○をつけた方にうかがいます。どのようなことに不安や不便を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「身近なところに買い物をできる場所がない」が78.1%と最も多く、次いで「買い物をするとところまで行く移動手段がない」が30.6%、「買ったものを家まで運ぶことができない」が16.4%となっています。

図表 2-61 日用品の買い物における不安や不便の内容(n= 415)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“80歳～84歳”“85歳以上”では「身近なところに買い物をできる場所がない」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「身近なところに買い物をできる場所がない」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“鎌足”“中郷”“富来田”では「身近なところに買い物をできる場所がない」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“息子・娘との2世帯”では「身近なところに買い物をできる場所がない」が全体より高くなっています。

図表 2-62 年齢、性、居住地域、家族構成別の日用品の買い物における不安や不便の内容

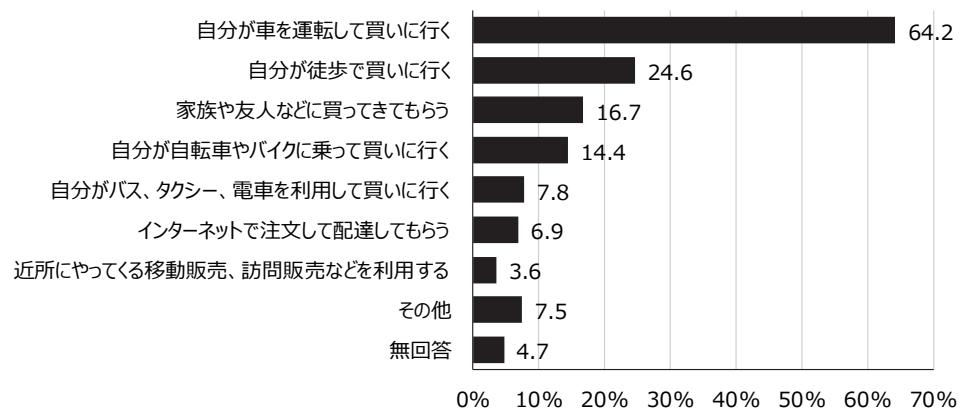
		合 計	で 身 近 な と こ ろ に 買 い 物 を	行 く 移 動 手 段 が な い	運 ぶ こ と が で き な い	買 つ た も の を 家 ま で	く れ る 人 が い な い	買 い 物 を 手 伝 つ て	そ の 他	無 回 答
全体			415	78.1	30.6	16.4	8.0	8.7	2.2	(%)
年 齢	65歳～69歳	63	79.4	20.6	14.3	6.3	17.5	0.0		
	70歳～74歳	83	77.1	30.1	16.9	10.8	8.4	1.2		
	75歳～79歳	119	73.9	28.6	15.1	7.6	10.9	3.4		
	80歳～84歳	93	80.6	36.6	14.0	4.3	3.2	3.2		
	85歳以上	54	81.5	38.9	25.9	13.0	3.7	1.9		
性 別	男性	156	78.2	25.6	10.9	10.3	10.3	1.9		
	女性	251	77.7	34.3	19.9	6.4	8.0	2.0		
居 住 地 域	木更津西	51	74.5	29.4	23.5	7.8	9.8	2.0		
	木更津東	28	46.4	35.7	25.0	10.7	21.4	7.1		
	波岡	58	70.7	20.7	19.0	3.4	19.0	1.7		
	清川	25	64.0	20.0	24.0	20.0	4.0	4.0		
	岩根	35	74.3	51.4	17.1	8.6	2.9	2.9		
	鎌足	51	90.2	29.4	11.8	3.9	2.0	3.9		
	金田	26	50.0	46.2	15.4	7.7	15.4	3.8		
	中郷	46	93.5	37.0	10.9	8.7	6.5	0.0		
	富来田	92	92.4	23.9	10.9	7.6	4.3	0.0		
家 族 構 成	ひとり暮らし	66	66.7	31.8	21.2	12.1	10.6	1.5		
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	160	78.8	28.1	13.8	6.9	10.6	1.9		
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	17	76.5	11.8	5.9	0.0	11.8	0.0		
	息子・娘との2世帯	86	81.4	34.9	16.3	3.5	4.7	1.2		
	その他	77	81.8	35.1	20.8	13.0	7.8	5.2		

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問23. あなたは生活に必要な買い物をする際、どのような方法で行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

「自分が車を運転して買いに行く」が64.2%と最も多く、次いで「自分が徒歩で買いに行く」が24.6%、「家族や友人などに買ってきてもらう」が16.7%となっています。

図表 2-63 必要な買い物をする際の手段 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”“85歳以上”では「自分が車を運転して買いに行く」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「自分が車を運転して買いに行く」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“鎌足”“金田”“中郷”“富来田”では「自分が車を運転して買いに行く」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”では「自分が車を運転して買いに行く」が全体より高くなっています。

図表 2-64 年齢、性、居住地域、家族構成別の必要な買い物をする際の手段

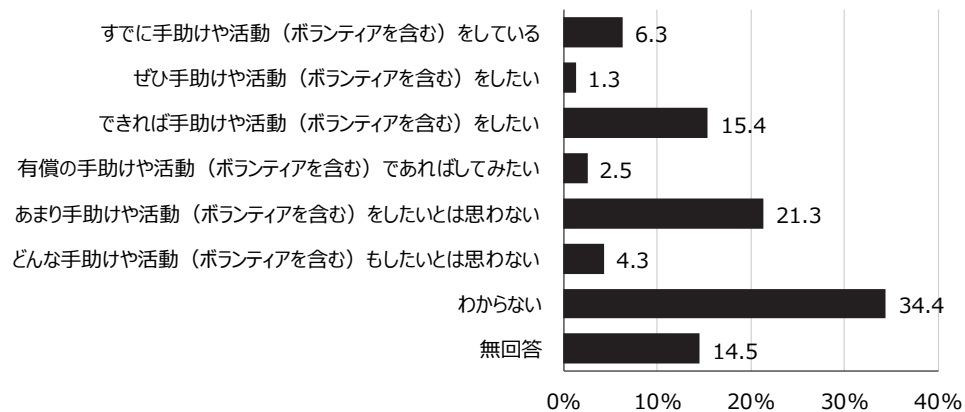
		合 計	自 分 が 徒 歩 で 買 い に 行 く	乗 っ て 買 い に 行 く	自 分 が 自 転 車 や バ イ ク に	買 い に 行 く	自 分 が 車 を 運 転 し て	電 車 を 利 用 し て 買 い に 行 く	自 分 が バ ス 、 タ ク シ ー 、	買 っ て き て も う ら う	家 族 や 友 人 な ど に	訪 問 販 売 な ど を 利 用 す る	近 所 に や つ て く る 移 動 販 売 、	配 達 し て も う ら う	イ ン タ ー ネ ッ ト で 注 文 し て	そ の 他	無 回 答
全体		2,682	24.6	14.4	64.2	7.8	16.7	3.6	6.9	7.5	4.7	(%)					
年 齢	65歳～69歳	672	22.8	11.5	84.5	5.5	10.9	2.8	11.2	4.6	1.5						
	70歳～74歳	760	25.4	14.3	71.6	6.8	16.4	2.6	7.9	8.0	3.3						
	75歳～79歳	656	24.1	17.1	58.8	8.5	15.5	3.2	4.7	8.7	5.6						
	80歳～84歳	380	27.9	16.1	41.3	12.4	21.3	5.0	3.4	8.4	8.2						
	85歳以上	194	23.2	12.9	30.9	8.2	33.5	8.8	3.1	9.8	9.3						
性 別	男性	1,328	22.0	13.9	79.1	4.4	13.3	1.7	9.1	2.2	4.6						
	女性	1,298	27.5	15.2	49.2	11.1	20.4	5.7	4.8	13.0	4.4						
居 住 地 域	木更津西	251	38.2	25.5	53.8	11.2	16.7	4.0	8.0	9.2	4.0						
	木更津東	314	41.1	13.4	63.7	9.9	15.9	2.5	9.2	8.6	1.3						
	波岡	317	37.9	10.7	63.4	17.0	15.8	2.5	8.5	6.3	3.8						
	清川	336	39.6	14.3	59.8	8.6	15.8	1.8	7.4	8.9	5.1						
	岩根	290	26.2	26.9	61.0	6.9	16.6	1.4	7.2	5.2	4.5						
	鎌足	306	9.5	4.9	69.6	4.2	18.0	6.9	5.6	8.5	5.9						
	金田	269	12.6	16.0	68.4	1.5	18.6	1.1	6.3	4.1	7.4						
	中郷	269	4.5	12.6	73.6	4.8	16.0	4.1	5.6	6.7	3.0						
	富来田	313	8.6	8.0	66.1	5.1	17.9	8.0	4.5	8.9	7.0						
家 族 構 成	ひとり暮らし	323	34.4	18.3	53.6	13.0	10.8	5.9	4.0	6.2	4.3						
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	26.3	14.1	70.0	7.8	12.5	3.4	7.5	7.1	5.6						
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	19.0	7.5	78.9	0.7	12.9	0.0	12.9	6.1	3.4						
	息子・娘との2世帯	529	22.7	13.4	56.3	7.0	30.1	3.4	6.4	7.2	4.5						
	その他	542	19.4	15.3	63.8	7.9	17.5	3.7	6.6	9.6	2.4						

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問24. あなたはお住まいの地域で、何か他の人の手助けや活動（ボランティアを含む）をしたいと思いますか。（ひとつだけ○）

「わからない」が34.4 %と最も多く、次いで「あまり手助けや活動（ボランティアを含む）をしたいとは思わない」が21.3 %、「できれば手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい」が15.4 %となっています。

図表 2-65 他の人の手助けや活動への参加意向 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「わからない」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「わからない」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“木更津西”“木更津東”“岩根”“金田”“富来田”では「わからない」が全体より高くなっています。

図表 2-66 年齢、性、居住地域別の他の人の手助けや活動への参加意向

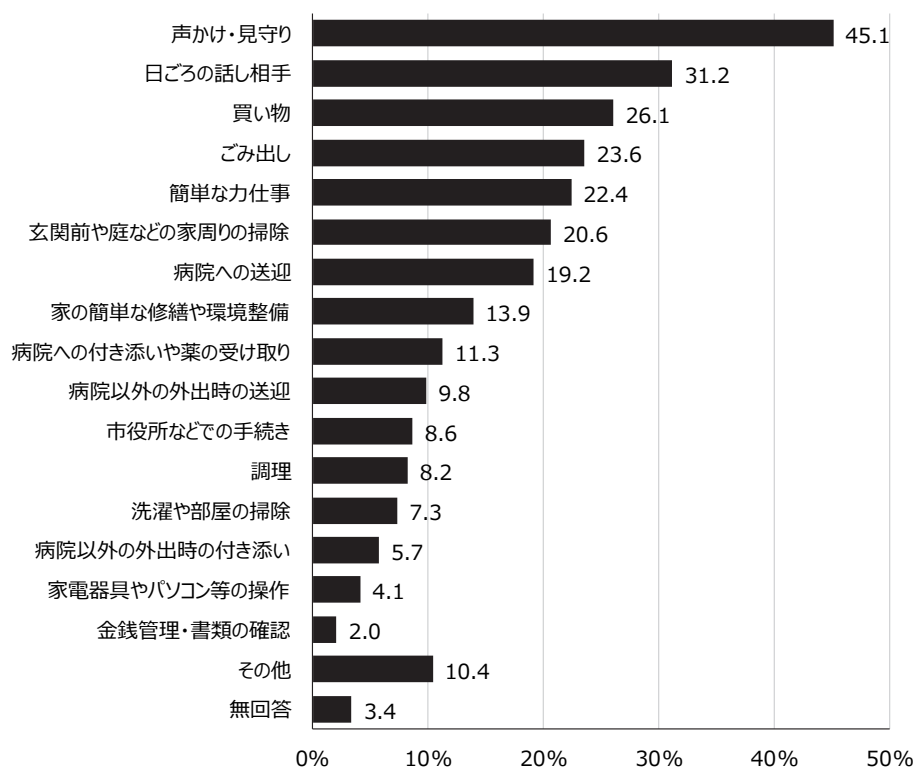
		合計	活動をし手助けする	活動を手助けしたい	活動をし手助けしたい	できれば手助けしたい	有償の手助けや活動で	したいとは思わない	したいとは思わない	わからない	無回答
全体		2,682	6.3	1.3	15.4	2.5	21.3	4.3	34.4	14.5	(%)
年齢	65歳～69歳	672	6.3	0.9	18.6	4.0	25.3	2.8	36.3	5.8	
	70歳～74歳	760	7.4	1.1	19.2	1.8	22.4	3.3	35.3	9.6	
	75歳～79歳	656	6.1	1.7	13.9	3.5	19.2	4.4	33.4	17.8	
	80歳～84歳	380	5.5	2.1	10.5	0.8	17.6	5.5	33.7	24.2	
	85歳以上	194	5.2	0.5	4.1	0.0	19.6	11.3	29.4	29.9	
性別	男性	1,328	6.4	1.3	15.2	2.9	23.0	4.2	34.7	12.2	
	女性	1,298	6.3	1.3	15.8	1.9	19.9	4.6	33.8	16.3	
居住地域	木更津西	251	3.6	0.8	13.1	2.8	23.9	5.6	36.7	13.5	
	木更津東	314	7.3	1.9	15.3	2.2	20.7	5.1	36.6	10.8	
	波岡	317	6.6	0.6	20.8	2.8	25.6	3.2	29.7	10.7	
	清川	336	8.3	2.1	14.3	2.4	22.9	2.4	33.0	14.6	
	岩根	290	4.5	2.4	13.1	3.1	19.0	4.5	40.0	13.4	
	鎌足	306	4.6	0.3	18.0	3.9	21.2	5.9	32.7	13.4	
	金田	269	5.2	1.1	16.0	3.0	15.2	4.1	34.6	20.8	
	中郷	269	7.4	1.9	15.6	0.4	23.4	4.8	29.4	17.1	
	富来田	313	8.6	0.3	11.8	1.9	20.1	4.2	37.1	16.0	

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問24-1. 問24で「すでに手助けや活動（ボランティアを含む）をしている」「ぜひ手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい」「できれば手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい」「有償の手助けや活動（ボランティアを含む）であればしてみたい」に○をつけた方にうかがいます。それはどのような手助けや活動ですか。（あてはまるものすべてに○）

「声かけ・見守り」が45.1 %と最も多く、次いで「日ごろの話し相手」が31.2 %、「買い物」が26.1 %となっています。

図表 2-67 参加意向のある他の人の手助けや活動の内容 (n= 683)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「声かけ・見守り」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「声かけ・見守り」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“木更津西”“波岡”“清川”“岩根”では「声かけ・見守り」が全体より高くなっています。

図表 2-68 年齢、性、居住地域別の参加意向のある他の人の手助けや活動の内容

		合計	ごみ出し	買い物	調理	洗濯や部屋の掃除	玄関前や庭などの掃除	簡単な力仕事	病院への送り	病院への受け取り	外出時の送り	病院以外の送り	声かけ・見守り	日ごろの話し相手	書類の確認	金銭管理・	手続きなどでの	パソコン等の操作	家電器具や環境整備	その他	無回答
全体		683	23.6	26.1	8.2	7.3	20.6	22.4	19.2	11.3	9.8	5.7	45.1	31.2	2.0	8.6	4.1	13.9	10.4	3.4	(%)
年齢	65歳～69歳	200	23.0	34.5	12.0	11.5	22.0	25.5	23.5	18.5	13.5	9.5	49.5	30.5	4.5	11.0	5.5	17.5	10.0	1.0	
	70歳～74歳	224	23.2	20.1	8.9	6.7	18.3	19.2	16.1	7.1	9.8	4.0	46.9	33.5	1.3	9.4	4.0	11.2	9.8	3.6	
	75歳～79歳	165	20.6	30.3	4.8	6.1	21.8	24.2	24.2	13.3	7.3	4.8	41.8	29.7	0.0	6.7	3.0	15.2	9.7	3.6	
	80歳～84歳	72	33.3	16.7	4.2	2.8	22.2	22.2	6.9	2.8	6.9	4.2	40.3	33.3	2.8	5.6	4.2	11.1	16.7	5.6	
	85歳以上	19	15.8	5.3	5.3	0.0	15.8	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	26.3	15.8	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	15.8	
性別	男性	343	21.9	21.6	2.6	2.9	22.2	38.8	22.7	11.4	12.2	5.5	41.1	21.9	2.6	11.1	7.0	24.8	10.8	3.2	
	女性	329	24.3	30.7	13.7	11.9	18.5	5.5	15.2	11.2	7.3	5.8	49.2	41.3	1.5	6.1	0.6	2.4	10.0	3.6	
居住地域	木更津西	51	15.7	23.5	9.8	5.9	17.6	25.5	17.6	9.8	5.9	7.8	58.8	29.4	0.0	9.8	0.0	11.8	2.0	5.9	
	木更津東	84	20.2	13.1	8.3	9.5	19.0	16.7	21.4	11.9	7.1	1.2	41.7	28.6	1.2	7.1	2.4	10.7	10.7	7.1	
	波岡	98	27.6	32.7	9.2	7.1	26.5	22.4	17.3	11.2	15.3	10.2	50.0	35.7	3.1	12.2	7.1	17.3	12.2	4.1	
	清川	91	25.3	25.3	6.6	5.5	16.5	18.7	15.4	11.0	12.1	6.6	46.2	35.2	3.3	6.6	3.3	4.4	11.0	2.2	
	岩根	67	20.9	31.3	9.0	7.5	22.4	13.4	25.4	11.9	11.9	6.0	49.3	28.4	3.0	4.5	6.0	9.0	9.0	0.0	
	鎌足	82	24.4	31.7	17.1	8.5	29.3	29.3	17.1	13.4	13.4	7.3	43.9	30.5	2.4	9.8	2.4	23.2	8.5	3.7	
	金田	68	23.5	22.1	1.5	4.4	11.8	22.1	8.8	5.9	1.5	0.0	38.2	25.0	0.0	10.3	5.9	14.7	11.8	2.9	
	中郷	68	22.1	22.1	10.3	2.9	20.6	29.4	23.5	8.8	8.8	7.4	39.7	30.9	0.0	5.9	4.4	20.6	11.8	4.4	
	富来田	71	26.8	31.0	1.4	14.1	18.3	25.4	26.8	16.9	8.5	4.2	40.8	33.8	4.2	11.3	4.2	14.1	14.1	0.0	
※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略																					

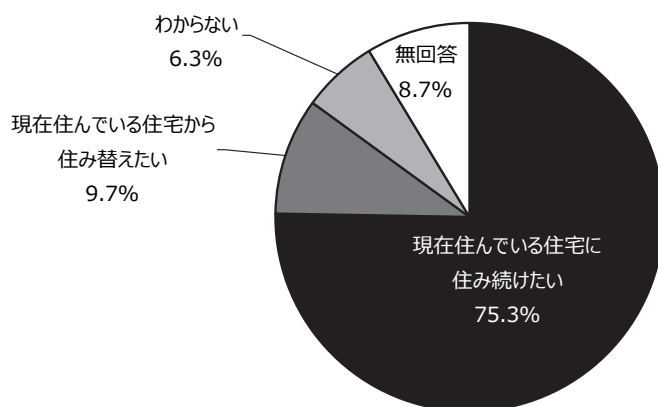
※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

5. 住まいについて

問25. あなたは今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか。(ひとつだけ○)

「現在住んでいる住宅に住み続けたい」が75.3%と最も多く、次いで「現在住んでいる住宅から住み替えたい」が9.7%、「わからない」が6.3%となっています。

図表 2-69 住み替えの意向 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”“80歳～84歳”では「現在住んでいる住宅から住み替えたい」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「現在住んでいる住宅から住み替えたい」が全体より高くなっています。

居住地別でみると、“木更津西”“岩根”“金田”では「現在住んでいる住宅から住み替えたい」が全体より高くなっています。

住居形態“持家（集合住宅）”“公営賃貸住宅”“民間賃貸住宅（一戸建て）”“民間賃貸住宅（集合住宅）”“借家”では「現在住んでいる住宅から住み替えたい」が全体より高くなっています。

図表 2-70 年齢、性、居住地域、居住形態別の住み替えの意向

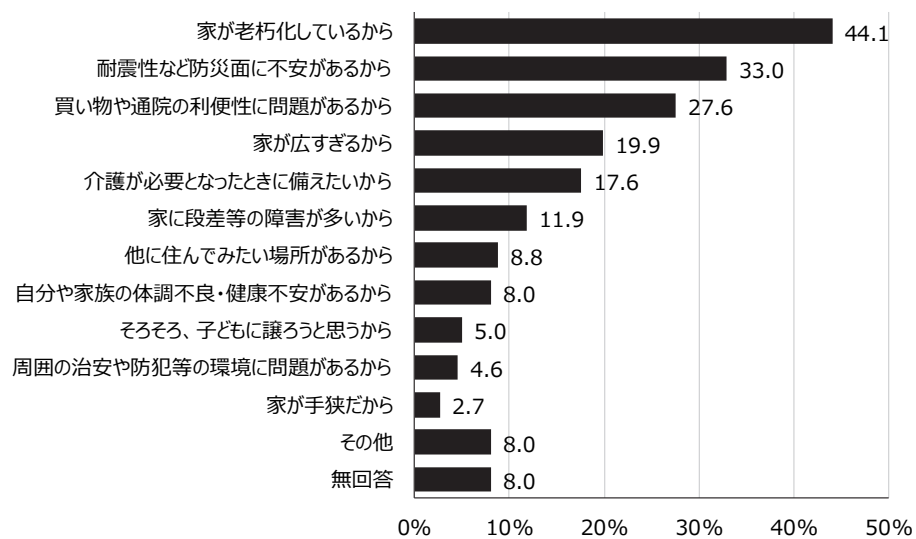
		合 計	住 宅 に 住 み 続 け る た い	現 在 住 み ん で い る 住 宅	現 在 住 み ん で い る 住 宅	わ か ら な い	無 回 答
全体		2,682	75.3	9.7	6.3	8.7	(%)
年 齢	65歳～69歳	672	76.5	10.3	8.8	4.5	
	70歳～74歳	760	75.9	10.3	6.4	7.4	
	75歳～79歳	656	73.9	8.8	6.7	10.5	
	80歳～84歳	380	75.3	10.8	2.6	11.3	
	85歳以上	194	77.3	5.7	3.1	13.9	
性 別	男性	1,328	76.7	9.2	6.1	8.1	
	女性	1,298	74.4	9.9	6.8	8.9	
居 住 地 域	木更津西	251	67.3	14.7	7.6	10.4	
	木更津東	314	76.4	8.6	8.6	6.4	
	波岡	317	74.8	6.3	11.4	7.6	
	清川	336	73.8	9.5	5.1	11.6	
	岩根	290	74.5	11.4	6.2	7.9	
	鎌足	306	77.8	8.5	4.2	9.5	
	金田	269	74.0	12.6	4.1	9.3	
	中郷	269	82.2	8.6	4.5	4.8	
	富米田	313	77.6	8.6	4.8	8.9	
住 居 形 態	持家（一戸建て）	2,449	78.2	8.8	5.0	8.1	
	持家（集合住宅）	33	60.6	12.1	9.1	18.2	
	公営賃貸住宅	13	61.5	15.4	15.4	7.7	
	民間賃貸住宅（一戸建て）	37	32.4	43.2	10.8	13.5	
	民間賃貸住宅（集合住宅）	50	36.0	24.0	26.0	14.0	
	借家	58	44.8	13.8	27.6	13.8	
	その他	22	45.5	9.1	36.4	9.1	

※居住地域「市外」は回答者数が少ないため省略

問25-1. 問25で「現在住んでいる住宅から住み替えたい」に○をつけた方にうかがいます。あなたが住み替えたいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「家が老朽化しているから」が44.1%と最も多く、次いで「耐震性など防災面に不安があるから」が33.0%、「買い物や通院の利便性に問題があるから」が27.6%となっています。

図表 2-71 住み替えたいと思う理由 (n= 261)



年齢別でみると、“75歳～79歳”“80歳～84歳”では「家が老朽化しているから」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「家が老朽化しているから」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“息子・娘との2世帯”では「家が老朽化しているから」が全体より高くなっています。

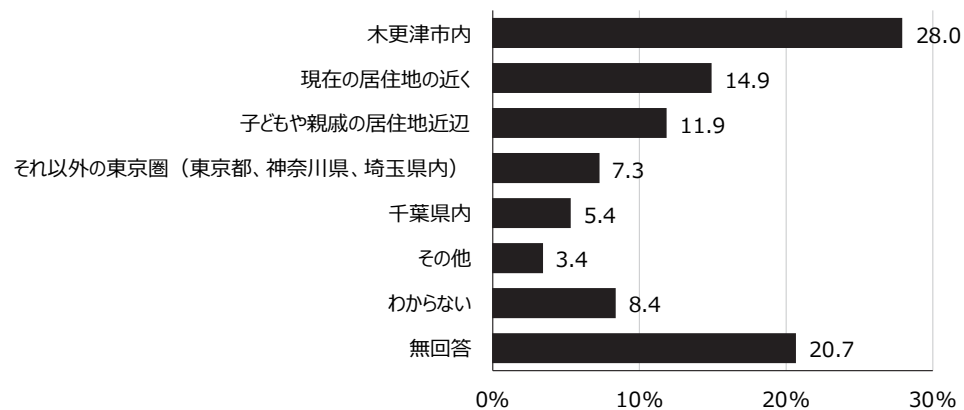
図表 2-72 年齢、性、家族構成別の住み替えたいと思う理由

		合 計	家 が 老 朽 化 し て い る か ら	家 が 手 狭 だ か ら	家 が 広 す ぎ る か ら	障 害 が 多 い か ら	家 に 段 差 等 の あ る か ら	介 護 が 必 要 と な つ た と き に 備 え た い か ら	環 境 に 問 題 が あ る か ら	周 囲 の 治 安 や 防 犯 等 の あ る か ら	健 康 不 安 が あ る か ら	自 分 や 家 族 の 体 調 不 良 ・ 問 題 が あ る か ら	買 い 物 や 通 院 の 利 便 性 に 不 安 が あ る か ら	耐 震 性 な ど 防 災 面 に 不 安 が あ る か ら	譲 ろ う と 思 う か ら	そ ろ そ ろ 、 子 ど も に 場 所 が あ る か ら	他 に 住 ん で み た い 場 所 が あ る か ら	そ の 他	無 回 答
全体		261	44.1	2.7	19.9	11.9	17.6	4.6	8.0	27.6	33.0	5.0	8.8	8.0	8.0	(%)			
年 齢	65歳～69歳	69	43.5	4.3	15.9	10.1	20.3	5.8	7.2	31.9	40.6	4.3	15.9	13.0	1.4				
	70歳～74歳	78	41.0	2.6	28.2	11.5	17.9	3.8	9.0	26.9	32.1	2.6	7.7	11.5	3.8				
	75歳～79歳	58	44.8	1.7	22.4	12.1	8.6	5.2	6.9	27.6	29.3	5.2	8.6	3.4	10.3				
	80歳～84歳	41	48.8	2.4	12.2	17.1	24.4	4.9	7.3	22.0	34.1	9.8	2.4	2.4	17.1				
	85歳以上	11	36.4	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	36.4				
性 別	男性	122	47.5	3.3	17.2	4.9	13.9	5.7	8.2	23.8	34.4	8.2	12.3	10.7	4.9				
	女性	129	39.5	2.3	24.0	18.6	20.9	3.9	7.8	31.0	31.8	2.3	5.4	5.4	10.9				
家 族 構 成	ひとり暮らし	40	37.5	0.0	25.0	7.5	27.5	2.5	0.0	10.0	20.0	5.0	10.0	15.0	7.5				
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	101	44.6	3.0	24.8	15.8	20.8	7.9	14.9	35.6	29.7	5.9	8.9	5.0	3.0				
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	12	33.3	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	50.0	33.3	8.3	0.0	8.3	8.3				
	息子・娘との2世帯	41	46.3	2.4	17.1	17.1	19.5	0.0	4.9	19.5	36.6	4.9	7.3	2.4	14.6				
	その他	62	50.0	4.8	9.7	6.5	8.1	3.2	6.5	29.0	45.2	3.2	11.3	12.9	8.1				

問25-2. 引き続き、問25で「現在住んでいる住宅から住み替えたい」に○をつけた方に
うかがいます。どのような場所に住み替えたいですか。(ひとつだけ○)

「木更津市内」が28.0 %と最も多く、次いで「現在の居住地の近く」が14.9 %、「子どもや
親戚の居住地近辺」が11.9 %となっています。

図表 2-73 住み替えたい場所 (n= 261)



家族構成別でみると、“ひとり暮らし”では「木更津市内」が全体より高くなっています。

図表 2-74 家族構成別の住み替えたい場所

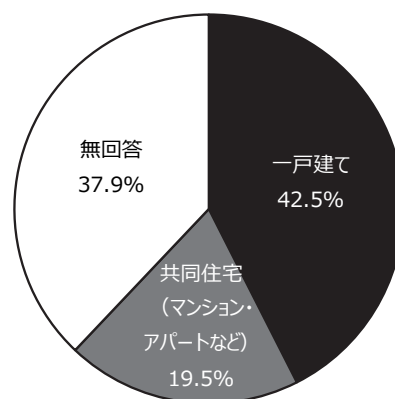
	合 計	現 在 の 居 住 地 の 近 く	子 ど も や 親 戚 の 居 住 地 近 辺	木 更 津 市 内	千 葉 県 内	神 奈 川 県 、 そ れ 以 外 の 東 京 圏 (東 京 都 、 埼 玉 県 内)	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全体	261	14.9	11.9	28.0	5.4	7.3	3.4	8.4	20.7	(%)
家 族 構 成	ひとり暮らし	40	15.0	12.5	35.0	2.5	10.0	5.0	2.5	17.5
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	101	14.9	14.9	24.8	3.0	9.9	2.0	11.9	18.8
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	12	0.0	25.0	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	16.7
	息子・娘との2世帯	41	12.2	7.3	19.5	9.8	0.0	7.3	12.2	31.7
	その他	62	21.0	8.1	32.3	3.2	6.5	3.2	6.5	19.4

問25-3. 引き続き、問25で「現在住んでいる住宅から住み替えたい」に○をつけた方に
うかがいます。住み替えたいと思うのは、どのような住宅ですか。(あてはまるもの
のすべてに○)

① 一戸建て、または共同住宅のどちらか

「一戸建て」が42.5%、「共同住宅（マンション・アパートなど）」が19.5%となっていま
す。

図表 2-75 住み替えたい住宅 (n= 261)



家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”“息子・娘との2世帯”では
「一戸建て」が全体より高くなっています。

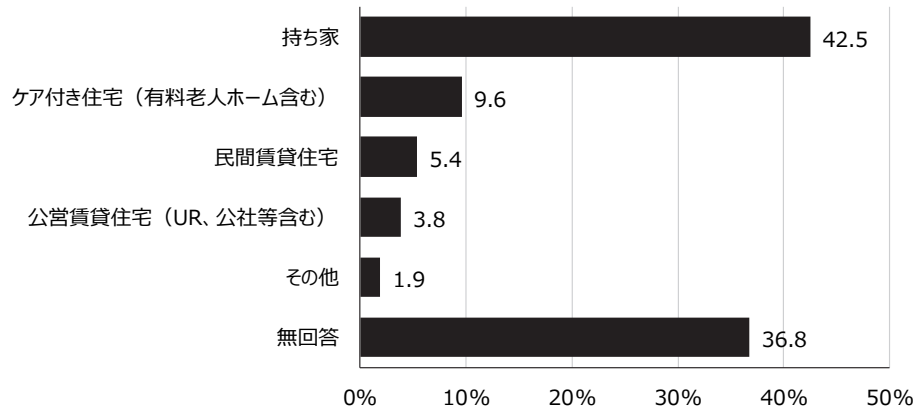
図表 2-76 家族構成別の住み替えたい住宅

		合 計	一 戸 建 て	共 同 住 宅 (マ ン シ ョ ン ・ ア パ ー ト な ど)	無 回 答	
全体		261	42.5	19.5	37.9	(%)
家 族 構 成	ひとり暮らし	40	32.5	17.5	50.0	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	101	38.6	28.7	32.7	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	12	66.7	25.0	8.3	
	息子・娘との2世帯	41	51.2	7.3	41.5	
	その他	62	46.8	14.5	38.7	

② 住宅の形態

「持ち家」が42.5 %と最も多く、次いで「ケア付き住宅（有料老人ホーム含む）」が9.6 %、「民間賃貸住宅」が5.4 %となっています。

図表 2-77 住み替えたい住宅の形態 (n= 261)



家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)” “息子・娘との2世帯” では「持ち家」が全体より高くなっています。

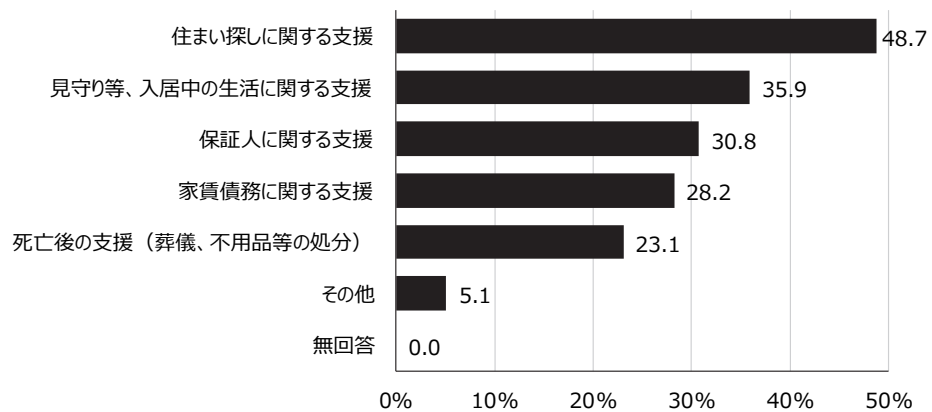
図表 2-78 家族構成別の住み替えたい住宅の形態

		合計	持ち家	民間賃貸住宅	ケア付き住宅（有料老人ホーム含む）	公営賃貸住宅（UR、公社等含む）	その他	無回答	
全体		261	42.5	5.4	9.6	3.8	1.9	36.8	(%)
家族構成	ひとり暮らし	40	35.0	7.5	25.0	5.0	5.0	22.5	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	101	40.6	5.9	10.9	4.0	1.0	37.6	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	12	66.7	0.0	8.3	0.0	0.0	25.0	
	息子・娘との2世帯	41	48.8	0.0	4.9	2.4	0.0	43.9	
	その他	62	43.5	6.5	1.6	4.8	3.2	40.3	

問25-3-1. 問25-3(2)で「民間賃貸住宅」「ケア付き住宅（有料老人ホーム含む）」に○をつけた方にうかがいます。民間賃貸住宅等への入居をする際に、あなたはどのような支援が必要だと感じますか。（あてはまるものすべてに○）

「住まい探しに関する支援」が48.7%と最も多く、次いで「見守り等、入居中の生活に関する支援」が35.9%、「保証人に関する支援」が30.8%となっています。

図表 2-79 民間賃貸住宅等への入居をする際に必要な支援 (n= 39)

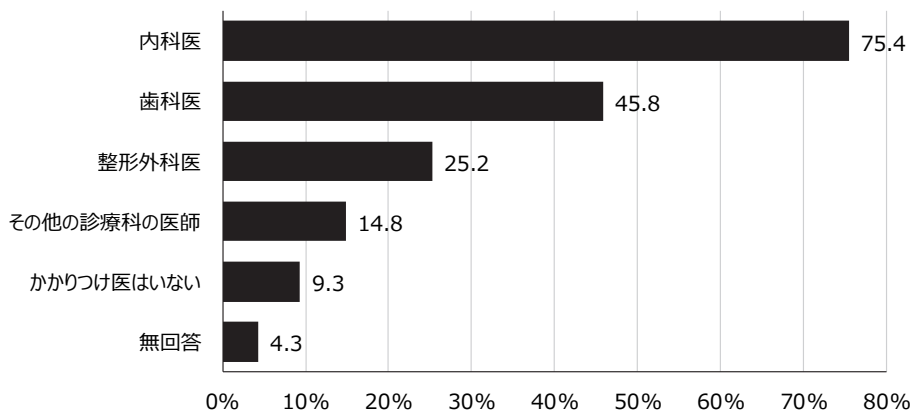


6. 医療について

問26. あなたにはかかりつけの医師がいますか。(あてはまるものすべてに○)

「内科医」が75.4%と最も多く、次いで「歯科医」が45.8%、「整形外科医」が25.2%となっています。

図表 2-80 かかりつけの医師の有無 (n= 2,682)



年齢別でみると、“70歳～74歳”“75歳～79歳”“80歳～84歳”“85歳以上”では「内科医」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「内科医」が全体より高くなっています。

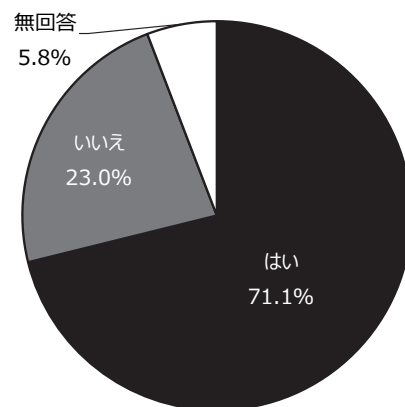
図表 2-81 年齢、性別のかかりつけの医師の有無

	合計	内科医	整形外科医	歯科医	診療科の医師	はいかないつけ医	無回答	
全体	2,682	75.4	25.2	45.8	14.8	9.3	4.3	(%)
年齢	65歳～69歳	67.7	17.9	41.8	14.9	17.1	1.5	
	70歳～74歳	76.0	75.5	23.7	50.1	15.5	9.1	2.9
	75歳～79歳	656	76.8	27.3	48.3	15.7	7.0	5.2
	80歳～84歳	380	83.4	33.9	47.9	13.7	3.4	7.6
	85歳以上	194	83.5	34.5	32.5	11.9	3.1	6.7
性別	男性	1,328	73.1	21.1	41.9	17.2	10.4	4.2
	女性	1,298	78.1	29.7	50.3	12.4	8.2	3.9

問27. 健康診査や人間ドックを毎年受診していますか。(ひとつだけ○)

「はい」が71.1%、「いいえ」が23.0%となっています。

図表 2-82 健康診査や人間ドックの毎年の受診状況 (n= 2,682)



性別でみると、“女性”では「はい」が全体より高くなっています。

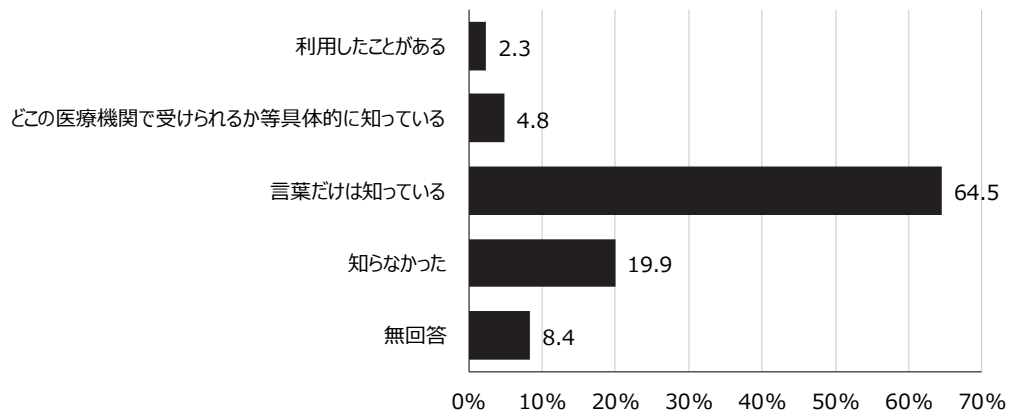
図表 2-83 性別の健康診査や人間ドックの毎年の受診状況

		合 計	は い	い い え	無 回 答	(%)
全 体		2,682	71.1	23.0	5.8	
性 別	男 性	1,328	69.7	69.7	5.6	
	女 性	1,298	72.8	72.8	5.8	

問28. あなたは訪問診療についてご存じですか。(ひとつだけ○)

「言葉だけは知っている」が64.5 %と最も多く、次いで「知らなかった」が19.9 %、「どこ
の医療機関で受けられるか等具体的に知っている」が4.8 %となっています。

図表 2-84 訪問診療の認知度 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳” “70歳～74歳” では「言葉だけは知っている」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性” では「言葉だけは知っている」が全体より高くなっています。

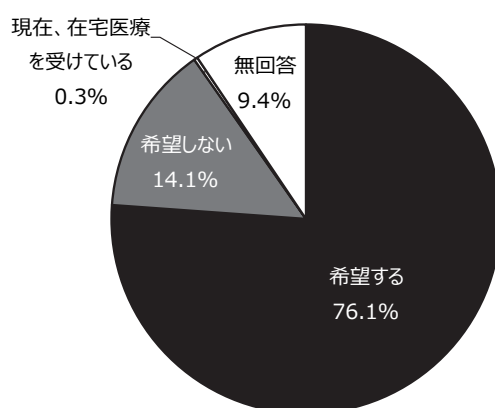
図表 2-85 年齢、性別の訪問診療の認知度

		合計	利用 した こと が ある	か ど こ の 具 体 的 医 療 機 関 に 知 関 つ て 受 け ら れ る	言 葉 だ け は 知 っ て い る	知 ら な か っ た	無 回 答
全体		2,682	2.3	4.8	64.5	19.9	8.4
年 齢	65歳～69歳	672	2.2	5.2	70.2	18.9	3.4
	70歳～74歳	760	2.0	6.8	66.6	19.2	5.4
	75歳～79歳	656	2.4	4.0	62.0	20.7	10.8
	80歳～84歳	380	3.4	2.4	60.5	20.5	13.2
	85歳以上	194	2.1	4.1	54.6	23.2	16.0
性 別	男性	1,328	1.7	4.2	62.8	23.9	7.3
	女性	1,298	3.0	5.4	66.8	15.8	9.0

問29. あなたは脳卒中の後遺症やがんなどで、長期の治療・療養が必要になった場合、訪問診療を希望しますか。(ひとつだけ○)

「希望する」が76.1%と最も多く、次いで「希望しない」が14.1%、「現在、在宅医療を受けている」が0.3%となっています。

図表 2-86 訪問診療の利用意向 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「希望する」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「希望する」が全体より高くなっています。

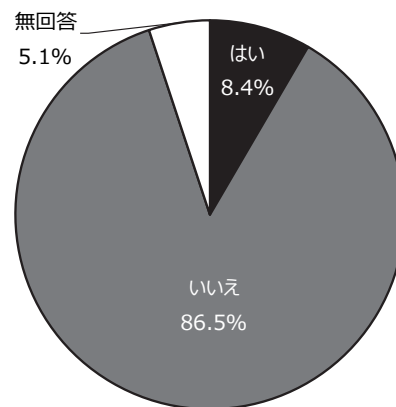
図表 2-87 年齢、性別の訪問診療の利用意向

		合 計	希 望 す る	希 望 し な い	受 現 在 、 在 宅 医 療 を	無 回 答	
全体		2,682	76.1	14.1	0.3	9.4	(%)
年 齢	65歳～69歳	672	81.1	14.3	0.1	4.5	
	70歳～74歳	760	78.2	14.7	0.1	7.0	
	75歳～79歳	656	73.8	14.2	0.8	11.3	
	80歳～84歳	380	70.0	13.7	0.3	16.1	
	85歳以上	194	73.2	12.4	0.0	14.4	
性 別	男性	1,328	77.5	13.8	0.5	8.2	
	女性	1,298	75.5	14.0	0.1	10.4	

問30. あなたは、認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(ひとつだけ○)

「はい」が8.4%、「いいえ」が86.5%となっています。

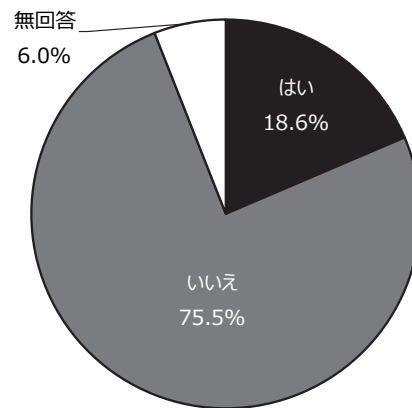
図表 2-88 自身または家族の認知症の有無 (n= 2,682)



問31. あなたは、認知症に関する相談窓口を知っていますか。(ひとつだけ○)

「はい」が18.6%、「いいえ」が75.5%となっています。

図表 2-89 認知症に関する相談窓口の認知度 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”“75歳～79歳”では「いいえ」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「いいえ」が全体より高くなっています。

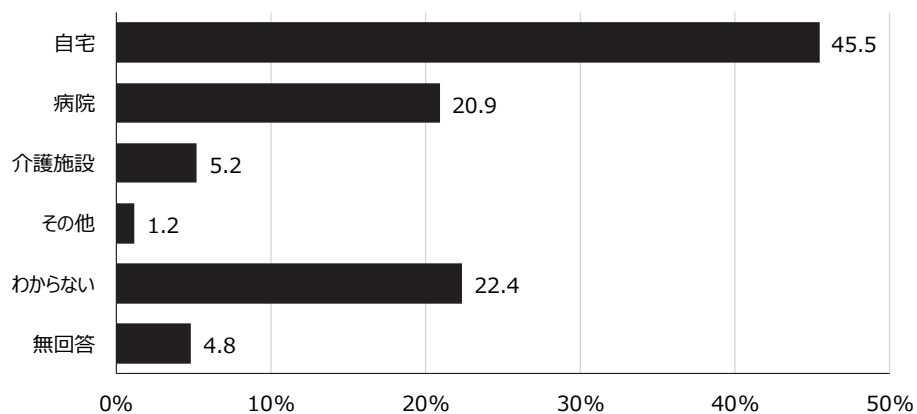
図表 2-90 年齢、性別の認知症に関する相談窓口の認知度

		合計	はい	いいえ	無回答	
全体		2,682	18.6	75.5	6.0	(%)
年齢	65歳～69歳	672	20.8	77.1	2.1	
	70歳～74歳	760	19.5	76.7	3.8	
	75歳～79歳	656	15.1	77.6	7.3	
	80歳～84歳	380	18.7	71.3	10.0	
	85歳以上	194	18.6	69.1	12.4	
性別	男性	1,328	16.0	78.2	5.9	
	女性	1,298	20.9	73.4	5.7	

問32. あなたは人生の最期を迎える場所として、どこを希望していますか。(ひとつだけ○)

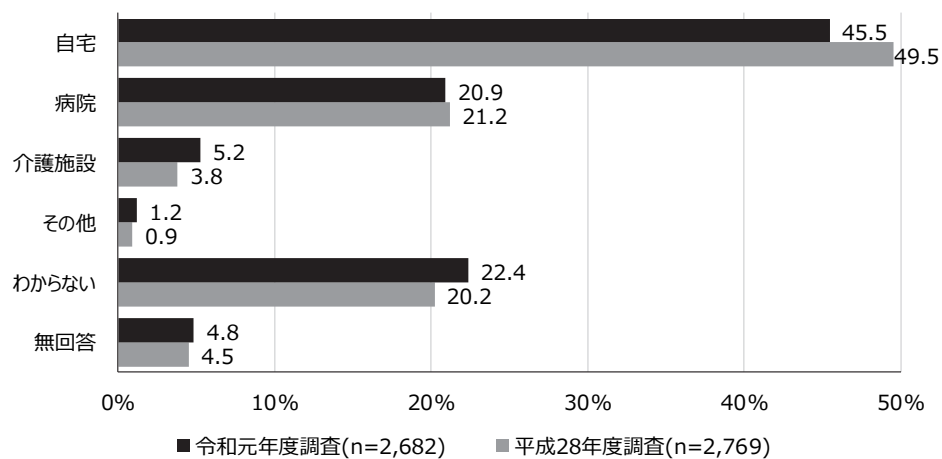
「自宅」が45.5%と最も多く、次いで「わからない」が22.4%、「病院」が20.9%となっています。

図表 2-91 人生の最期を迎える場所への意向 (n= 2,682)



平成 28 年度調査と比較してみると、「自宅」を希望する割合が減少しています。

図表 2-92 人生の最期を迎える場所への意向 (経年比較)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“75歳～79歳”“85歳以上”では「自宅」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「自宅」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”“息子・娘との2世帯”では「自宅」が全体より高くなっています。

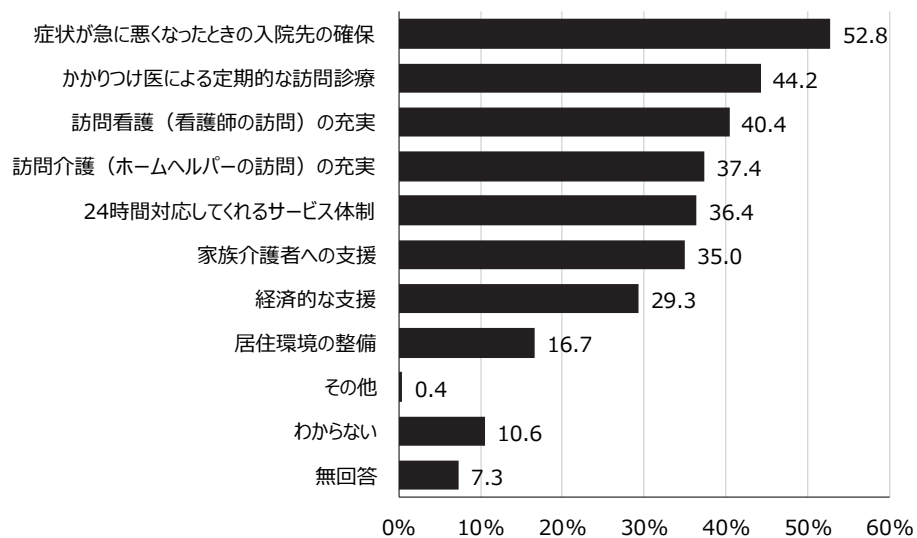
図表 2-93 年齢、性、家族構成別の人生の最期を迎える場所への意向

		合 計	病 院	自 宅	介 護 施 設	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	(%)
全体		2,682	20.9	45.5	5.2	1.2	22.4	4.8	
年 齢	65歳～69歳	672	18.3	46.7	4.9	1.5	26.8	1.8	
	70歳～74歳	760	19.5	44.1	5.4	0.8	27.0	3.3	
	75歳～79歳	656	22.3	45.9	5.8	1.7	18.4	5.9	
	80歳～84歳	380	26.1	42.6	4.7	1.1	16.8	8.7	
	85歳以上	194	20.1	52.6	5.2	0.5	13.9	7.7	
性 別	男性	1,328	16.0	54.4	3.7	1.3	20.4	4.3	
	女性	1,298	25.8	36.5	6.9	1.2	24.7	4.9	
家 族 構 成	ひとり暮らし	323	23.2	28.5	9.9	1.9	28.5	8.0	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	20.1	46.7	5.3	0.8	23.3	3.8	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	21.1	52.4	2.7	1.4	18.4	4.1	
	息子・娘との2世帯	529	20.8	51.2	5.3	0.4	18.0	4.3	
	その他	542	21.8	45.2	3.3	2.2	23.2	4.2	

問33. あなたは自宅で最期まで療養するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が52.8%と最も多く、次いで「かかりつけ医による定期的な訪問診療」が44.2%、「訪問看護（看護師の訪問）の充実」が40.4%となっています。

図表 2-94 自宅で最期まで療養するために必要なこと (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“息子・娘との2世帯”では「症状が急に悪くなったときの入院先の確保」が全体より高くなっています。

図表 2-95 年齢、性、家族構成別の自宅で最期まで療養するために必要なこと

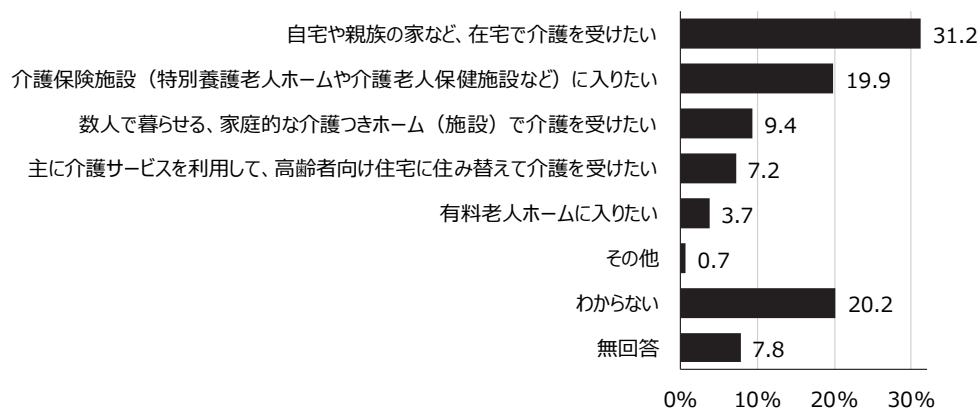
		合 計	定期的な訪問診療	かかりつけ医による訪問看護（看護師の訪問）の充実	訪問介護（ホームヘルパー）の充実	24時間対応してくれるサービス体制	家族介護者への支援	入院先の確保	症状が急に悪くなったときの	居住環境の整備	経済的な支援	その他	わからない	無回答
全体		2,682	44.2	40.4	37.4	36.4	35.0	52.8	16.7	29.3	0.4	10.6	7.3	(%)
年 齢	65歳～69歳	672	48.2	48.1	42.0	46.7	42.6	56.3	25.6	36.6	0.3	10.9	3.1	
	70歳～74歳	760	43.6	43.2	42.4	38.8	36.1	55.5	18.6	31.6	0.5	10.3	4.1	
	75歳～79歳	656	43.1	36.1	36.0	32.0	33.2	49.1	12.7	28.0	0.5	9.9	9.0	
	80歳～84歳	380	39.2	33.9	27.1	26.1	27.1	50.3	8.9	22.1	0.5	11.1	13.2	
	85歳以上	194	49.0	33.0	28.4	28.9	26.8	49.5	7.7	14.9	0.5	10.8	13.9	
性 別	男性	1,328	41.5	39.6	37.0	32.6	33.4	45.6	14.4	30.1	0.5	12.4	6.6	
	女性	1,298	47.9	41.9	38.4	40.7	36.5	60.4	19.3	29.0	0.4	8.7	7.4	
家 族 構 成	ひとり暮らし	323	36.8	37.2	38.7	33.1	15.2	52.0	12.4	27.6	0.9	13.6	10.8	
	夫婦ふたり暮らし（配偶者65歳以上）	1,095	46.0	44.1	39.9	37.6	37.2	53.8	18.2	28.8	0.3	10.6	6.2	
	夫婦ふたり暮らし（配偶者64歳以下）	147	41.5	39.5	33.3	39.5	33.3	37.4	14.3	32.0	0.7	10.2	4.8	
	息子・娘との2世帯	529	47.4	37.1	37.2	36.1	42.0	56.1	16.4	28.2	0.4	9.1	7.6	
	その他	542	43.4	39.3	34.3	36.5	36.9	53.0	17.5	33.0	0.6	10.3	6.5	

7. 介護、成年後見制度について

問34. あなたは将来、介護が必要になったときには、どこで介護を受けたいですか。既に介護を受けている方は、今後についてお答えください。（もっとも近い考えにひとつだけ○）

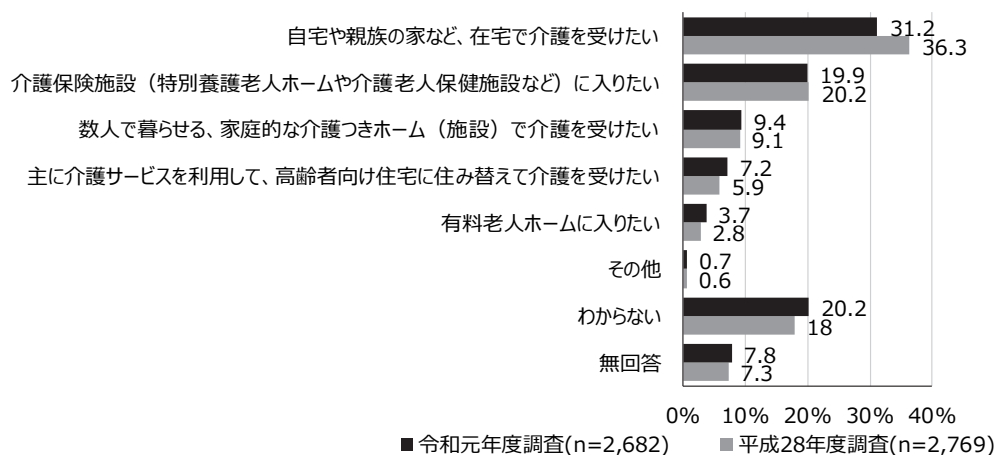
「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が31.2%と最も多く、次いで「わからない」が20.2%、「介護保険施設（特別養護老人ホームや介護老人保健施設など）に入りたい」が19.9%となっています。

図表 2-96 介護を受けたい場所 (n= 2, 682)



平成 28 年度調査と比較してみると、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」と回答している割合が減少しています。

図表 2-97 介護を受けたい場所 (経年比較)



年齢別でみると、“75歳～79歳”“85歳以上”では「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”“息子・娘との2世帯”では「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が全体より高くなっています。

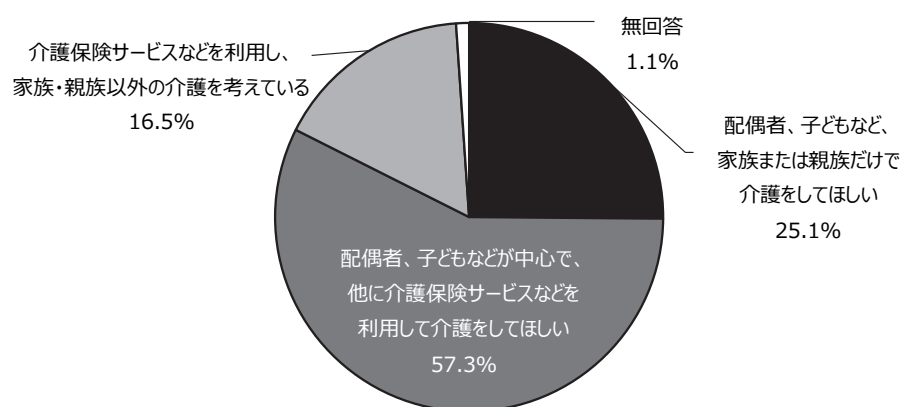
図表 2-98 年齢、性、家族構成別の介護を受けたい場所

		合計	自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	主に介護サービスに替えて介護を受けたい高齢者	ホーム(施設)で介護を受ける、家庭的な介護につき	数人で暮らし、介護老人保健施設(特別養護老人ホームや介護老人保健施設など)に入りたい	有料老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答	
全体		2,682	31.2	7.2	9.4	19.9	3.7	0.7	20.2	7.8	(%)
年齢	65歳～69歳	672	30.5	8.2	9.8	20.4	5.1	0.7	20.2	5.1	
	70歳～74歳	760	29.9	8.2	10.5	18.6	3.3	1.1	22.8	5.8	
	75歳～79歳	656	33.2	5.6	9.5	21.8	3.0	0.5	17.1	9.3	
	80歳～84歳	380	27.4	7.4	8.2	20.3	3.9	0.3	19.2	13.4	
	85歳以上	194	38.7	5.2	6.2	18.0	2.6	0.5	20.6	8.2	
性別	男性	1,328	36.7	5.9	7.0	19.2	4.1	0.5	20.0	6.6	
	女性	1,298	25.6	8.5	11.8	20.7	3.4	0.8	20.4	8.9	
家族構成	ひとり暮らし	323	21.4	10.8	10.2	22.0	5.0	0.6	22.0	8.0	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	30.0	7.8	9.2	19.9	4.6	0.6	20.1	7.8	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	44.2	6.1	5.4	18.4	3.4	1.4	15.6	5.4	
	息子・娘との2世帯	529	35.3	5.9	10.4	19.3	1.9	0.4	19.1	7.8	
	その他	542	31.5	5.4	9.6	19.9	3.5	0.9	21.4	7.7	

問34-1. 問34で「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」に○をつけた方にうかがいます。どなたから介護を受けたいですか。(ひとつだけ○)

「配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい」が57.3 %と最も多く、次いで「配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい」が25.1 %、「介護保険サービスなどを利用し、家族・親族以外の介護を考えている」が16.5 %となっています。

図表 2-99 介護を受けたい相手 (n= 836)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”“息子・娘との2世帯”では「配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい」が全体より高くなっています。

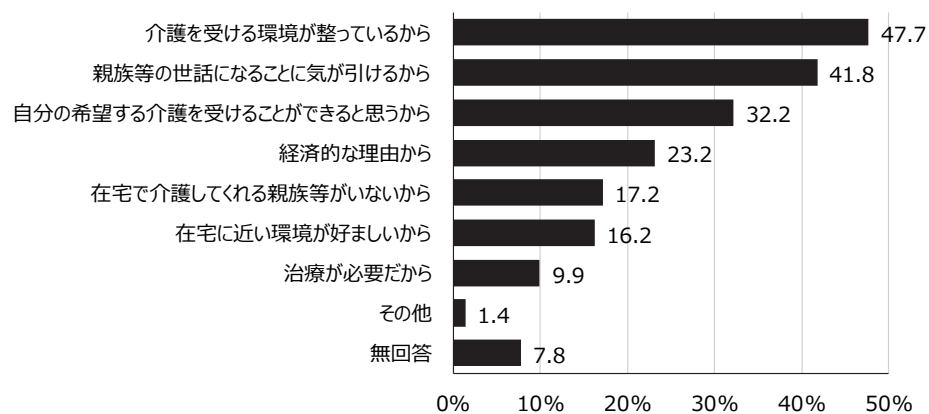
図表 2-100 年齢、性、家族構成別の介護を受けたい相手

		合計	親族だけで介護をしてほしい	配偶者、子どもなど、家族または	サービスなどを利用して中心で、他に介護保険	家族・保険サービスなどの介護を考えている	介護保険サービスなどを利用して、	無回答
全体		836	25.1	57.3	16.5	1.1	(%)	
年齢	65歳～69歳	205	21.5	59.5	19.0	0.0		
	70歳～74歳	227	21.1	60.4	18.5	0.0		
	75歳～79歳	218	28.0	55.0	16.5	0.5		
	80歳～84歳	104	31.7	55.8	7.7	4.8		
	85歳以上	75	28.0	52.0	16.0	4.0		
性別	男性	487	26.5	58.5	14.2	0.8		
	女性	332	21.7	57.2	19.9	1.2		
家族構成	ひとり暮らし	69	14.5	42.0	42.0	1.4		
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	329	26.4	56.5	15.8	1.2		
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	65	27.7	60.0	10.8	1.5		
	息子・娘との2世帯	187	25.7	65.2	9.1	0.0		
	その他	171	24.6	56.7	17.5	1.2		

問34-2. 問34で「主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて介護を受けたい」「数人で暮らせる、家庭的な介護つきホーム（施設）で介護を受けたい」「介護保険施設（特別養護老人ホームや介護老人保健施設など）に入りたい」「有料老人ホームに入りたい」「その他」に○をつけた方にうかがいます。その場所を選んだのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

「介護を受ける環境が整っているから」が47.7%と最も多く、次いで「親族等の世話になることに気が引けるから」が41.8%、「自分の希望する介護を受けることができると思うから」が32.2%となっています。

図表 2-101 在宅介護以外を選んだ理由 (n= 1,096)



年齢別でみると、“70歳～74歳”“75歳～79歳”“80歳～84歳”では「介護を受ける環境が整っているから」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「介護を受ける環境が整っているから」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)”“息子・娘との2世帯”では「介護を受ける環境が整っているから」が全体より高くなっています。

介護を受けたい場所別でみると、“介護保険施設”では「介護を受ける環境が整っているから」が全体より高くなっています。

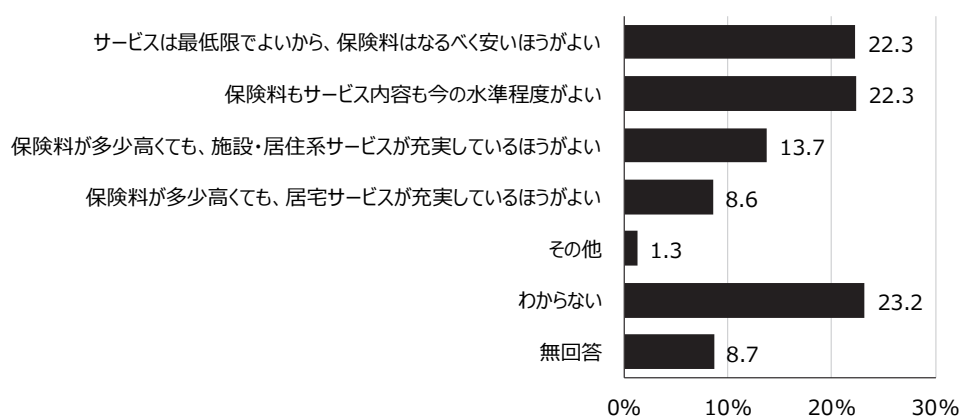
図表 2-102 年齢、性、家族構成、介護を受けたい場所別の
在宅介護以外を選んだ理由

	合計	親族等 在宅で 介護 ない から	親族等 の世話 になる ことに	介護を 受ける 環境が	自分の 希望す る介護 を受ける	経済的 な理由 から	好ましい に近い 環境が	治療が 必要だ から	その他	無回答
全体	1,096	17.2	41.8	47.7	32.2	23.2	16.2	9.9	1.4	7.8
年齢										(%)
65歳～69歳	297	15.2	49.5	44.8	34.7	20.2	14.8	8.8	1.3	5.1
70歳～74歳	316	18.0	44.6	50.9	26.9	19.3	20.3	9.5	1.3	4.7
75歳～79歳	265	18.1	34.7	49.4	31.7	29.8	12.8	9.8	2.3	11.3
80歳～84歳	152	18.4	36.8	48.0	40.1	27.6	18.4	11.8	0.0	11.8
85歳以上	63	15.9	33.3	39.7	31.7	19.0	12.7	12.7	1.6	9.5
性別										
男性	488	15.6	38.7	52.5	34.0	26.0	13.9	11.5	1.6	6.6
女性	586	18.6	44.2	44.4	31.6	20.8	18.3	8.7	1.0	8.5
家族構成										
ひとり暮らし	157	42.7	39.5	40.8	30.6	31.2	14.6	9.6	0.0	5.1
夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	461	16.1	43.8	52.5	31.5	21.3	16.7	10.6	0.7	9.1
夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	51	11.8	37.3	52.9	29.4	19.6	19.6	7.8	5.9	3.9
息子・娘との2世帯	200	6.0	44.5	49.0	32.5	22.5	20.5	7.0	2.0	9.5
その他	213	11.7	38.5	42.7	35.7	23.0	12.7	12.2	2.3	6.1
介護を受けたい場所										
高齢者向け住宅	193	15.5	43.0	44.0	37.3	18.7	14.5	8.3	1.0	5.2
家庭的な介護つきホーム	252	17.5	41.3	38.9	31.0	19.4	36.1	11.1	0.4	11.9
介護保険施設	533	18.4	44.5	56.1	29.8	30.2	8.8	10.9	0.8	6.0
有料老人ホームに入りたい	100	15.0	33.0	40.0	41.0	5.0	11.0	5.0	1.0	11.0
その他	18	5.6	5.6	5.6	16.7	16.7	5.6	11.1	38.9	11.1

問35. 介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスの範囲について、あなたの考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。（ひとつだけ○）

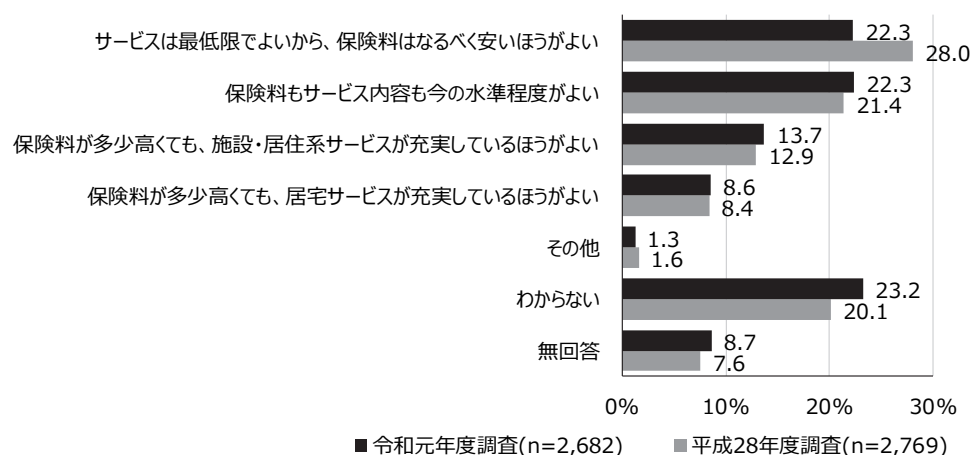
「わからない」が23.2%と最も多く、次いで「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安いほうがよい」が22.3%、「保険料もサービス内容も今の水準程度がよい」が22.3%、「保険料が多少高くても、施設・居住系サービスが充実しているほうがよい」が13.7%となっています。

図表 2-103 保険料とサービスの提供範囲のバランス (n= 2,682)



平成 28 年度調査と比較してみると、「サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安いほうがよい」と回答している割合が減少しています。

図表 2-104 保険料とサービスの提供範囲のバランス (経年比較)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「わからない」が全体より高くなっています。

性別でみると、男女ともにでは「わからない」が全体より高くなっています。

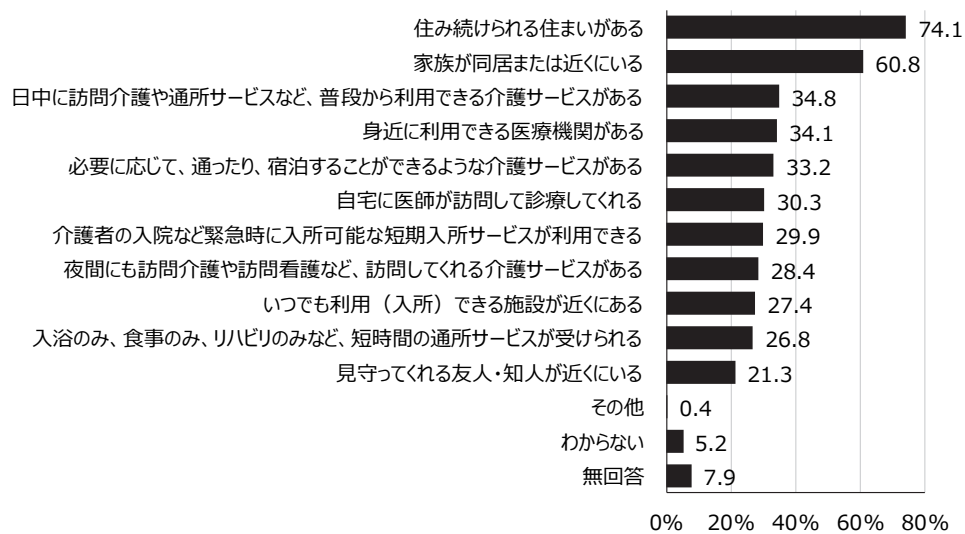
図表 2-105 年齢、性別の保険料とサービスの提供範囲のバランス

		合計	保険料はサービスはなるべく安いほうがよい	水準程度がよい	保険料が多少高くても、ほうがよい	保険料が多少高くても、施・居住系	居宅サービスが充実しているほう	保険料が多少高くても、	その他	わからない	無回答
全体		2,682	22.3	22.3	13.7	8.6	1.3	23.2	8.7	(%)	
年齢	65歳～69歳	672	18.9	19.3	17.7	11.5	1.5	26.5	4.6		
	70歳～74歳	760	22.6	22.6	13.4	8.3	2.1	24.7	6.2		
	75歳～79歳	656	26.8	22.9	12.7	7.5	0.8	19.7	9.8		
	80歳～84歳	380	21.6	23.9	11.3	6.6	0.5	21.6	14.5		
	85歳以上	194	19.1	27.3	10.3	7.2	0.5	21.1	14.4		
性別	男性	1,328	22.4	23.5	14.4	8.5	0.9	23.4	6.9		
	女性	1,298	22.2	21.0	13.3	8.6	1.7	23.3	10.0		

問36. 在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

「住み続けられる住まいがある」が74.1 %と最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が60.8 %、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が34.8 %となっています。

図表 2-106 在宅で暮らし続けるために必要なこと (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”“75歳～79歳”では「住み続けられる住まいがある」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「住み続けられる住まいがある」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)”“息子・娘との2世帯”では「住み続けられる住まいがある」が全体より高くなっています。

図表 2-107 年齢、性、家族構成別の在宅で暮らし続けるために必要なこと

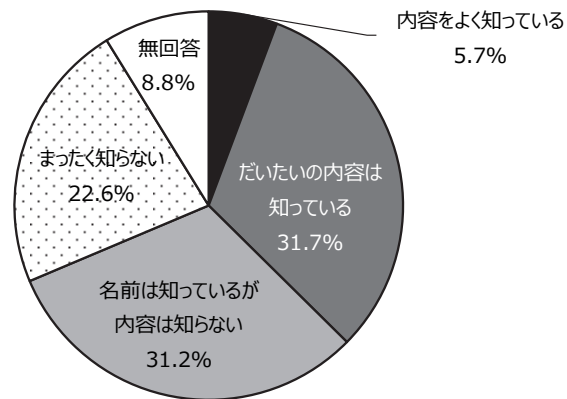
		合計	住み続けられる住まいがある	家族が同居または近くにいる	見守ってくれる友人・知人が近くにいる	普段から利用できる介護サービスなど、日中に訪問介護や通所サービスがある	必要に応じて、通ったり、宿泊することができる	短時間の通所サービスが受けられる	入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる	訪問してくれる介護サービスがある	夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	身近に利用できる医療機関がある	自宅に医師が訪問して診療してくれる	近くにある利用（入所）できる施設が	その他	わからない	無回答
全体		2,682	74.1	60.8	21.3	34.8	33.2	26.8	29.9	28.4	34.1	30.3	27.4	0.4	5.2	7.9	(%)
年齢	65歳～69歳	672	76.8	64.9	24.3	45.4	45.2	33.8	38.5	36.2	39.4	39.1	35.6	0.6	4.3	3.9	
	70歳～74歳	760	74.6	60.1	21.1	36.7	36.7	30.5	32.2	29.9	35.1	30.5	30.4	0.1	6.2	5.8	
	75歳～79歳	656	75.2	60.5	20.6	30.0	29.1	23.2	27.4	25.8	33.4	26.4	24.8	0.9	4.3	8.7	
	80歳～84歳	380	69.2	59.2	19.7	25.3	20.5	18.2	19.7	20.0	27.9	23.9	18.2	0.3	4.7	14.5	
	85歳以上	194	71.1	56.2	18.0	26.8	18.6	18.0	20.6	22.2	27.3	26.3	15.5	0.0	8.2	11.9	
性別	男性	1,328	74.8	61.0	17.2	31.2	29.7	23.4	27.0	25.2	32.8	27.2	23.0	0.4	6.2	7.2	
	女性	1,298	73.7	60.7	25.4	39.4	37.2	30.4	33.4	32.1	35.5	34.2	32.2	0.5	4.2	8.5	
家族構成	ひとり暮らし	323	72.4	38.1	29.4	33.1	28.8	23.8	24.1	29.7	32.2	27.9	29.1	0.9	6.5	7.7	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	75.4	59.0	19.5	36.5	34.6	27.5	32.0	28.6	35.0	30.9	27.9	0.4	5.5	7.9	
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	72.1	63.3	15.6	29.9	33.3	32.0	29.3	22.4	36.1	23.8	23.1	0.7	4.8	6.1	
	息子・娘との2世帯	529	75.2	72.8	21.4	32.9	34.4	25.5	30.4	26.5	30.6	31.0	27.2	0.2	3.6	7.4	
	その他	542	73.2	66.1	22.0	36.0	32.7	27.5	29.3	30.6	37.6	31.7	27.5	0.4	5.4	8.1	

(%)

問37. 成年後見制度を知っていますか。(ひとつだけ○)

「だいたいの内容は知っている」が31.7%と最も多く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」が31.2%、「まったく知らない」が22.6%となっています。

図表 2-108 成年後見制度の認知度 (n= 2,682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「だいたいの内容は知っている」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「だいたいの内容は知っている」が全体より高くなっています。

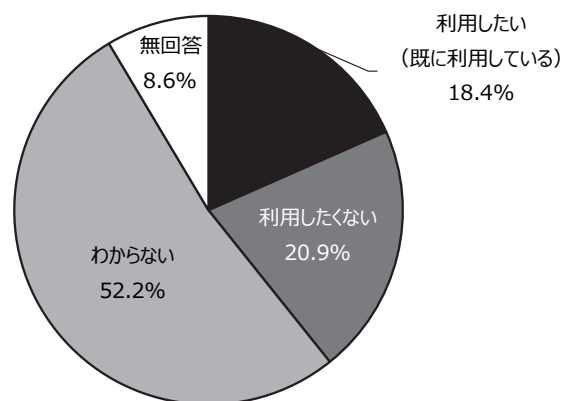
図表 2-109 年齢、性別の成年後見制度の認知度

		合計	内容をよく知っている	だいたいの内容は知っている	名前は知っているが内容は知らない	まったく知らない	無回答
全体		2,682	5.7	31.7	31.2	22.6	8.8 (%)
年齢	65歳～69歳	672	5.5	38.2	33.0	19.2	4.0
	70歳～74歳	760	6.7	36.4	31.1	20.1	5.7
	75歳～79歳	656	5.6	29.1	29.7	26.2	9.3
	80歳～84歳	380	4.7	23.7	30.3	24.7	16.6
	85歳以上	194	5.2	17.0	33.5	26.3	18.0
性別	男性	1,328	6.5	30.3	31.7	23.7	7.8
	女性	1,298	4.9	33.4	31.0	21.1	9.5

問38. あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。(ひとつだけ○)

「わからない」が52.2 %と最も多く、次いで「利用したくない」が20.9 %、「利用したい（既に利用している）」が18.4 %となっています。

図表 2-110 成年後見制度の利用意向 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳” “70歳～74歳” では「わからない」が全体より高くなっています。

性別でみると、男女ともにでは「わからない」が全体より高くなっています。

図表 2-111 年齢、性別の成年後見制度の利用意向

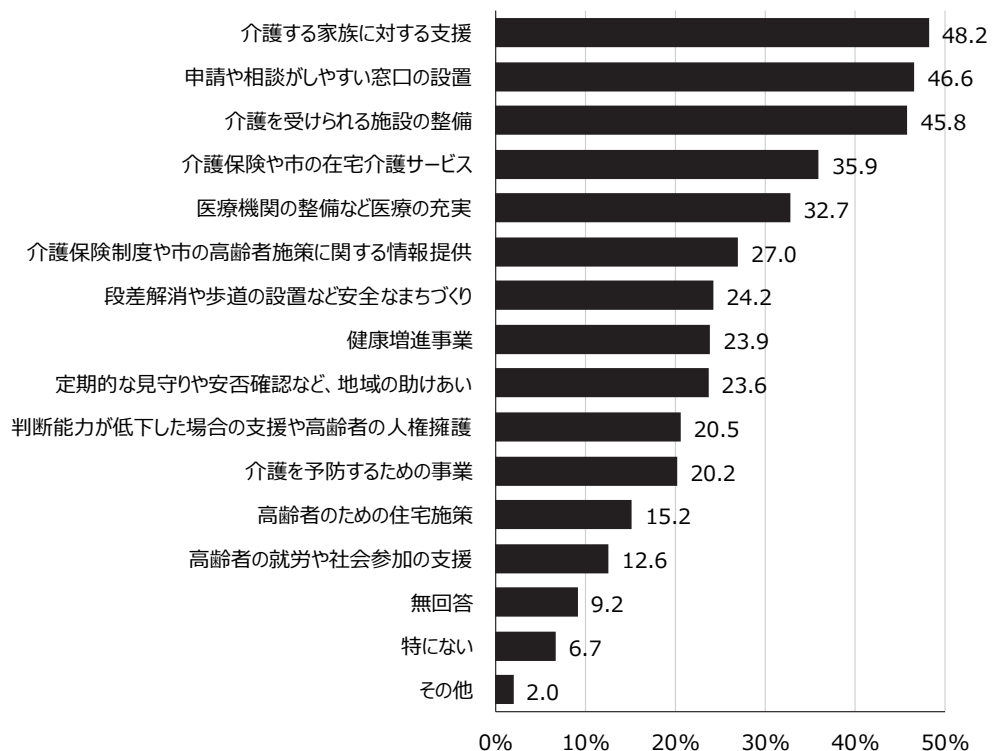
		合計	（利用にしたい 既に利用している）	利用したくない	わからない	無回答
全体		2,682	18.4	20.9	52.2	8.6
年齢	65歳～69歳	672	20.8	18.9	56.1	4.2
	70歳～74歳	760	17.6	24.6	52.8	5.0
	75歳～79歳	656	17.2	22.9	49.7	10.2
	80歳～84歳	380	17.6	18.4	48.7	15.3
	85歳以上	194	19.1	12.9	51.0	17.0
性別	男性	1,328	20.6	19.6	52.2	7.6
	女性	1,298	16.2	22.2	52.2	9.4

8. 今後の高齢者施策等について

問39. あなたは、木更津市の高齢者福祉施策について、今後充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「介護する家族に対する支援」が48.2%と最も多く、次いで「申請や相談がしやすい窓口の設置」が46.6%、「介護を受けられる施設の整備」が45.8%となっています。

図表 2-112 今後充実してほしい高齢者福祉施策 (n= 2, 682)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「介護する家族に対する支援」が全体より高くなっています。

性別でみると、“女性”では「介護する家族に対する支援」が全体より高くなっています。

家族構成別でみると、“息子・娘との2世帯”では「介護する家族に対する支援」が全体より高くなっています。

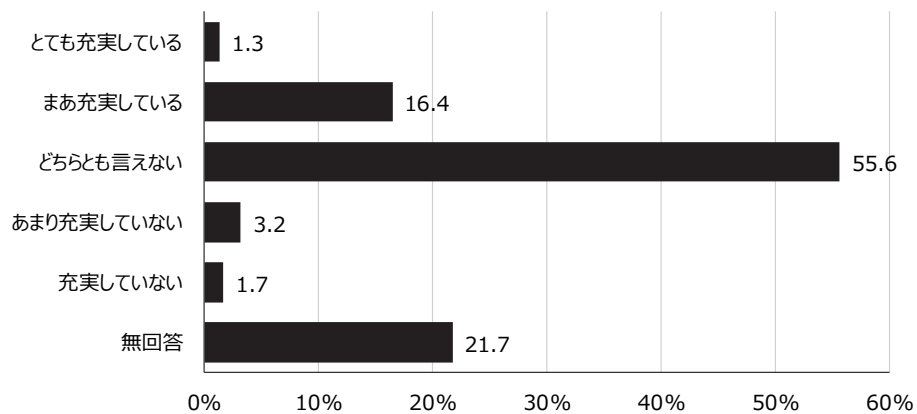
図表 2-113 年齢、性、家族構成別の今後充実してほしい高齢者福祉施策

		合計	健康増進事業	介護を予防するための事業	在宅介護サービス	介護保険や市の施設整備	介護を受ける家族に対する支援	介護する家族に対する支援	高齢者施策に関する情報提供	窓口の設置	申請や相談がしやすい	支援者の就労や社会参加の	定期的な見守りや安否確認	支障や高齢者の権利擁護	判断能力が低下した場合の	高齢者のための住宅施策	安全なまちづくりの設置など	段差解消や歩道の設置など	充実機関の整備など医療の	その他	特にな	無回答
全体		2,682	23.9	20.2	35.9	45.8	48.2	27.0	46.6	12.6	23.6	20.5	15.2	24.2	32.7	2.0	6.7	9.2	(%)			
年齢	65歳～69歳	672	27.4	21.7	40.0	51.2	51.6	30.5	49.3	20.1	22.8	21.9	20.5	25.9	37.9	2.2	6.7	5.5				
	70歳～74歳	760	25.5	19.3	35.9	45.7	49.9	26.4	49.1	12.5	24.6	20.1	15.7	22.0	30.9	1.4	6.7	6.4				
	75歳～79歳	656	21.3	21.3	33.7	45.4	44.2	25.0	44.1	9.5	24.1	19.1	12.7	23.0	30.8	2.4	6.1	10.5				
	80歳～84歳	380	22.9	19.5	33.2	42.9	47.6	28.7	44.7	9.5	24.2	22.1	12.4	28.7	31.3	1.8	8.7	12.9				
	85歳以上	194	16.5	16.5	35.1	36.6	45.9	20.1	39.7	3.1	20.1	18.6	8.2	21.6	30.9	2.1	5.7	20.1				
性別	男性	1,328	25.4	19.8	35.9	45.3	47.9	24.8	41.6	13.7	21.2	18.4	15.0	20.6	33.2	2.2	8.6	8.3				
	女性	1,298	22.4	20.8	36.4	46.8	48.8	28.9	51.8	11.1	25.7	22.7	15.3	27.9	32.1	1.7	4.7	10.1				
家族構成	ひとり暮らし	323	20.1	16.7	33.1	42.4	33.4	26.9	46.7	10.8	29.4	24.8	19.8	20.7	28.2	2.5	6.8	9.6				
	夫婦ふたり暮らし(配偶者65歳以上)	1,095	27.1	20.8	37.4	49.0	47.1	28.8	46.2	13.3	25.3	20.5	14.9	25.6	31.6	2.1	6.4	8.8				
	夫婦ふたり暮らし(配偶者64歳以下)	147	25.2	21.8	34.7	44.9	46.3	19.7	40.1	16.3	19.0	14.3	10.9	20.4	33.3	2.0	10.2	7.5				
	息子・娘との2世帯	529	20.4	20.2	36.3	46.1	56.3	25.5	49.7	12.3	22.3	20.6	14.2	25.1	34.2	0.8	6.4	9.5				
	その他	542	22.7	20.7	35.1	43.0	52.2	26.6	46.3	10.9	19.6	19.2	15.5	24.4	36.2	2.6	6.5	9.2				

問40. 木更津市の高齢者福祉施策について、あなたはどのように感じますか。（もっとも近い考えをひとつだけ○）

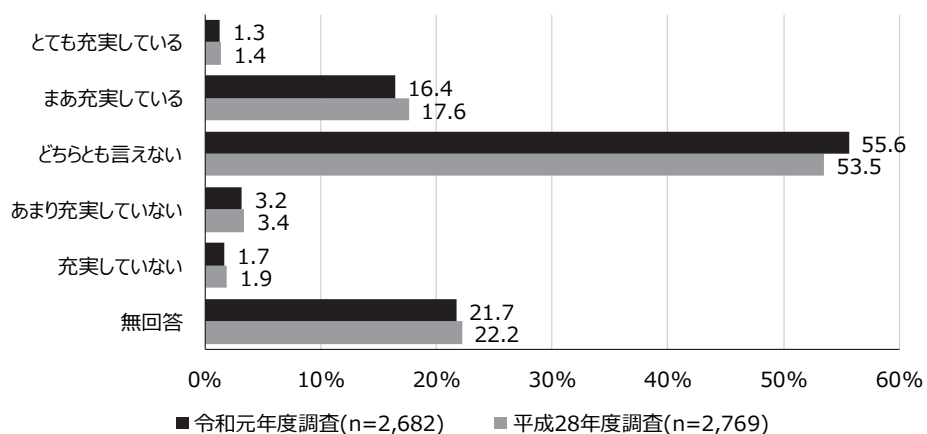
「どちらとも言えない」が55.6 %と最も多く、次いで「まあ充実している」が16.4 %、「あまり充実していない」が3.2 %となっています。

図表 2-114 高齢者福祉施策の充実度 (n= 2, 682)



平成28年度調査と比較してみると、「どちらとも言えない」と回答している割合が増加しています。

図表 2-115 高齢者福祉施策の充実度 (経年比較)



年齢別でみると、“65歳～69歳”“70歳～74歳”では「どちらとも言えない」が全体より高くなっています。

性別でみると、“男性”では「どちらとも言えない」が全体より高くなっています。

図表 2-116 年齢、性別の高齢者福祉施策の充実度

		合 計	と と も 充 実 し て い る	ま あ 充 実 し て い る	ど ち ら と も 言 え な い	あ ま り 充 実 し て い な い	充 実 し て い な い	無 回 答
全体		2,682	1.3	16.4	55.6	3.2	1.7	21.7
年 齢	65歳～69歳	672	1.2	13.1	67.0	3.0	1.6	14.1
	70歳～74歳	760	0.8	17.5	56.7	2.8	2.1	20.1
	75歳～79歳	656	1.1	17.4	52.1	4.3	1.8	23.3
	80歳～84歳	380	1.8	18.4	47.4	2.6	1.1	28.7
	85歳以上	194	3.1	18.0	42.3	3.1	0.5	33.0
性 別	男性	1,328	1.1	14.6	59.2	3.1	2.0	20.0
	女性	1,298	1.4	18.0	52.9	3.3	1.2	23.3

(%)

問41. 木更津市の介護保険制度・高齢者福祉施策へのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

480人の方から意見・要望等が寄せられました。内容を集約したうえで下表の15の観点に整理すると、「情報提供」や、「相談窓口」「移動支援」に関する意見が比較的多くみられました。

観点	主な回答内容
情報提供	- 制度、施策に対してまだあまり勉強していない。この基にしたい。 - 地域抱活センターが、どんな所かを、知らない方が、あまりにも多い。 - 施策の全容がわからないのでわかりやすい一覧の情報がほしい。 - 調査等はするが今後の方針がよくわからない。市報等にくわしく出す様にしてほしい。 - 介護保険制度、高齢者福祉施策の姿を見られるプリント物が頂きたい。 - 木更津市内にある高齢者福祉施設を一覧表にしたパンフレット等を作製して頂いて、高齢者が入居するに際して、選択肢となればいいと思う。 - 現時点での福祉施設やサービス状況はどのようなものであるか今までは必要を感じていなかったの、知ることもなく過ごしていた。福祉課に行けば詳しい資料や説明が受けられるのか、広報等で知らせてほしい。 - 地域の回覧板等で情報を知らせる為の会合等を知らせるとよいのではないか。 - 高齢者が集まって何か集う所がどこにあるかないかわからない。こういう所にこういう集まる所があると言う新聞等があったらいいと思う。 - 日常どのような活動をしているのか、またその現状での実績はどうなのか。それらの情報について積極的なPR、がない。 - 市としてどのような事業を行っているのか不明。広報活動も必要では。 - 高齢者の就労手続きはどうしたらいいのか知りたい。 - 介護を受ける為の勉強する場所、介護全般についての知識を知っていると不安がなくなる。介護される方、する家族両方の立場に立って老後の勉強が出来るといいと思う。 - 制度が良く分っていないので、一覧表を作り「こんな時はここへ行けばいい」と良く分る様にして頂けると良い。 - 介護保険制度の内容が良くわからない。福祉施策への説明を受けられる場所がわからない。元気な時に気軽に相談できる所がわからない。 - 高齢者への情報提供はインターネットより紙が良い。 - 高齢者がこういう事で困っている時は、～課に相談する、

観点	主な回答内容
	など丁寧な説明冊子が欲しい。 - このような調査書類を送って来るのなら、市の制度・施策が解る資料もついでに送ってほしい。 - 制度の勉強会を地区毎にやったらよいと思う。 - 独りになっても自宅で生活するための支援を知りたい。 - どのような施設がありどのように運営されているのか、わからない。たとえば、75、80歳時点で、説明会等があればよい。 - 地域での集合やレク等の情報がほしい。 65歳になったら市が介護に関する小冊子を配布し、事前に情報類を提示したらどうか。 5W1Hで、一人ひとりが分かるようなマップ、相談の必要が発生した場合の、行動、どこにいけば良いのか等、分るような資料を配布してほしい。（一家に1冊有ると便利）
相談窓口	- もう少し身近に、問い合わせが出来る人、相談員の育成をお願いしたい。 - 相談しやすい窓口、及び人材が必要と思う。不安なので、より一層充実してほしいと思う。 - 相談先が解りにくい、事例によってどこへ相談したら良いかパンフレットなどが欲しい。 - まだ介護を必要としていないので良くわからないが、必要になった時にはスムーズに相談にのってほしい。 - 市役所における窓口対応と相談機能の充実について希望する。高齢者は役所窓口での説明や指導を受ける能力が落ちてくるので丁寧とやさしさに心がけてほしい。 - 始めに、軽い気持で相談できる窓口を設置してもらいたい。 - 民生委員や包括支援センター等、福祉に関する初期の相談窓口を知らない人が多い。
移動支援	- バスが通っていないので出かけられない。近くにスーパーがないので買物に困っている。 - 高齢者の免許返納後の交通サービスについて。買物支援や、乗合自動車など新しいアイデアで、補助をしたり、ボランティアの仕組みを考えてもらいたい。 - 高齢であっても1人で外出ができるよう巡回バスなどがあればと思う。 - 高齢者の為に、買い物・病院等へ行ける、ミニバスを運行してほしい。（無料でなくても良いので、安価であれば、尚喜ばれると思う。） - 今は車の運転ができるが免許を返納したらタクシーを利用するしかありません。コミュニティバスでもあれば通院・買い物ができる。 - 近くに食品や日用品の買い物のできる店がなく、今は良いが、先の事を思うと不安である。運転できなくなったら通院も困る。 - 免許証を返納した時に、日常のスーパーや通院するのに小型車（マイクロ）で巡回してほしい。

観点	主な回答内容
	• 包括センター圏域毎にコミュニティバスなどがあれば嬉しい。 • 高齢者の事故が多く、よく報じられていますが、公共交通機関を利用させる施策として一部助成付きパスの交付等し事故減少、免許返納への一助として考えられないか。 • お店がないためバスで買物に行かなければならないがバスの回数も少なく、自分の好きな物がほしい時困る。医者、内科、歯、眼科に行く時は本当る。 • 東京へよく出かけますが都バスなどバスで乗っている老人が羨ましい。細かく回るコミュニティバスがあれば買物も楽になる人が多いのでは。 • 免許返納後の足がない。タクシー利用の補助金をつけてほしい。 • 高齢者の車の運転を減らすなら、バスの数を増やすことや、タクシーの利用をしやすい支援が必要である。
生きがいづくり	• 元気な高齢者への対策も、充実させてほしいです。たとえば、「郷土の歴史」「やさしい医学」「大人になって学ぶ国語、算数、理科、社会」等々、高齢になったからこそ、時間的にゆとりができて楽しく学ぶことができると思うし、いくつになっても向学心を持っておられる方は大勢いると思う。 • 集会所や身近な場所で体操したり、お茶を飲んだり、お話しをしたり、いつでも利用できる場所をたくさん作ると良いと思う。 • 高齢者が、どんどん外に安全に自由に外に出かけていけるような、広い歩道や散歩できるような公園があればと思う。 • 年を重ねていっても一人でも気軽に行ける、そして寛げる場所が地域にほしいと思う。話し相手がいる、友人作りが出来るような場所がほしい。 • 健康増進活動ができるシニアクラブの支援を考えて欲しい。 • 集会所など個人的に使える室があると良いと思います。例えば趣味の事で何人か集まって、数時間不定期に使えると友人達と遊ぶ所として使いたい。 • 高齢者の集まる場を増やし（歩道の草取り、ゴミ拾い）定期的にイベントを開くとよいのではないかな。 • 高齢者が集える場所は諸々ありますが、原風景を備えた公園の中に、太陽光を利用した温泉、昔遊びの出来る場所等を併設した施設で、ワイワイがやがやみんなで話をしたり、身体や頭を使うことで、高齢者の認知症の進捗状況も変わっていくのではないかと考えます。 • 公民館単位の小さな集まりで良いと思いますので市の企画で“集い”のような会を開いてほしいと思います。 • 日曜日に近くの公民館で、相談会＋イベントなどをしてほしい。
介護予防	• リハビリなど出来るだけ自力で動ける様に支援してほしい。

観点	主な回答内容
	- 後期高齢者の健康維持、増進のため、スポーツクラブ等への参加助成金の補助を考慮して頂きたい。 - 運動施設が地区ごとにほしい。
サービスの充実	- 誰でも入れる様な施設が出来れば、本当に助かると思います（安いお金で）。 - 特養ホームを増設してほしい。 - 生活が苦しい中でも介護保険料を納めているが、将来、自分が介護の手を借りる時期が来たら、施設に入居することができるのか心配。 - この先、何人かで暮らせる所があればと思う。楽しく助け合いながら住める場所があればいい。 - 将来特別養護老人ホームの増設や、訪問介護の充実を希望している。 - 待たずに即入所できる様な体制にしてほしい。 - 短期でもいいので、具合が悪い時に順番待でなく利用できる施設があると良い。 - 所得の低い者にも、安心して入所できる施設を作してほしい。
経済的負担	- 介護保険料が高くて、年金生活者には苦しい。 - 少ない年金の中で、介護保険料など高すぎて困る。他に、医療費も高く、生活するのが大変である。
要介護認定	- 介護保険手続きなど簡単にしたい。 - 介護度を決めるのは普段の生活態度を近くでよく観察してから決めるべきだと思う。本人に会った時は、ご本人はしっかりするに決まっていると思うから。 - 介護の認定をしてもらう時の方法をもっと短時間に出来る様に。 - 簡単な手続きで利用できるようにしてほしい。 - なかなか認定がもらえないのではと心配である。 - 要介護認定がやや厳しくなっているように感じる。 - 介護が必要となっても家族や本人は申請する知識がないと思う。民生委員や福祉関係がその様な人達を見通しつく様に支援してほしい。 - 介護の認定などの事務手続きを早くするなど、また認定の際に、不平等のないような扱いをお願いしたい。
家族介護者支援	- 自宅で介護をする人への手当等も必要だと思う。 - 自宅介護に対し、配偶者等への給付等が必要と思われる。 - 自宅で介護している家族へ介護費を支給してほしい。
介護従事者の処遇改善	- 介護施設の充実、働いている社員ヘルパーさんなどの給料等の見直しをする。 - 公的、私的（民間）各々、サービスに携わる方々の待遇改善。 - 介護制度にかかわる人出が不足のないような配慮をして欲しいと思う。条件をよくするように希望する。 - 介護士に対する手厚い保証などがもっともっと厚ければ、福祉にあたたかい目が向けられるのではないかと思う。

観点	主な回答内容
生活支援	• 今後少しずつでもいいので、若い人の力を活用する活動にしていってはどうか。ちなみにボランティアは有償にし、高齢者が困っていることに手助けをした人に、市内の店舗で使える割引券を提供したり、いろいろな手助け券を市が作製し、必要とする方が購入する方法等はどうか。 • 色々な面で若い力の協力が必要になってくる。ボランティアが必要である。 • ごみ出しについて、車の運転が出来る内は心配ないが、いずれ出来ない時が来ると思う。月に1、2回とか曜日を定めて有料で個別に集めて頂けたらと思う。 • 独居老人、高齢者の外出身のまわりの世話等、地域ぐるみ、助け合い協定ボランティア等活用し、介護要員のワンチーム化を図ったら、どうか。
見守り	• 時折市福祉に依いて訪問又、電話で健康指導等があればよい。 • 高齢者への見守り制度（巡回）を充実してほしい。 • お年よりは不安が多いと思うので、時々一人生活のところを廻るとそれだけで安心すると思う。 • 介護が必要になったら1ヶ月に1回見に来てほしい。
災害時の対応	• 災害が発生した時避難する場所が遠過ぎる。 • 災害時の避難について。避難所には寝具、食料等の生活用品は持参、車の利用は禁止、気象庁は命を守る行動をと呼びかけられるが、一人暮らしの高齢者には避難所に行く方法がない。
アンケートへの意見	• 質問、ページ数を絞って半分位に減らしてほしい。長すぎる。回答する人の立場をもう少し考えた構成内容にしてほしい。 • 是非こうしたアンケートの結果を重視してほしい。とても良いアンケートだった。 • 問が具体的なのは良いが、あまりにも多すぎて面倒になった。 • 結果を知りたい。とっても良いアンケートだと思う。 • このアンケートが紙面上で終わることのない様に市政に活かして、楽しい老後が送れるよう是非ご検討して頂きたい。 • 高齢者に対して、これだけくどく多量のアンケートを求めては、高い回答率を得ることは困難である。
その他	• 地域の民生委員に託すだけでなく、市職員自らが現場に出て実態を直視してもらいたい。 • 今まであまり関心がなかったが、家族が高齢になるにつれ、地域環境が非常に気になる様になった。近所の住民が、独占老人や高齢世帯になるにつれ、助け合う地域環境、声かけ合える地域とは、だんだん希薄になってきている気がする。 • 地区内に医療機関があつて、町まで行かないで往診してくれる医院があると良い。

第3章 状態像に関する分析

1. 分析にあたって

(1) 分析の目的

本章は、国が示した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査項目を使用し、高齢者の心身の機能、日常生活・社会参加といった状態像を多角的に把握するとともに、介護予防・生活支援等の取り組みが必要となる人の実態をつかむことを主な目的としています。

(2) 使用したデータ

本章の分析では、分析の観点ごとに、関連する複数の設問に対する回答を統合して分析します。そのため、分析の観点ごとに、関連する設問すべてに回答している人のみを有効なデータとして取り扱います。介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の分析で使用可能な回答者数については、以下のとおりです。

図表 3-1 本章の分析で使用可能な回答者数

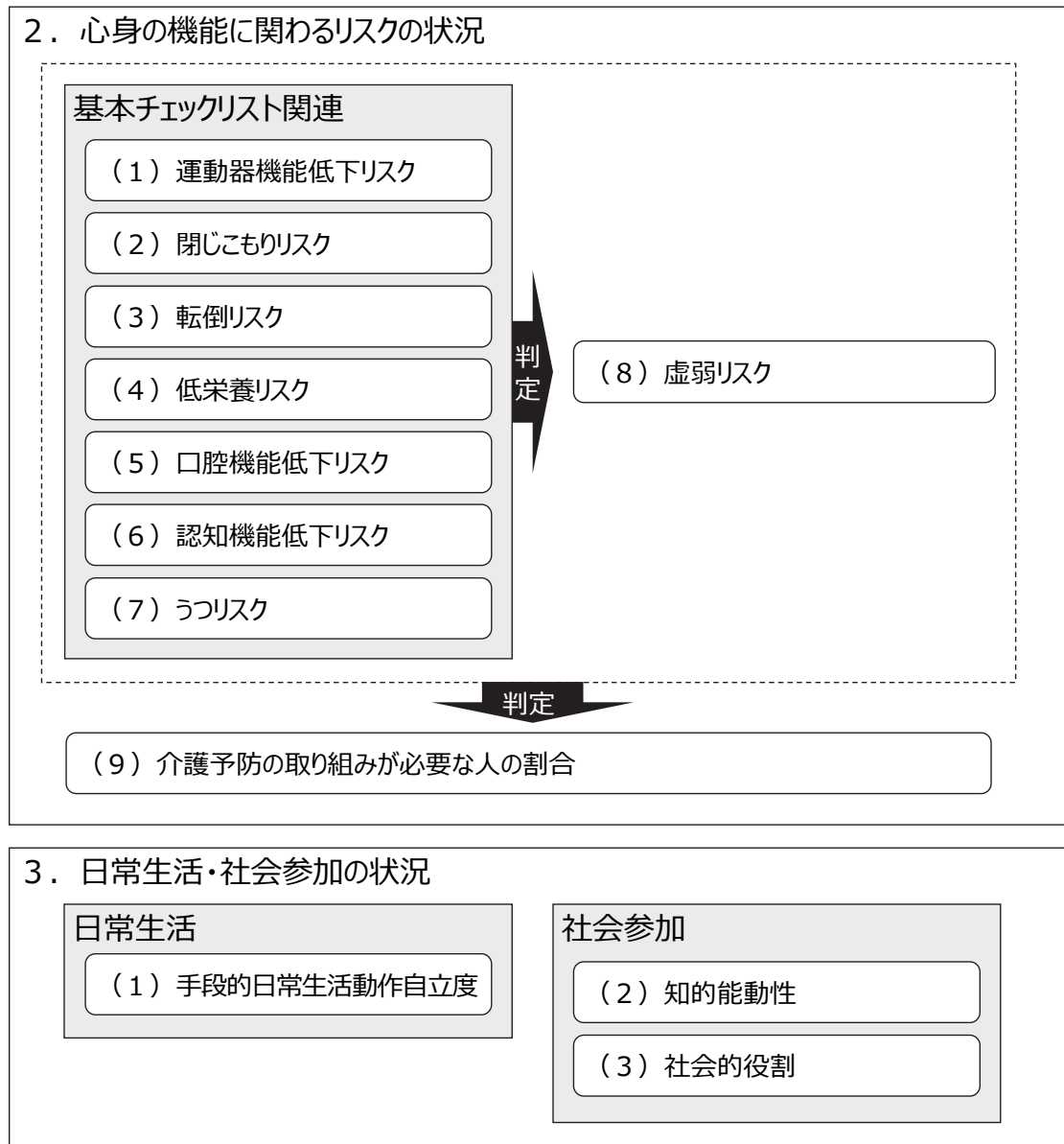
認定・該当状況	配布数	回答者数	分析で使用可能な回答者数※
一般高齢者	4,500件	2,682件	2,662件

※ 性別・年齢が無回答であるものを除外し、分析で使用可能な回答者数（最大での値）である。個々の判定条件で実際に使用できる回答者数は、当該判定条件を構成する設問すべてに回答のあったもののみとなる。例えば、運動器の判定は5項目すべて、虚弱の判定は20項目すべてに回答があったもののみが使用可能なものとなる。

(3) 本章の構成

本章では、以下のような章立て及び構成となっています。

図表 3-2 本章の構成



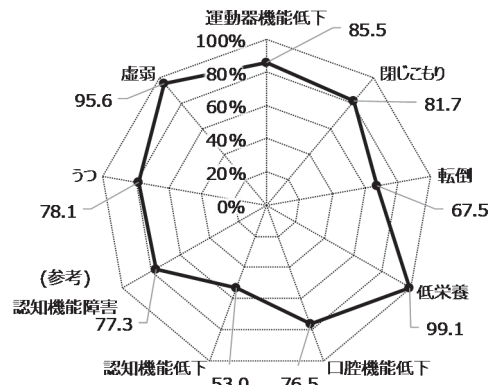
2. 分析結果

結果の概要

心身の機能について、各種リスクなし人の割合を右図に示しています。この割合をみると、今回調査を実施した一般高齢者の中にも、各種リスクを有する人が相当数いることがわかります。

なお、今後、介護予防の取り組みが必要とされる人について、「虚弱リスク」、「運動器機能低下リスク」、「閉じこもりリスク」、「転倒リスク」、「低栄養リスク」、「口腔機能低下リスク」、「認知機能低下リスク」、「うつリスク」の8項目を用いて、項目間の重複を除いた上で分析したところ、7割程度の方がいずれかのリスクを有し、介護予防の取り組みが必要な状況にあることがわかりました。

図表 3-3 各種リスクなしの割合



図表 3-4 各種リスクありの割合

	回答者数	運動器機能低下	閉じこもり	転倒	低栄養	口腔機能低下	認知機能低下	(参考) 認知機能障害	うつ	虚弱	介護予防の取り組みが必要な人	(%)
全体	2,662	14.5	18.3	32.5	0.9	23.5	47.0	22.7	21.9	4.4	71.1	
男性 65～74歳	1,432	5.7	14.5	24.2	1.0	20.7	41.9	21.1	19.7	4.5	62.5	
男性 75歳以上	608	14.7	16.6	37.0	0.7	25.7	52.8	30.1	20.7	7.8	75.7	
女性 65～74歳	696	9.6	13.0	29.6	0.5	20.3	41.2	16.3	20.8	0.8	67.7	
女性 75歳以上	598	32.2	31.1	41.3	1.5	29.0	54.5	25.0	27.3	5.6	80.6	

図表 3-5 各種リスクなしの割合

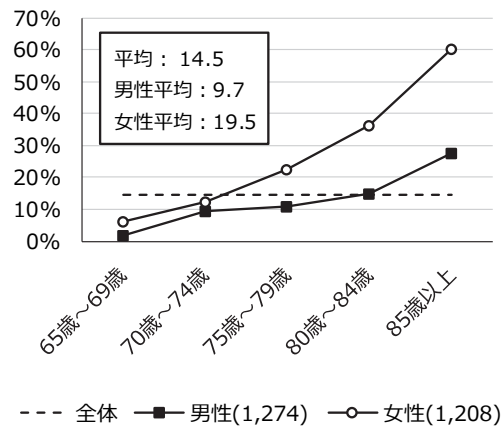
	回答者数	運動器機能低下	閉じこもり	転倒	低栄養	口腔機能低下	認知機能低下	(参考) 認知機能障害	うつ	虚弱	介護予防の取り組みの必要性が低い人	(%)
全体	2,662	85.5	81.7	67.5	99.1	76.5	53.0	77.3	78.1	95.6	28.9	
男性 65～74歳	1,432	94.3	85.5	75.8	99.0	79.3	58.1	78.9	80.3	95.5	37.5	
男性 75歳以上	608	85.3	83.4	63.0	99.3	74.3	47.2	69.9	79.3	92.2	24.3	
女性 65～74歳	696	90.4	87.0	70.4	99.5	79.7	58.8	83.7	79.2	99.2	32.3	
女性 75歳以上	598	67.8	68.9	58.7	98.5	71.0	45.5	75.0	72.7	94.4	19.4	

(1) 運動器機能低下リスク

「運動器機能低下リスク」についてみると、全体が14.5%、男性が9.7%、女性が19.5%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、75歳以上においては男女の差が大きくなり、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-6 運動器機能低下リスクありの割合



図表 3-7 運動器機能低下リスクの判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
				65～74歳	75歳以上	65～74歳	75歳以上
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問9(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(「できない」)	16.6	5.1	17.7	11.5	35.5
	問9(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(「できない」)	11.3	5.2	11.3	6.5	24.0
	問9(3)	15分位続けて歩いていますか。(「できない」)	7.4	3.1	9.6	4.1	14.4
	問9(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。(「何度もある」「1度ある」)	32.3	24.2	37.0	29.6	41.3
	問9(5)	転倒に対する不安は大きいですか。(「とても不安である」「やや不安である」)	48.9	32.8	49.1	49.3	67.9

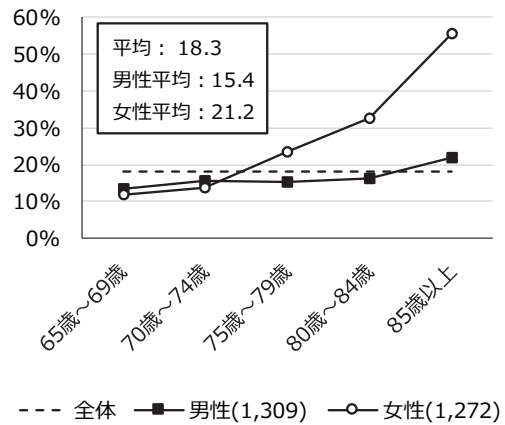
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。運動器の判定：5項目中、3項目以上が該当するもの。

(2) 閉じこもりリスク

「閉じこもりリスク」についてみると、全体が18.3%、男性が15.4%、女性が21.2%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、75歳以上においては男女の差が大きくなり、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-8 閉じこもりリスクありの割合



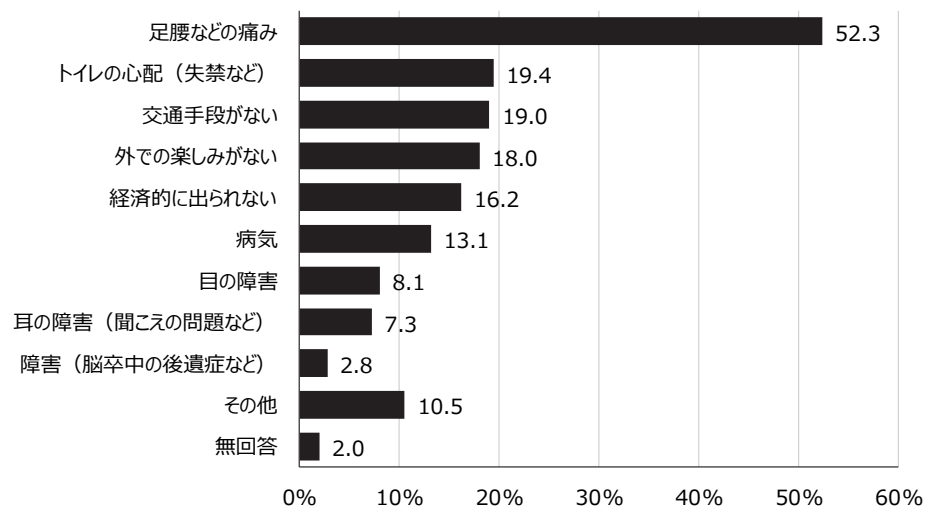
図表 3-9 閉じこもりリスクの判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	65～74歳	75歳以上	65～74歳	75歳以上
				1,432	608	696	598
判定	問9(6)	週に1回以上は外出していますか。(「ほとんど外出しない」「週1回」)	18.3	14.5	16.6	13.0	31.1
関連	問9(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(「とても減っている」「減っている」)	24.4	15.3	27.8	20.8	36.1
	問9(8)	外出を控えていますか。(「はい」)	18.8	10.7	23.1	11.8	32.1

※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。閉じこもり予防の判定：1項目中、1項目が該当するもの。

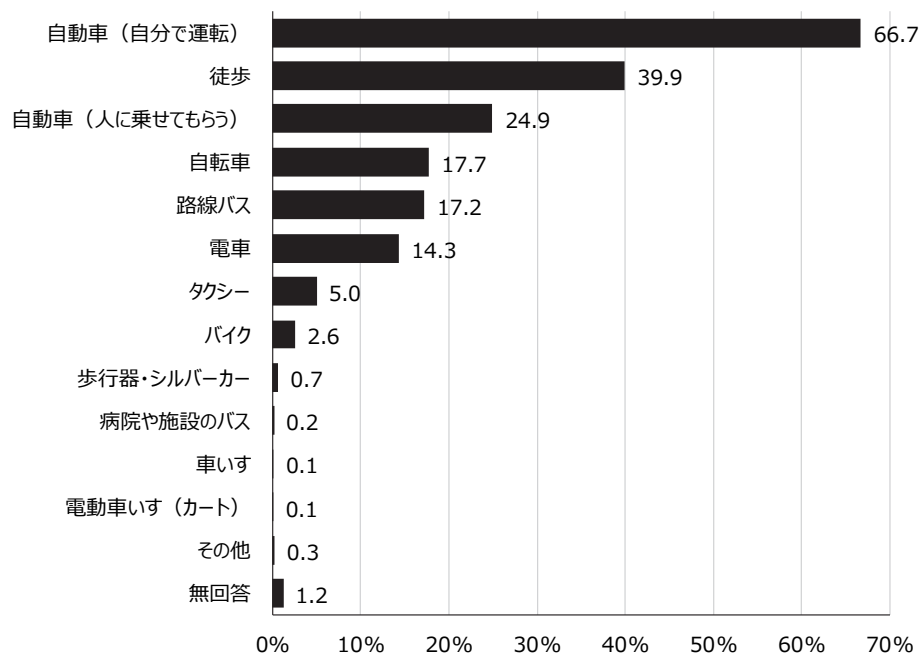
外出を控えていると回答した人に対して、外出を控えている理由をたずねたところ、「足腰などの痛み」が52.3%と最も多く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が19.4%、「交通手段がない」が19.0%となっています。

図表 3-10 外出を控えている理由 (n= 495)



外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が66.7%と最も多く、次いで「徒歩」が39.9%、「自動車(人に乗せてもらう)」が24.9%となっています。

図表 3-11 外出する際の移動手段 (n= 2, 682)

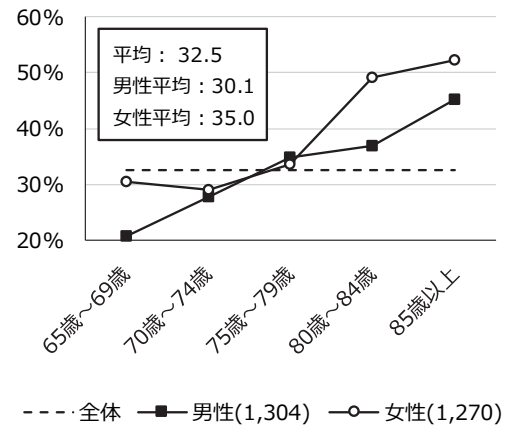


(3) 転倒リスク

「転倒リスク」についてみると、全体が32.5%、男性が30.1%、女性が35.0%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、69歳以下では男性に比べ、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。また、80歳以上においては男女の差が大きくなり、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-12 転倒リスクありの割合



図表 3-13 転倒リスクの判定で使用了項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	65~74歳 1,432	75歳以上 608	65~74歳 696	75歳以上 598
判定	問9(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。 ([「何度もある」][「1度ある」])	32.3	24.2	37.0	29.6	41.3
関連	問9(5)	転倒に対する不安は大きいですか。 ([「とても不安である」][「やや不安である」])	48.9	32.8	49.1	49.3	67.9

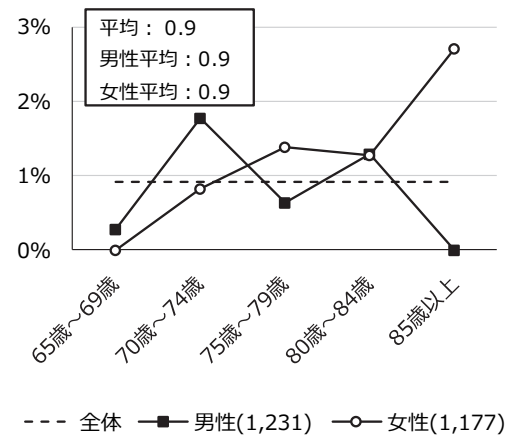
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。転倒の判定：1項目中、1項目が該当するもの。

(4) 低栄養リスク

「低栄養リスク」についてみると、全体が0.9%、男性が0.9%、女性が0.9%でリスクありとなっています。

性・年齢別には特徴的な傾向はみられず、いずれの年齢においても一定数リスクありの割合が存在することがみてとれます。

図表 3-14 低栄養リスクありの割合



図表 3-15 低栄養リスクの判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問10(7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(「はい」)	11.3	12.5	11.8	9.0	12.1
	問10(1)	身長、体重 (BMI = 体重 ÷ (身長 × 身長) < 18.5)	6.0	2.7	4.7	7.1	10.1
関連	問11(7)	食事は自分で食べられますか。(「一部介助があればできる」「できない」)	0.3	0.3	0.7	0.3	0.2
	問10(8)	どなたかと食事をとる機会がありますか。(「年に何度かある」「ほとんどない」)	17.9	17.5	24.2	9.9	20.3

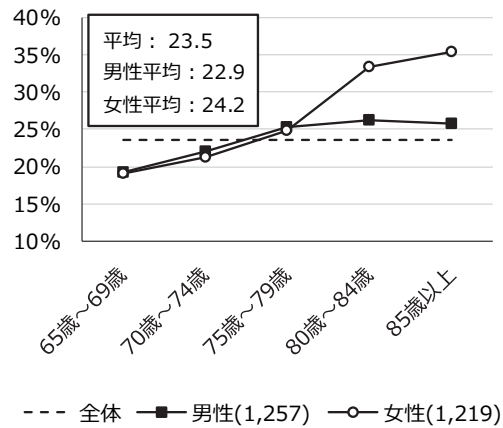
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。栄養の判定：2項目中、2項目が該当するもの。

(5) 口腔機能低下リスク

「口腔機能低下リスク」についてみると、全体が23.5%、男性が22.9%、女性が24.2%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、80歳以上においては男女の差が大きくなり、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-16 口腔機能低下リスク
ありの割合



図表 3-17 口腔機能低下リスクの判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問10(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(「はい」)	30.5	25.5	32.5	27.2	39.1
	問10(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。(「はい」)	26.6	24.1	28.1	25.0	30.3
	問10(4)	口の渇きが気になりますか。(「はい」)	28.3	25.3	32.1	23.5	34.3
関連	問10(5)	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。(「いいえ」)	8.5	9.9	11.6	5.4	7.0
	問10(6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」)	57.3	50.2	67.3	49.6	64.4
	問10(6-1)	噛み合わせは良いですか。(「いいえ」)	20.3	21.8	18.4	20.6	19.8
	問10(6-2)	毎日入れ歯の手入れをしていますか。(「いいえ」)	6.4	10.6	7.2	3.5	4.2

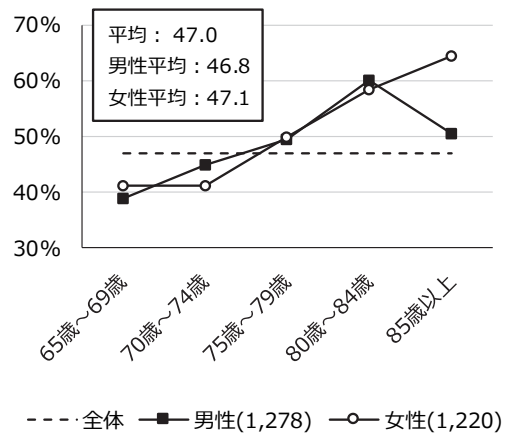
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。口腔の判定：3項目中、2項目以上が該当するもの。

(6) 認知機能低下リスク

「認知機能低下リスク」についてみると、全体が47.0%、男性が46.8%、女性が47.1%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、85歳以上においては男女の差が大きくなり、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-18 認知機能低下リスク
ありの割合



図表 3-19 認知機能低下リスクの判定で使用した項目

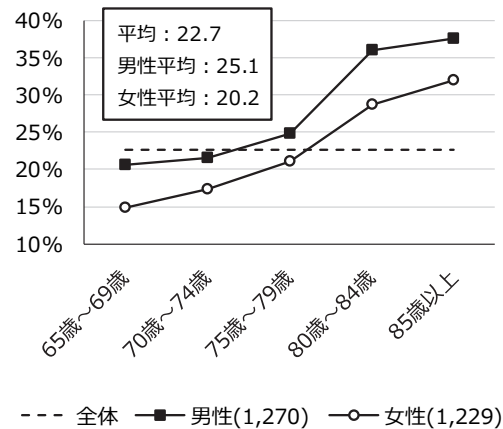
			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問11(1)	物忘れが多いと感じますか。(「はい」)	47.1	41.9	52.8	41.2	54.5
関連	問11(2)	自分で電話番号調べて、電話をかけることをしていますか。(「いいえ」)	14.1	17.1	15.4	12.8	10.8
	問11(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか。(「はい」)	21.9	18.2	26.1	17.2	26.7
	問14(7)	現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(認知症)	0.4	0.0	1.0	0.0	0.9

※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。認知の判定：1 項目中、1 項目以上が該当するもの。

(参考) 認知機能障害程度 (CPS)

今回の調査には、認知機能の障害程度の指標として有用とされるCPS (Cognitive Performance Scale) ※1 に準じた設問を組み込んであります。1 レベル以上の障害程度 (CPS 1 項目以上該当) と評価されるリスクありの人の割合は、全体で 22.7%、男性が 25.1%、女性が 20.2%と、男性のほうが女性より割合が高くなっています。性・年齢別にみると、いずれの年齢においても男性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-20 認知機能障害ありの割合



※1 CPS (Cognitive Performance Scale) : 認知機能障害の評価尺度。

図表 3-21 認知機能障害程度の判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	65～74歳 1,432	75歳以上 608	65～74歳 696	75歳以上 598
判定	問11(4)	5分前のことが思い出せますか。(「いいえ」)	8.6	8.4	9.4	7.1	9.5
	問11(5)	その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。 ※3	7.4	5.1	12.8	2.2	10.2
	問11(6)	人に自分の考えをうまく伝えられますか。 ※4	14.6	12.5	21.1	9.4	16.2
	問11(7)	食事は自分で食べられますか。(「一部介助があればできる」、「できない」)	0.3	0.3	0.7	0.3	0.2

※2 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。認知機能の障害程度の評価方法：4 項目の内容により、0～6 レベルの 7 段階で評価 (詳細は省略)。

※3 問 11(5) (「いくらか困難であるが、できる」、「判断するとき、他人からの合図や見守りが必要」、「ほとんど判断できない」)

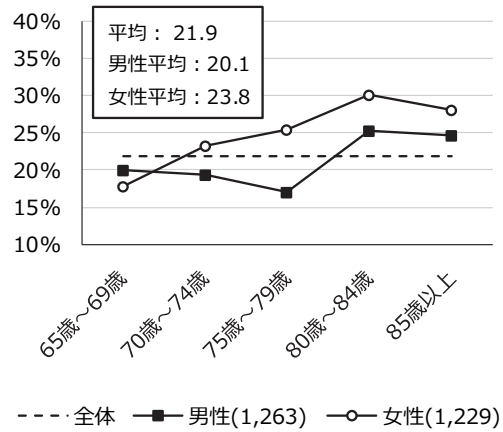
※4 問 11(6) (「いくらか困難であるが、伝えられる」、「あまり伝えられない」、「ほとんど伝えられない」)

(7) うつリスク

「うつリスク」についてみると、全体が21.9%、男性が20.1%、女性が23.8%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、70歳以上においては、女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-22 うつリスクありの割合



図表 3-23 うつリスクの判定で使用した項目

			全体	男性		女性		
				65～74歳	75歳以上	65～74歳	75歳以上	
回答者数			2,662	1,432	608	696	598	
判 定	問14(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(「はい」)	39.6	35.5	36.6	43.0	43.1	(%)
	問14(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(「はい」)	25.8	24.7	26.3	22.6	30.1	
関 連	問14(1)	現在のあなたの健康状態はいかがですか。(「あまりよくない」、「よくない」)	18.2	17.0	23.0	11.4	23.2	

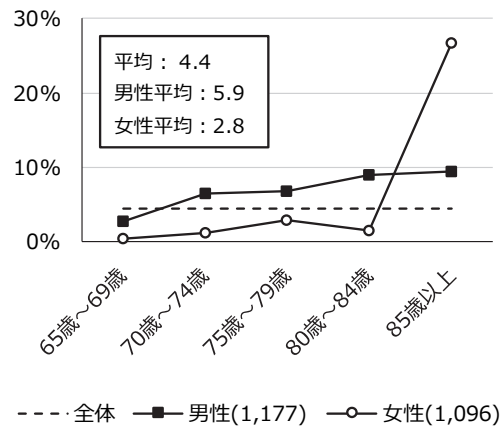
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。うつ予防の判定：2項目中、2項目以上が該当するもの。

(8) 虚弱リスク

「虚弱リスク」についてみると、全体が4.4%、男性が5.9%、女性が2.8%でリスクありとなっています。

性・年齢別にみると、84歳以下では男性の方がリスクありの割合が高くなっていますが、85歳以下では女性の方が、リスクありの割合が高くなっています。

図表 3-24 虚弱リスクありの割合



図表 3-25 虚弱リスクの判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	65~74歳 1,432	75歳以上 608	65~74歳 696	75歳以上 598
判定	問11(8)	バスや電車を使って1人で外出していますか。(「できるだけしていない」または「できない」)	14.0	7.9	12.8	8.9	28.6
	問11(9)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(「できるだけしていない」または「できない」)	14.4	20.5	23.7	2.6	11.7
	問11(12)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。(「できるだけしていない」または「できない」)	17.9	25.8	30.6	2.9	13.6
	問11(17)	友人の家を訪ねていますか。(「いいえ」)	43.2	49.5	50.0	34.9	38.0
	問11(18)	家族や友人の相談にのっていますか。(「いいえ」)	21.5	25.1	29.1	12.2	20.5

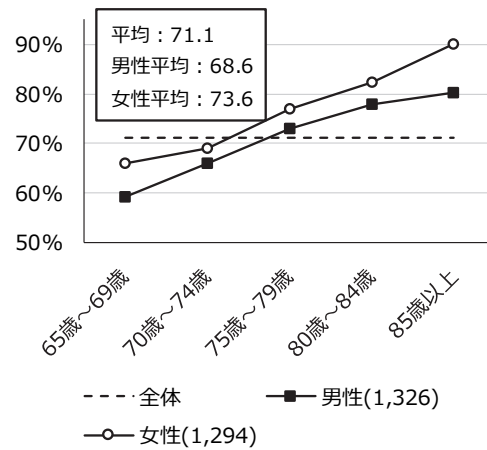
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。虚弱の判定：機能を判定する設問（基本チェックリストの内容に近いもの）の25項目のうち、うつ予防・支援に関する5項目を除いた20項目において、10項目以上に該当する者。未出の5項目のみ表示。

(9) 介護予防の取り組みが必要な人

今後、介護予防の取り組みが必要とされる人について、心身の機能を判定する設問の「虚弱リスク」、「運動器機能低下リスク」、「閉じこもりリスク」、「転倒リスク」、「低栄養リスク」、「口腔機能低下リスク」、「閉じこもりリスク」、「認知機能低下リスク」、「うつリスク」の8項目における割合を、項目間の重複を除いた上で分析したところ、介護予防等への取り組みが必要とされる人の割合は、全体が71.1%、男性が68.6%、女性が73.6%となっています。

性・年齢別でみると、いずれの年齢においても女性の方がリスクありの割合が高くなっています。

図表 3-26 介護予防の取り組みが必要な人の割合



3. 日常生活・社会参加の状況

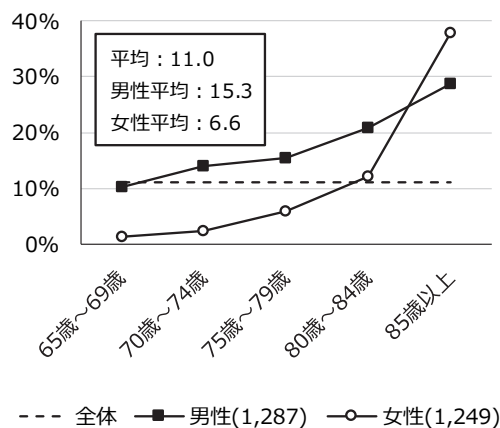
(1) 手段的日常生活動作自立度 (IADL)

今回の調査では、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標※¹に準じた設問を設けています。このうち、手段的日常生活動作自立度※²については、各設問で「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価しています。

このうち、4点以下を低下者とした評価した結果をみると、全体が11.0%、男性が15.3%、女性が6.6%となっています。

性・年齢別でみると、女性は85歳以上で低下者の割合が急激に高くなっています。

図表 3-27 手段的日常生活自立度低下ありの割合



※1 老研式活動能力指標：高次の生活機能の評価を行うための評価尺度。手段的日常生活動作自立度、知的能動性、社会的役割の3つの観点で評価する。

※2 手段的日常生活動作自立度 (IADL：Instrumental Activities of Daily Living)

図表 3-28 手段的日常生活動作自立度の判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
				65~74歳	75歳以上	65~74歳	75歳以上
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問11(8)	バスや電車で使って1人で外出していますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	95.6	98.0	95.8	98.4	89.1
	問11(9)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	97.7	98.7	96.6	99.6	95.5
	問11(10)	自分で食事の用意をしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	92.9	90.4	84.5	99.7	97.3
	問11(11)	自分で請求書の支払いをしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	97.3	97.7	95.0	99.7	96.4
	問11(12)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。(「できるし、している」、「できるけどしていない」)	96.0	95.9	93.3	99.4	94.7

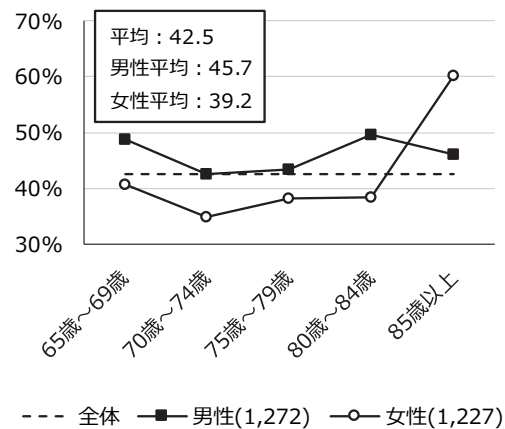
※3 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。生活機能低下者割合の判定：上の5項目を各1点として5点満点で、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」として評価するが、本調査では、4点以下を低下者とする。

(2) 知的能動性

今回の調査では、高齢者の比較的高次の生活機能进行评估することができる老研式活動能力指標に準じた設問を組み込んでいます。老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられ、「知的能動性」として尺度化されています。3点以下を低下者とした評価結果をみると、全体が42.5%、男性が45.7%、女性が39.2%となっています。

性・年齢別でみると、男性はいずれの年齢においても一定した割合で低下者が存在する一方で、女性においては85歳以上で著しく割合が高くなっています。

図表 3-29 知的能動性低下ありの割合



図表 3-30 知的能動性の判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問11(13)	年金などの書類が書けますか。(「はい」)	92.3	94.2	89.1	97.2	87.7
	問11(14)	新聞を読んでいますか。(「はい」)	79.3	78.4	86.9	73.1	80.5
	問11(15)	本や雑誌を読んでいますか。(「はい」)	71.9	70.1	65.0	81.4	70.0
	問11(16)	健康についての記事や番組に関心がありますか。(「はい」)	90.1	85.0	86.1	95.1	94.4

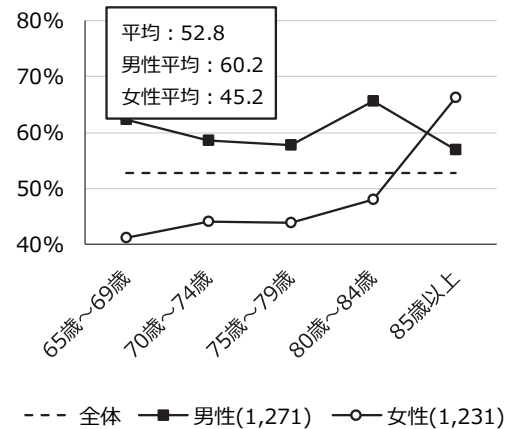
※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。知的能動性の判定：上の老研式活動能力指標として設けられた高齢者の「知的能動性」の評価方法の4項目を各1点として4点満点で、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価するが、本調査では、3点以下を低下者とする。

(3) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられ、「社会的役割」として尺度化されています。3点以下を低下者とした評価結果をみると、全体が52.8%、男性が60.2%、女性が45.2%となっています。

性・年齢別でみると、男性はいずれの年齢においても一定した割合で低下者が存在する一方で、女性においては85歳以上で著しく割合が高くなっています。

図表 3-31 社会的役割低下ありの割合



図表 3-32 社会的役割の判定で使用した項目

			全体	男性		女性	
回答者数			2,662	1,432	608	696	598
判定	問11(17)	友人の家を訪ねていますか。(「はい」)	56.8	50.5	50.0	65.1	62.0
	問11(18)	家族や友人の相談にのっていますか。(「はい」)	78.5	74.9	70.9	87.8	79.5
	問11(19)	病人を見舞うことができますか。(「はい」)	92.5	93.6	91.8	94.8	89.9
	問11(20)	若い人に自分から話しかけることがありますか。(「はい」)	77.6	76.3	69.9	84.8	78.2
関連	問11(21)	趣味はありますか。(「趣味あり」)	76.0	75.8	73.3	79.0	74.6
	問11(22)	生きがいはありますか。(「生きがいあり」)	62.8	59.5	54.9	70.9	64.6

※ 回答者数には無回答を含めているが、割合は無回答を除いて算出。社会的役割の判定：上の老研式活動能力指標として設けられた高齢者の「社会的役割」の評価方法の4項目を各1点として4点満点で、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」として評価するが、本調査では、3点以下を低下者とする。

第4章 分析・考察

今後、高齢者数が増加することが見込まれる中、高齢者が要介護状態となることを予防し、健康な状態でいられる期間をできる限り延伸させることが重要です。本項においては、一般高齢者の実態を把握した上、一般高齢者が介護予防を行うことの必要性和、優先して取り組むべき内容について整理しています。

1. 心身の機能に関わるリスクの状況

(1) 基本的な方向性

一般高齢者は要介護認定者に比べると心身機能が維持されていることが想定されますが、一般高齢者における「運動器機能低下リスク」「閉じこもりリスク」「転倒リスク」「低栄養リスク」「口腔機能低下リスク」「認知機能低下リスク」「うつリスク」「虚弱リスク」の有無を、項目間の重複を除いた上で分析したところ、約7割が、何らかのリスクがあるという結果になりました。要介護認定を受けていない一般高齢者においても、心身機能が低下しており、介護予防の取り組みが必要な方が相当数いることがうかがえます。

今後、より一層高齢化が進むことが見込まれる中、一般高齢者に対して、心身機能の維持・向上に向けた取り組みを推進するとともに、各種リスクを早期に発見し適切に対応する体制を作っていくことが重要です。

各種リスクの保有割合を個々に見ていくと、半数近くの方が「認知機能低下リスク」、3分の1近くの方が「転倒リスク」を有しています。保有割合の高いこれらのリスクにターゲットを絞り、優先的に対策を講じていくことも効果的な手法の一つであると考えられます。

図表 4-1 各種リスクありの割合（再掲）

	回答者数	運動器機能低下	閉じこもり	転倒	低栄養	口腔機能低下	認知機能低下	(参考)認知機能障害	うつ	虚弱	介護予防の取り組みが必要な人
全体	2,662	14.5	18.3	32.5	0.9	23.5	47.0	22.7	21.9	4.4	71.1
男性											
65～74歳	1,432	5.7	14.5	24.2	1.0	20.7	41.9	21.1	19.7	4.5	62.5
75歳以上	608	14.7	16.6	37.0	0.7	25.7	52.8	30.1	20.7	7.8	75.7
女性											
65～74歳	696	9.6	13.0	29.6	0.5	20.3	41.2	16.3	20.8	0.8	67.7
75歳以上	598	32.2	31.1	41.3	1.5	29.0	54.5	25.0	27.3	5.6	80.6

(%)

(2) 性・年齢階級別の優先的に対応すべきリスク

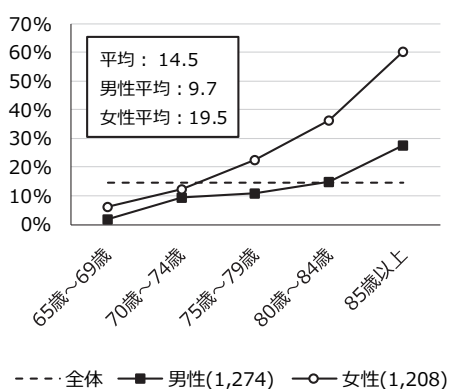
介護予防のアプローチが必要な層は、リスクの種類ごとに異なることが想定されるため、性・年齢別に各リスクの保有割合をみたところ、ほとんどのリスクにおいて、後期高齢者は前期高齢者に比べリスクに該当する割合が大きく高まる傾向があります。そのため、前期高齢者の段階から、介護予防にかかる取り組みを講じていくことにより、リスクの低減を図ることが考えられます。

また、介護予防の取り組みが必要な人の割合は、85歳以上において、女性の方が男性より

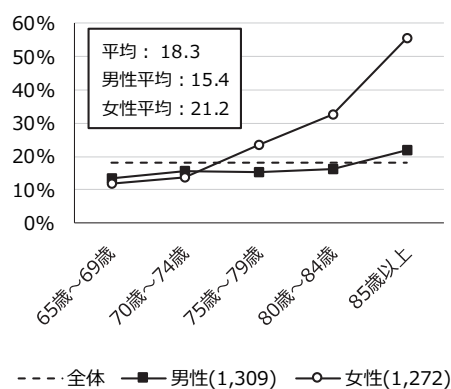
も高い結果となっています。令和元年時点の木更津市での65歳以上高齢人口（住民基本台帳に基づく）においては、男性より女性の人口が多いことから、基本的に女性の方が長寿であると考えられるものの、加齢によって各種リスクが生じる確率は女性の方が男性よりも高いと推察されます。

なお、個別のリスクを見ていくと、ほとんどのリスクにおいて、男女において傾向が異なることがみてとれます。「運動器機能低下リスク」「閉じこもりリスク」においては75歳以上、「転倒リスク」「口腔機能低下リスク」においては80歳以上、「認知機能低下リスク」「虚弱リスク」においては85歳以上において、女性のリスク保有割合が著しく高くなっていることがみてとれます。各種予防の取り組みにおいては、対象とするリスクの種類ごとに、性別・年齢層でアプローチ方法を変えることも有効であると考えられます。

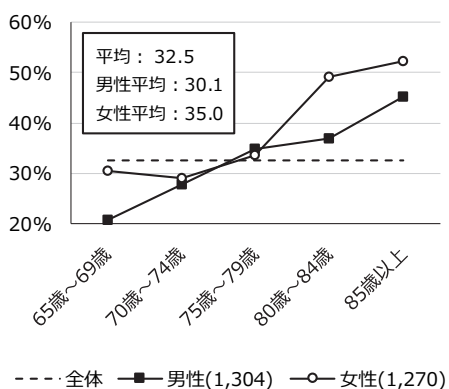
図表 4-2 運動器機能低下リスク
ありの割合（再掲）



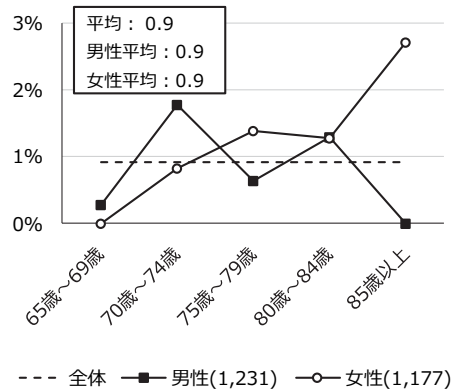
図表 4-3 閉じこもりリスク
ありの割合（再掲）



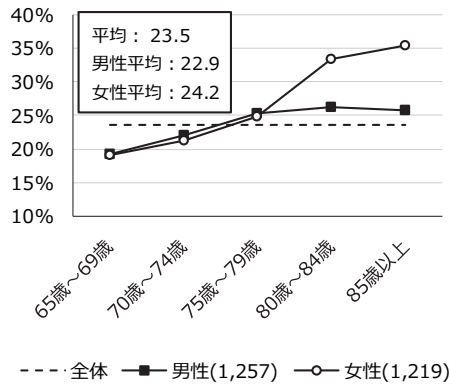
図表 4-4 転倒リスク
ありの割合（再掲）



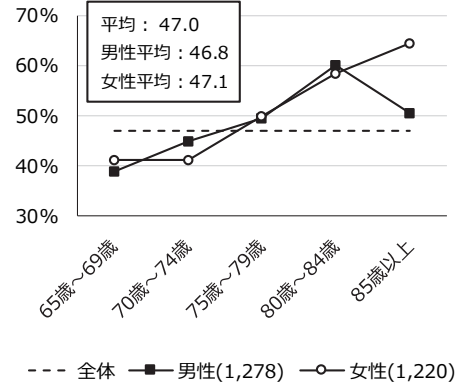
図表 4-5 低栄養リスク
ありの割合（再掲）



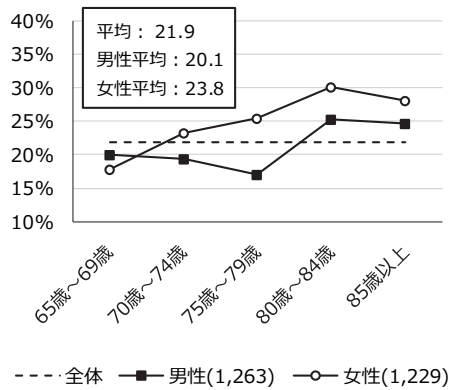
図表 4-6 口腔機能低下リスク
ありの割合（再掲）



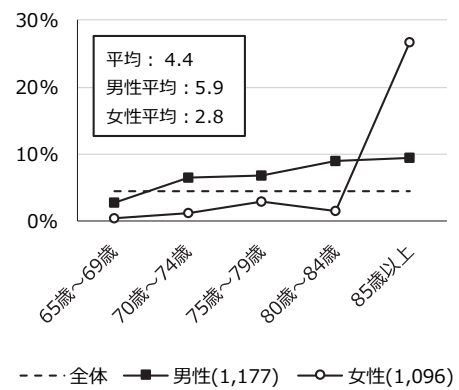
図表 4-7 認知機能低下リスク
ありの割合（再掲）



図表 4-8 うつリスク
ありの割合（再掲）



図表 4-9 虚弱リスク
ありの割合（再掲）



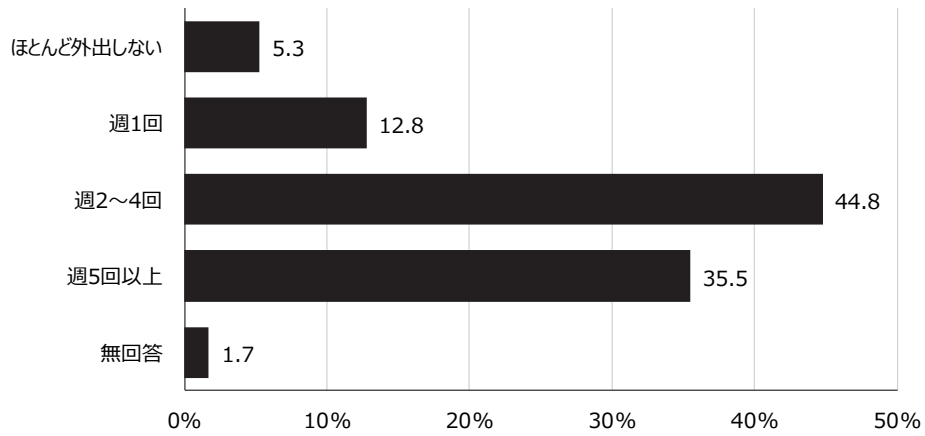
2. 介護予防の取り組み状況

(1) 介護予防の取り組み向上に向けた方向性

一般高齢者においても心身機能が低下している方が一定数いることから、特に介護予防が必要な層を明らかにし、取り組みを進めて行くことが必要であると考えられます。

一般高齢者における外出状況をみると、「週2~4回以上」が最も高くなっていますが、一般高齢者においても外出頻度が週1回以下の割合も2割程度存在します。一般高齢者は、要介護認定者に比べると比較的身体機能が維持されている状態にありますが、外出ができない割合は一定程度存在しており、社会参加や地域活動を通して、高齢者の外出を促進していく必要があります。

図表 4-10 外出状況(問9(6)) (n= 2,682)



性別の各種活動への参加状況をみると、女性は「介護予防のための通いの場」に参加している割合が男性に比べ約5ポイント高く、男性は「収入のある仕事」に参加している割合が約10ポイント高くなっています。これらの結果からは、女性は比較的身近な人間関係を通じて、男性は社会的な役割を担うことを通じて他者や社会とつながる傾向にあることが推察されます。高齢者が社会と関わりを持つ機会を増やすにあたっては、こうした仮説を念頭に、男女それぞれにアプローチしていくことも有効と考えられます。

図表 4-11 性別の各種グループへの参加状況

		合計	週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答	参加している	
											(%)
ボランティアのグループ	男性	1,328	0.8	0.8	1.7	4.7	6.9	66.0	19.1	14.8	
	女性	1,298	0.4	1.2	0.9	3.6	4.7	60.5	28.7	10.8	
スポーツ関係のグループやクラブ	男性	1,328	1.7	5.0	2.4	4.5	4.8	63.0	18.5	18.4	
	女性	1,298	3.2	6.5	5.5	2.1	1.5	54.2	26.9	18.9	
趣味関係のグループ	男性	1,328	1.9	3.4	4.0	8.7	7.0	57.2	17.8	25.0	
	女性	1,298	1.0	4.6	5.4	13.2	3.2	48.7	24.0	27.3	
学習・教養サークル	男性	1,328	0.2	0.4	1.2	2.6	2.4	72.1	21.2	6.8	
	女性	1,298	0.2	1.1	1.4	4.2	3.3	59.7	30.2	10.1	
介護予防のための通いの場	男性	1,328	0.5	0.5	0.8	0.5	0.7	75.7	21.5	2.9	
	女性	1,298	0.4	1.2	3.3	1.8	0.5	63.6	29.4	7.1	
老人クラブ	男性	1,328	0.4	0.5	0.3	1.8	1.6	74.9	20.6	4.5	
	女性	1,298	0.4	0.5	0.1	2.8	1.6	64.7	30.0	5.3	
町内会・自治会	男性	1,328	0.4	0.5	0.3	1.8	1.6	74.9	20.6	4.5	
	女性	1,298	0.4	0.5	0.1	2.8	1.6	64.7	30.0	5.3	
収入のある仕事	男性	1,328	13.9	5.4	0.8	2.0	4.3	55.3	18.1	26.5	
	女性	1,298	7.3	4.8	0.6	1.5	1.3	56.3	28.1	15.6	

※「参加している」は「週4回以上」「週2~3回」「週1回」「月1~3回」「年に数回」の合計

木更津市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ご協力のお願い

平素より市政にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

木更津市では、介護が必要とならない健康づくりや介護予防事業に力を入れるとともに、介護が必要となっても安心した生活が送ることができるよう、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定していますが、この計画を令和2年度に見直しする予定です。

そのため、65歳以上の方から保健福祉に関わる生活状況や、介護予防、地域社会とのつながり、市の高齢者施策等について伺うため、アンケート調査を行うことにいたしました。

ご回答いただいた調査内容は、計画策定のために利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が漏れたりすることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年1月

木更津市長 渡辺 芳邦

ご記入にあたってのお願い

宛名のご本人がお答えください。ただし、ご本人が答えられないときは、ご家族の方などがご本人の意見を聞いてご記入いただいても構いません。

次ページから順にご記入ください。回答内容により、次に答える問を案内していますので、それに沿ってください。

ご記入は、黒または青のボールペンもしくはサインペンをお使いください。ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れた上で

1月20日（月）までに、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
個人情報保護の観点から、**調査票や封筒にあなたのお名前やご住所等をお書きにならないでください。**

この調査に関する問い合わせは、こちらまでお願いいたします。

木更津市役所 福祉部 介護保険課

電 話：0438-23-7163（直通）

0438-23-7111（内線556）

FAX：0438-25-1213

メールアドレス：kaigo@city.kisarazu.lg.jp

はじめに

☆宛名のご本人様（あなた）についてうかがいます。宛名の方以外の方が記入される場合も、特に指定のない限り、宛名のご本人様についてご回答ください。

1. 宛名のご本人様ご自身およびご家族について

問1. あなたの性別をお答えください。（ひとつだけ○）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの令和2年1月1日現在の満年齢をお答えください。（ひとつだけ○）

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 |
| 4. 80歳～84歳 | 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳以上 |

問3. あなたがお住まいの地域をお答えください。（ひとつだけ○）

○を付ける↓	（参考）左の地域に対応する町字の名称
1. 木更津西	新田、富士見、中央、新宿、吾妻、朝日、長須賀、木更津、東中央、大和、文京、貝渕、潮見、幸町、桜町、桜井、桜井新町、中の島、潮浜、木材港、新港、築地
2. 木更津東	請西、請西東、請西南、真舟、千束台
3. 波岡	畑沢、畑沢南、港南台、小浜、大久保、上鳥田、中鳥田、下鳥田、羽鳥野、八幡台
4. 清川	東太田、太田、永井作、清見台、清見台東、清見台南、祇園、菅生、清川、椿、笹子、日の出町、犬成、中尾、伊豆島、ほたる野
5. 岩根	岩根、高砂、本郷、高柳、若葉町、万石、久津間、江川、中里、西岩根
6. 鎌足	矢那、草敷、かずさ鎌足
7. 金田	中島、瓜倉、畔戸、牛込、中野、金田東、北浜町
8. 中郷	上望陀、下望陀、有吉、大寺、十日市場、井尻、曾根、牛袋野、牛袋
9. 富来田	大稲、真里、下内橋、戸国、茅野、茅野七曲、山本七曲、真里谷、田川、佐野、下郡、根岸、上根岸、下宮田
10. 市外	木更津市以外に居住している

問4. 家族構成をお教えてください。（ひとつだけ○）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦ふたり暮らし(配偶者 65 歳以上) |
| 3. 夫婦ふたり暮らし(配偶者 64 歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他（ ） | |

問5. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（ひとつだけ○）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. 公営賃貸住宅 | 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他（ ） | |

問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（ひとつだけ○）

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問7. 就業状況をうかがいます。(ひとつだけ○)

1. 常勤の社員・職員	2. 非常勤、嘱託、パート、アルバイト
3. 自営業・自営業手伝い	4. シルバー人材センターでの就労
5. その他の就業（	6. 求職中
7. 仕事をしていない	8. 仕事はできない

問8. 今後就労をしたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

1. 常勤の社員・職員	2. 非常勤、嘱託、パート、アルバイト
3. 自営業・自営業手伝い	4. シルバー人材センター
5. その他の就業（	6. 仕事はしたくない（するつもりはない）
7. 仕事をする必要がない	8. 仕事はできない

2. 心身の状態について

問9. からだを動かすことについてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

※無回答の項目がないよう、ご確認ください。

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか。			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか。			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
(8) 外出を控えていますか。			
1. はい		2. いいえ	
(8-1) (8)で「1. はい」(外出を控えている)と回答した方のみお答えください。 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)			
1. 病気	2. 障害(脳卒中の後遺症など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配(失禁など)		
5. 耳の障害(聞こえの問題など)	6. 目の障害		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他()		

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車(自分で運転)	5. 自動車(人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす(カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. その他 ()		

問10. 食べることにについてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

※無回答の項目がないよう、ご確認ください。

(1) 身長・体重(整数、小数第1位は四捨五入)でお書きください。		
身長		cm
体重		kg
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。		
	1. はい	2. いいえ
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。		
	1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか。		
	1. はい	2. いいえ
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。		
	1. はい	2. いいえ
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です		
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし		
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
(6-1) 噛み合わせは良いですか。		
	1. はい	2. いいえ
(6-2) (6)で「1または3」と回答した方(入れ歯を利用している方)のみお答えください。		
毎日入れ歯の手入れをしていますか。		
	1. はい	2. いいえ
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。		
	1. はい	2. いいえ
(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか。		
1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある		
4. 年に何度かある 5. ほとんどない		

問11. 毎日の生活についてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

※無回答の項目がないよう、ご確認ください。

(1) 物忘れが多いと感じますか。		
	1. はい	2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。		
	1. はい	2. いいえ
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。		
	1. はい	2. いいえ
(4) 5分前のことが思い出せますか。		
	1. はい	2. いいえ
(5) その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。		
1. 困難なくできる 2. いくらか困難であるが、できる		
3. 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要 4. ほとんど判断できない		
(6) 人に自分の考えをうまく伝えられますか。		
1. 伝えられる 2. いくらか困難であるが、伝えられる		
3. あまり伝えられない 4. ほとんど伝えられない		

(7) 食事は自分で食べられますか。		
1. できる	2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる	3. できない
(8) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(10) 自分で食事の用意をしていますか。		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(11) 自分で請求書の支払いをしていますか。		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(12) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(13) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	1. はい	2. いいえ
(14) 新聞を読んでいますか。	1. はい	2. いいえ
(15) 本や雑誌を読んでいますか。	1. はい	2. いいえ
(16) 健康についての記事や番組に関心がありますか。	1. はい	2. いいえ
(17) 友人の家を訪ねていますか。	1. はい	2. いいえ
(18) 家族や友人の相談にのっていますか。	1. はい	2. いいえ
(19) 病人を見舞うことができますか。	1. はい	2. いいえ
(20) 若い人に自分から話しかけることがありますか。	1. はい	2. いいえ
(21) 趣味はありますか。		
1. 趣味あり	→ （具体的に： ）	
2. 思いつかない		
(22) 生きがいがありますか。		
1. 生きがいあり	→ （具体的に： ）	
2. 思いつかない		

問12. 地域での活動についてうかがいます。（指定があるもの以外は、ひとつだけ○）

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。						
※①～⑧それぞれに回答してください。						
	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1.	2.	3.	4.	5.	6.
② スポーツ関係のグループ やクラブ	1.	2.	3.	4.	5.	6.
③ 趣味関係のグループ	1.	2.	3.	4.	5.	6.
④ 学習・教養サークル	1.	2.	3.	4.	5.	6.
⑤ （きさらづ筋力アップ体操など） 介護予防のための通いの場	1.	2.	3.	4.	5.	6.
⑥ 老人（シニア）クラブ	1.	2.	3.	4.	5.	6.
⑦ 町内会・自治会	1.	2.	3.	4.	5.	6.
⑧ 収入のある仕事	1.	2.	3.	4.	5.	6.

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、 あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか。			
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、 あなたはその活動に <u>企画・運営（お世話役）として</u> 参加してみたいと思いますか。			
1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している

問13. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてうかがいます。

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を <u>聞いてくれる人</u> はどなたですか。 （あてはまるものすべてに○）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（ ）	8. そのような人はいない		
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を <u>聞いてあげる人</u> はどなたですか。 （あてはまるものすべてに○）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（ ）	8. そのような人はいない		
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、 <u>看病や世話をしてくれる人</u> はどなたですか。 （あてはまるものすべてに○）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（ ）	8. そのような人はいない		
(4) 反対に、 <u>看病や世話をしてくれる人</u> はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（ ）	8. そのような人はいない		
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。 （あてはまるものすべてに○）			
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員		
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師		
5. 地域包括支援センター・市役所	6. その他（ ）		
7. そのような人はいない			
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（ひとつだけ○）			
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	
4. 年に何度かある	5. ほとんどない		
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。（ひとつだけ○） ※同じ人には何度会っても1人と数えることとします。			
1. 0人（いない）	2. 1～2人	3. 3～5人	4. 6～9人 5. 10人以上

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(あてはまるものすべてに○)		
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人	6. ボランティア等の活動での友人
7. その他 ()	8. いない	

問14. 健康、介護の必要性についてうかがいます。(指定があるもの以外は、ひとつだけ○)

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。	
1. とてもよい	2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。	
「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○をご記入ください。	
とても不幸 0点	とても幸福 10点
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	
	1. はい 2. いいえ
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	
	1. はい 2. いいえ
(5) お酒は飲みますか。	
1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない 4. もともと飲まない	
(6) タバコは吸っていますか。	
1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた 4. もともと吸っていない	
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)	
1. ない	2. 高血圧
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4. 心臓病
5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)
11. 外傷(転倒・骨折等)	12. がん(悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病
15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 ()	
(8) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	
1. 介護・介助は必要ない	
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	

(8-1) (8)で「2 または 3」と回答した方（介護が必要な方）のみお答えください。

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他（ ）
15. 不明

(8-2) 引き続き、(8)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方のみお答えください。主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者（夫・妻） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者
5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他（ ）

3. 介護予防について

問15. あなたは、将来、介護を必要としない健康な生活が送れるようにするために、心がけていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 栄養バランスのとれた食事をする | 2. 散歩など、できるだけ歩くようにする |
| 3. 体力をつけるための体操や運動をする | 4. 健康診査などを定期的に受ける |
| 5. 十分な睡眠をとる | 6. タバコを吸わない |
| 7. 新聞や雑誌を読む | 8. 趣味や地域活動などに取り組む |
| 9. その他（ ） | 10. 特に心がけていることはない |

問16. 介護予防に関して、今後も続けたい活動または新たに参加・利用したい活動はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う活動
2. 寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための活動
3. 認知症を予防したり進行を遅くしたりするための活動
4. 気分が落ち込みやすかったり、気力がわかなかったりといった心の状態に対し働きかけし、元気を取り戻すための活動
5. 栄養状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための活動
6. 飲み込む力をアップしたり、歯や歯ぐきなどお口の中の健康管理の方法を習う活動
7. 尿失禁を予防するための方法などを習う活動
8. 歩くときやくつを履くときの痛みの予防、足の指や爪などのお手入れの方法を習う活動
9. 市民主体（主催）の通いの場（サロン等）や趣味サークルに参加する活動
10. その他（ ）
11. 今のところ必要がないため、よくわからない
12. そのような活動などには参加したいと思わない

問17. 問 16 で挙げた介護予防活動に、どのような条件があれば、参加者として参加したいと思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 一人ではなく、友人や知人を誘って参加できる
2. プログラムの内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある
3. 実際に参加した人の体験談を聞くことができる機会がある
4. もっと身近な場所で介護予防の相談ができる
5. 公民館や集会所等、身近な場所で事業が実施される
6. 自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる
7. 往復の送迎がある
8. プログラムの終了後に食事やレクリエーション等の楽しみがある
9. 事業参加やサービス利用の費用は無料か負担にならない程度である
- 10.その他 ()
- 11.特にない

問18. 問 16 で挙げた介護予防活動に、どのような条件があれば、地域住民の有志での企画・運営（お世話役）として参加したいと思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 一人ではなく、友人や知人を誘って参加できる
2. プログラムの内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある
3. 実際に参加した人の体験談を聞くことができる機会がある
4. もっと身近な場所で介護予防の相談ができる
5. 公民館や集会所等、身近な場所で事業が実施される
6. 自分の生活時間に合わせて、自由な時間と場所で参加できる
7. 往復の送迎がある
8. プログラムの終了後に食事やレクリエーション等の楽しみがある
9. 事業参加やサービス利用の費用は無料か負担にならない程度である
- 10.その他 ()
- 11.特にない

問19. あなたは今後、支援が必要な高齢者に対する介護サービスや生活支援サービスについては、どのような形で利用していきたいですか。(ひとつだけ○)

1. 介護サービス事業所等に所属する専門職によるサービスを提供してほしい
2. 介護サービス事業所等に所属する専門職でない者からのサービス提供でもよい
3. 短期集中的に、保健や医療の専門職によるサービスを提供してほしい
4. ボランティア（有償・無償）によるサービスでもよい
5. 住民主体のサロンや運動・交流の場への参加でもよい
6. その他 ()
7. わからない

4. 生活支援、社会参加について

問20. 日常生活での不安、悩み、心配ごとがありますか。それはどのようなことですか。
(主なもの3つまで○)

1. 健康に不安がある
2. 認知症にならないか心配である
3. 一人きりで頼れる人がいない
4. 生活のための収入が足りない
5. 家事が大変である
6. 外出時の転倒や事故に不安がある
7. 地震や火災が起きたときの避難が心配である
8. 家業や財産の相続、お墓の管理のことに不安がある
9. 配偶者のこと
10. 子どもや孫のこと
11. 判断能力が衰えたときの契約や財産の管理が心配である
12. 社会の仕組み（法律、社会保障、金融制度）がわからない
13. その他（)
14. 特にない

問21. あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと（または手助けしてほしいこと）は何かありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. ごみ出し | 2. 買い物 |
| 3. 調理 | 4. 洗濯や部屋の掃除 |
| 5. 玄関前や庭などの家周りの掃除 | 6. 簡単な力仕事 |
| 7. 病院への送迎 | 8. 病院への付き添いや薬の受け取り |
| 9. 病院以外の外出時の送迎 | 10. 病院以外の外出時の付き添い |
| 11. 声かけ・見守り | 12. 日ごろの話し相手 |
| 13. 金銭管理・書類の確認 | 14. 市役所などでの手続き |
| 15. 家電器具やパソコン等の操作 | 16. 家の簡単な修繕や環境整備 |
| 17. その他（) | 18. 特にない |

問22. あなたは日用品の買い物に不安や不便を感じていますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 感じている | 2. 感じていない |
|----------|-----------|

問 22-1. 問 22 で「1」に○をつけた方にうかがいます。どのようなことに不安や不便を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 身近なところに買い物をできる場所がない
2. 買い物をするところまで行く移動手段がない
3. 買ったものを家まで運ぶことができない
4. 買い物を手伝ってくれる人がいない
5. その他（)

問23. あなたは生活に必要な買い物をする際、どのような方法で行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分が徒歩で買いに行く
2. 自分が自転車やバイクに乗って買いに行く
3. 自分が車を運転して買いに行く
4. 自分がバス、タクシー、電車を利用して買いに行く
5. 家族や友人などに買ってきてもらう
6. 近所にやってくる移動販売、訪問販売などを利用する
7. インターネットで注文して配達してもらう
8. その他 ()

問24. あなたはお住まいの地域で、何か他の人の手助けや活動（ボランティアを含む）をしたいと思いますか。(ひとつだけ○)

1. すでに手助けや活動（ボランティアを含む）をしている
2. ぜひ手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい
3. できれば手助けや活動（ボランティアを含む）をしたい
4. 有償の手助けや活動（ボランティアを含む）であればしてみたい
5. あまり手助けや活動（ボランティアを含む）をしたいとは思わない
6. どんな手助けや活動（ボランティアを含む）もしたいとは思わない
7. わからない

問 24-1. 問 24 で「1～4」に○をつけた方にうかがいます。それはどのような手助けや活動ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. ごみ出し | 2. 買い物 |
| 3. 調理 | 4. 洗濯や部屋の掃除 |
| 5. 玄関前や庭などの家周りの掃除 | 6. 簡単な力仕事 |
| 7. 病院への送迎 | 8. 病院への付き添いや薬の受け取り |
| 9. 病院以外の外出時の送迎 | 10. 病院以外の外出時の付き添い |
| 11. 声かけ・見守り | 12. 日ごろの話し相手 |
| 13. 金銭管理・書類の確認 | 14. 市役所などでの手続き |
| 15. 家電器具やパソコン等の操作 | 16. 家の簡単な修繕や環境整備 |
| 17. その他 () | |

5. 住まいについて ★全員がお答えください★

問25. あなたは今後も現在お住まいの住宅に住み続けたいとお考えですか。(ひとつだけ○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 現在住んでいる住宅に住み続けたい ➡問 26 (13 ページ) へ |
| 2. 現在住んでいる住宅から住み替えたい |
| 3. わからない ➡問 26 (13 ページ) へ |

問 25-1. 問 25 で「2」に○をつけた方にうかがいます。あなたが住み替えたいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 家が老朽化しているから | 2. 家が手狭だから |
| 3. 家が広すぎるから | 4. 家に段差等の障害が多いから |
| 5. 介護が必要となったときに備えたいから | 6. 周囲の治安や防犯等の環境に問題があるから |
| 7. 自分や家族の体調不良・健康不安があるから | 8. 買い物や通院の利便性に問題があるから |
| 9. 耐震性など防災面に不安があるから | 10. そろそろ、子どもに譲ろうと思うから |
| 11. 他に住んでみたい場所があるから | 12. その他 () |

問 25-2. 引き続き、問 25 で「2」に○をつけた方にうかがいます。どのような場所に住み替えたいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 現在の居住地の近く | 2. 子どもや親戚の居住地近辺 |
| 3. 木更津市内 | 4. 千葉県内 |
| 5. それ以外の東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県内） | 6. その他 () |
| 7. わからない | |

問 25-3. 引き続き、問 25 で「2」に○をつけた方にうかがいます。住み替えたいと思うのは、どのような住宅ですか。(あてはまるものすべてに○)

(1) 一戸建て、または共同住宅のどちらですか。	(2) 住宅の形態は、次のうちどれですか。
1. 一戸建て	1. 持ち家
2. 共同住宅（マンション・アパートなど）	2. 民間賃貸住宅
	3. ケア付き住宅（有料老人ホーム含む）
	4. 公営賃貸住宅（UR、公社等含む）
	5. その他 ()

問 25-3-1. 問 25-3 (2) で「2 または 3」に○をつけた方にうかがいます。民間賃貸住宅等への入居をする際に、あなたはどのような支援が必要だと感じますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 保証人に関する支援 | 2. 住まい探しに関する支援 |
| 3. 家賃債務に関する支援 | 4. 見守り等、入居中の生活に関する支援 |
| 5. 死亡後の支援（葬儀、不用品等の処分） | 6. その他 () |

6. 医療について ★全員がお答えください★

問26. あなたにはかかりつけの医師（※）がいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------|---------------|--------|
| 1. 内科医 | 2. 整形外科医 | 3. 歯科医 |
| 4. その他の診療科の医師 | 5. かかりつけ医はいない | |

※かかりつけの医師：日頃から自分の健康状態をよく知っていて、日常的な健康管理をまかせられる医師

問27. 健康診査や人間ドックを毎年受診していますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|-------|------------------------|
| 1. はい | 2. いいえ（受診しない理由： _____） |
|-------|------------------------|

問28. あなたは訪問診療（※）についてご存じですか。（ひとつだけ○）

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 利用したことがある | 2. どの医療機関で受けられるか等具体的に知っている |
| 3. 言葉だけは知っている | 4. 知らなかった |

※訪問診療：医師が1～2週間に1回の割合で定期的かつ計画的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等を行っていく医療サービス。なお、往診は突発的な病状の変化に対して、通院できない患者の要請を受けて診察に来てもらうもので、訪問診療とは区別される。

問29. あなたは脳卒中の後遺症やがんなどで、長期の治療・療養が必要になった場合、訪問診療を希望しますか。（ひとつだけ○）

- | | | |
|---------|----------|------------------|
| 1. 希望する | 2. 希望しない | 3. 現在、在宅医療を受けている |
|---------|----------|------------------|

問30. あなたは、認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問31. あなたは、認知症に関する相談窓口を知っていますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問32. あなたは人生の最期を迎える場所として、どこを希望していますか。（ひとつだけ○）

- | | | |
|-----------------|----------|---------|
| 1. 病院 | 2. 自宅 | 3. 介護施設 |
| 4. その他（ _____ ） | 5. わからない | |

問33. あなたは自宅で最期まで療養するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. かかりつけ医による定期的な訪問診療 | 2. 訪問看護（看護師の訪問）の充実 |
| 3. 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）の充実 | 4. 24時間対応してくれるサービス体制 |
| 5. 家族介護者への支援 | 6. 症状が急に悪くなったときの入院先の確保 |
| 7. 居住環境の整備 | 8. 経済的な支援 |
| 9. その他（ _____ ） | 10. わからない |

7. 介護、成年後見制度について

問34. あなたは将来、介護が必要になったときには、どこで介護を受けたいですか。既に介護を受けている方は、今後についてお答えください。（もっとも近い考えにひとつだけ○）

1. 自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい
2. 主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて介護を受けたい
3. 数人で暮らせる、家庭的な介護つきホーム（施設）で介護を受けたい
4. 介護保険施設（特別養護老人ホームや介護老人保健施設など）に入りたい
5. 有料老人ホームに入りたい
6. その他（
7. わからない

問 34-1. 問 34 で「1」に○をつけた方にうかがいます。どなたから介護を受けたいですか。（ひとつだけ○）

1. 配偶者、子どもなど、家族または親族だけで介護をしてほしい
2. 配偶者、子どもなどが中心で、他に介護保険サービスなどを利用して介護をしてほしい
3. 介護保険サービスなどを利用し、家族・親族以外の介護を考えている

問 34-2. 問 34 で「2～6」に○をつけた方にうかがいます。その場所を選んだのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 在宅で介護してくれる親族等がないから
2. 親族等の世話になることに気が引けるから
3. 介護を受ける環境が整っているから
4. 自分の希望する介護を受けることができると思うから
5. 経済的な理由から
6. 在宅に近い環境が好ましいから
7. 治療が必要だから
8. その他（

★ここからは全員がお答えください★

問35. 介護保険制度で提供する介護サービスや介護予防のためのサービスの範囲について、あなたの考えにもっとも近いものは、次のうちどれですか。（ひとつだけ○）

1. サービスは最低限でよいから、保険料はなるべく安いほうがよい
2. 保険料もサービス内容も今の水準程度がよい
3. 保険料が多少高くても、施設・居住系サービス（※1）が充実しているほうがよい
4. 保険料が多少高くても、居宅サービス（※2）が充実しているほうがよい
5. その他（
6. わからない

※1 施設・居住系サービス：介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム、地域密着型を含む）、介護老人保健施設（老人保健施設）、介護療養型医療施設（療養病床）の3つの施設サービス、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、特定施設入居者生活介護（介護付有料老人ホームなど）の2つの居住系サービス

※2 居宅サービス：訪問介護（ホームヘルプサービス）、通所介護（デイサービス）、短期入所（ショートステイ）等の居宅で生活していて利用するサービス

問36. 在宅で暮らし続けるために必要なことは、どのようなことだと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 住み続けられる住まいがある |
| 2. 家族が同居または近くにいる |
| 3. 見守ってくれる友人・知人が近くにいる |
| 4. 日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある |
| 5. 必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある |
| 6. 入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる |
| 7. 介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる |
| 8. 夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある |
| 9. 身近に利用できる医療機関がある |
| 10. 自宅に医師が訪問して診療してくれる |
| 11. いつでも利用（入所）できる施設が近くにある |
| 12. その他（) |
| 13. わからない |

問37. 成年後見制度（※）を知っていますか。（ひとつだけ○）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが内容は知らない | 4. まったく知らない |

※ 認知症、知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分ではない方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、本人の意思を尊重し、かつ本人の心身の状態や生活状況に配慮しながら、本人に代わって財産の管理や必要な契約を行い、本人の権利を守り生活を支援する制度です。

問38. あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（ひとつだけ○）

- | | | |
|--------------------|------------|----------|
| 1. 利用したい（既に利用している） | 2. 利用したくない | 3. わからない |
|--------------------|------------|----------|

8. 今後の高齢者施策等について

問39. あなたは、木更津市の高齢者福祉施策について、今後充実してほしいと思うことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 健康増進事業
2. 介護を予防するための事業
3. 介護保険や市の在宅介護サービス
4. 介護を受けられる施設の整備
5. 介護する家族に対する支援
6. 介護保険制度や市の高齢者施策に関する情報提供
7. 申請や相談がしやすい窓口の設置
8. 高齢者の就労や社会参加の支援
9. 定期的な見守りや安否確認など、地域の助けあい
10. 判断能力が低下した場合の支援や高齢者の人権擁護
11. 高齢者のための住宅施策
12. 段差解消や歩道の設置など安全なまちづくり
13. 医療機関の整備など医療の充実
14. その他 ()
15. 特にない

問40. 木更津市の高齢者福祉施策について、あなたはどのように感じますか。
(もっとも近い考えをひとつだけ○)

- | | | |
|--|---|--------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. とても充実している2. まあ充実している3. どちらとも言えない4. あまり充実していない5. 充実していない | → | そのように感じている理由は何ですか。 |
| [] | | |

問41. 木更津市の介護保険制度・高齢者福祉施策へのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。調査票を同封の返信用封筒に入れて、1月20日(月)までにご返送(投函、切手不要)ください。